

# ゴール1：貧困をなくそう

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

世界中どこでも  
農業が経済を変える

|       |   |      |            |
|-------|---|------|------------|
| 企業名   | スパイスキューブ株式会社  |      |            |
| 所在地   | 大阪市西区   | 資本金  | 1,000,000円 |
| 設立    | 2018年2月14日  | 従業員数 | 4名         |
| 企業URL | <a href="https://www.spicecube.biz/">https://www.spicecube.biz/</a> |      |            |
| 事業内容  | 植物工場の事業化支援、農業装置の設計開発  |      |            |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

農業人口減少による食料自給率と高齢化社会、障害者雇用問題、自粛規制中の生活支援などLED照明と養液循環する栽培技術であれば、SDGsに貢献しながら高品質野菜生産が実現できるからです。この栽培技術の普及を企業だけでなく個人の生活まで浸透できればより良い社会に変わると考えております。更に栽培過程で生じる植物の成長について観察写真情報を共有することで、遠隔地に住む想いを寄せるひととのコミュニケーションがIoT装置で簡単にできるようになります。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■一般企業のオフィスインテリアや個人住宅に簡易的に設置できる農業装置（本棚サイズの植物工場＋成長記録共有できるアプリケーション）のパッケージ開発販売を行う。

## ★農業装置のポイント

- ①100株/月程度の葉物野菜の安定生産が可能 ⇒ 個人や一般企業にとって、農業ビジネスに参入できるチャンス
- ②無農薬、排水0、メンテナンスフリー⇒ 従来の畑よりも導入コスト、営農経費を削減して農業が実現
- ③一般住宅やちょっとした休憩所のデッドスペースにも簡単設置できる気軽さと扱いやすさ⇒ 誰でも農業にトライでき、世界中どこでも農業が可能に
- ④植物成長を観察記録するアプリケーションの開発も視野 ⇒ 品質改善や思い出につながるデータ蓄積が可能に

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

SDGsに加え、国内社会課題（就農者現象、食料自給率）も解消できる可能性がある。これらの取組は個人が個々に取り組む流れと企業参入で組織として取り組むダイナミックな流れをつくるのが重要だと考えております。本事業を活用して農業参入する企業を増やすことが経済成長も地球環境にも寄与してくれると想定しております。

## OSAKA SDGsビジネスマッチング成果や今後の方向性について

新規事業を検討する大手商社からの相談がありました。農地でなく既存建物を活用する農業モデルに魅力を感じたとのことで、都市型農業を協創事業として本年から事業化検討頂けることになりました。植物工場の生産野菜の6次産業化も視野に入れて相談先企業だけでなく野菜納品先も巻き込んで都市部ならではのビジネスモデルが構築できそうです。今後の取組としては成功モデルを基盤にして拡大していきたいと考えています。

## 救缶鳥プロジェクト



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | 株式会社パン・アキモト 関西営業所   |      |       |
| 所在地   | 大阪市中央区  | 資本金  | 35百万円 |
| 設立    | 昭和22年12月  | 従業員数 | 60名   |
| 企業URL | <a href="http://www.panakimoto.com">http://www.panakimoto.com</a> |      |       |
| 事業内容  | ベーカリーの運営、防災備蓄用缶詰パンの製造・販売、救缶鳥プロジェクト                                |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

国内のある自治体から賞味期限が切れる備蓄品を廃棄して欲しいと依頼がありました。そんな中、海外の飢餓国に賞味期限が残り少なくなったパンの缶詰を義援物資として贈り届ける事で大変喜ばれる事が判り、プロジェクトを開始しました。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■ **パンの缶詰を自分（自社）の為に備蓄しながら同時に社会貢献が出来る「救缶鳥プロジェクト」を提供。**

◀ プロジェクトの流れ ▶

- ① 防災備蓄用として缶詰パンを購入希望者（企業・自治体・個人）に販売
- ② 缶詰の賞味期限が切れる6か月前に購入者へ案内し、賛同を頂いたところから同社が缶詰を回収
- ③ 回収した缶詰を民間の企業や団体を通じて海外の飢餓国や被災地へ義援物資として贈呈。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

今まで国内外合わせて累計40万缶以上の缶詰が届けられました。本当に必要としている国や地域に責任を持って届けて、更に現地に届けたレポートを賛同者へ通知して、「義援の見える化」を行っています。世界では、1分間に17人が飢餓で命を失い、その内5秒に1人が5歳の誕生日を迎えることなく亡くなっています。当プロジェクトは、日本人のやさしさ、大阪からのやさしさを困っている人たちに届けます。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

普段接点の無い団体との面談機会を持てた事で、新しい可能性が広がりました。今後も救缶鳥プロジェクトに参画する事によって、SDGsゴール達成に繋がる事を認知していただき、更なる普及に努めたいと思います。

## エンドウミートを軸としたプラントベースフードの開発

プラントベースフード・・・植物由来の原材料を使用した食品



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | リンクフード株式会社  |      |       |
| 所在地   | 大阪府豊中市  | 資本金  | 750万円 |
| 設立    | 2018年8月   | 従業員数 | 3名    |
| 企業URL | <a href="https://www.link-food.com/">https://www.link-food.com/</a> |      |       |
| 事業内容  | 食品原料と飼料原料の輸入販売、食品の企画・開発・販売・輸出、食品事業の受託・コンサルタント                       |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

海外と接点を持ち、食品事業に20年以上携わる中で、世界の食品需給状況を実感として体験、環境調和型へ「食」も産業構造が移り変わる転換期に入ってきた中でいかにして食料の安定供給に寄与するかという視点で、「動物性から植物性」という事業に取り組んでいます。「動物性から植物性」という事業が、結果としてSDGsビジネスに繋がっていました。

人口増加と経済成長による食生活の変化により、タンパク質の需要が増加する一方、必要なタンパク質の供給が追いつかなくなる「タンパククライシス」が懸念されており、昆虫由来や藻由来のタンパク源の開発や細胞培養による培養肉技術の開発が行われている中、既存の肉製品や水産品に近い食品原料を植物性で再現できれば、地球環境、貧困、健康といった社会課題の解決の一助になると捉えています。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■ 差別化できる植物肉として、エンドウミートを軸としたプラントベースフードの開発と供給を行う。

◀ ビジネスモデル・製品のポイント ▶

① 自社で原料となる植物性原料の輸入（原料の調達）から最終製品まで携わることで、顧客の要望に柔軟に対応。

② 大豆由来の食品（大豆ミート等）では実現できないアレルギー対応食が実現。

※現に欧米では、アレルギーや遺伝子組み換えの観点でソイフリー（大豆製品を含まない食品）がグルテンフリー（小麦等に含まれる「グルテン」を摂取しない）と同列で広まっている。



## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- ・タンパク源の安定供給により良質なタンパク質の高騰を防ぐ。
- ・効率がよく、良質なたんぱく源を供給することで世界中の人々の栄養不足の解消と健康維持へ。
- ・海洋水産資源の乱獲防止

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性

- ・プレゼンター同士での交流ができ、新しいビジネスの可能性が芽生えました。（同テーマのプレゼンターはビジネスの相関性が高いです）
- ・共創パートナーとの交流の中で、ビジネスとしての拡大性について共通認識を持って、方向性として間違いないという確信が持てました。同時に、事業を勧めていく上での課題も認識できました。
- ・消費者に直接届く商品の具現化を進めます。

## ゴール2：飢餓をゼロに

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

世界中どこでも  
農業が経済を変える

|       |   |      |            |
|-------|---|------|------------|
| 企業名   | スパイスキューブ株式会社  |      |            |
| 所在地   | 大阪市西区   | 資本金  | 1,000,000円 |
| 設立    | 2018年2月14日  | 従業員数 | 4名         |
| 企業URL | <a href="https://www.spicecube.biz/">https://www.spicecube.biz/</a> |      |            |
| 事業内容  | 植物工場の事業化支援、農業装置の設計開発  |      |            |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

農業人口減少による食料自給率と高齢化社会、障害者雇用問題、自粛規制中の生活支援などLED照明と養液循環する栽培技術であれば、SDGsに貢献しながら高品質野菜生産が実現できるからです。この栽培技術の普及を企業だけでなく個人の生活まで浸透できればより良い社会に変わると考えております。更に栽培過程で生じる植物の成長について観察写真情報を共有することで、遠隔地に住む想いを寄せるひととのコミュニケーションがIoT装置で簡単にできるようになります。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■一般企業のオフィスインテリアや個人住宅に簡易的に設置できる農業装置（本棚サイズの植物工場＋成長記録共有できるアプリケーション）のパッケージ開発販売を行う。

## ★農業装置のポイント

- ①100株/月程度の葉物野菜の安定生産が可能 ⇒ 個人や一般企業にとって、農業ビジネスに参入できるチャンス
- ②無農薬、排水0、メンテナンスフリー⇒ 従来の畑よりも導入コスト、営農経費を削減して農業が実現
- ③一般住宅やちょっとした休憩所のデッドスペースにも簡単設置できる気軽さと扱いやすさ⇒ 誰でも農業にトライでき、世界中どこでも農業が可能に
- ④植物成長を観察記録するアプリケーションの開発も視野 ⇒ 品質改善や思い出につながるデータ蓄積が可能に

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

SDGsに加え、国内社会課題（就農者現象、食料自給率）も解消できる可能性がある。これらの取組は個人が個々に取り組む流れと企業参入で組織として取り組むダイナミックな流れをつくるのが重要だと考えております。本事業を活用して農業参入する企業を増やすことが経済成長も地球環境にも寄与してくれると想定しております。

## OSAKA SDGsビジネスマッチング成果や今後の方向性について

新規事業を検討する大手商社からの相談がありました。農地でなく既存建物を活用する農業モデルに魅力を感じたとのことで、都市型農業を協創事業として本年から事業化検討頂けることになりました。植物工場の生産野菜の6次産業化も視野に入れて相談先企業だけでなく野菜納品先も巻き込んで都市部ならではのビジネスモデルが構築できそうです。今後の取組としては成功モデルを基盤にして拡大していきたいと考えています。

## 大豆ミートをはじめとした植物由来食品製造押出機の製造販売 (開発装置、生産装置)



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | 株式会社テクノベル   |      |       |
| 所在地   | 大阪市城東区  | 資本金  | 30百万円 |
| 設立    | 1991年4月   | 従業員数 | 21名   |
| 企業URL | <a href="https://www.technovel.co.jp/">https://www.technovel.co.jp/</a> |      |       |
| 事業内容  | 押出機並びに押出機付帯設備の製造・販売   |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

-押出機業界において(特に欧州)、食品向けの装置開発がトレンドになっているため

### SDGsビジネスの概要とポイント (特徴、ビジネスモデル含む)

■プラスチック成形機的一种である押出機の専門メーカーであり、豊富なコンパウンドノウハウを有する同社が、植物由来製品(大豆ミート等)を製造するための押出機を製造販売する。

≪同社製品のポイント≫

- ① 市場には出回っていないサイズの開発用押出機もラインナップ
- ② プラスチック向け押出機製造で培ったノウハウを生かした装置設計

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

#### 【社会】

-CO2排出量や生産時の水消費量といった観点から、植物由来食品は環境に優しい

-世界的な食糧問題に対して、効率的な蛋白質摂取を可能に

#### 【消費者】

-大豆ミートを始めとした植物由来食品の研究が盛んになることにより、より美味しい食品製品を購入することが可能に

### OSAKA SDGビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

大豆以外の他植物由来製品に対応可能な装置設計を推進中。

競合他社が製造販売できない小型製造機分野に注力し、食品加工会社の代替肉研究開発に貢献したい。

## 救缶鳥プロジェクト



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | 株式会社パン・アキモト 関西営業所   |      |       |
| 所在地   | 大阪市中央区  | 資本金  | 35百万円 |
| 設立    | 昭和22年12月  | 従業員数 | 60名   |
| 企業URL | <a href="http://www.panakimoto.com">http://www.panakimoto.com</a> |      |       |
| 事業内容  | ベーカリーの運営、防災備蓄用缶詰パンの製造・販売、救缶鳥プロジェクト                                |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

国内のある自治体から賞味期限が切れる備蓄品を廃棄して欲しいと依頼がありました。そんな中、海外の飢餓国に賞味期限が残り少なくなったパンの缶詰を義援物資として贈り届ける事で大変喜ばれる事が判り、プロジェクトを開始しました。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■ **パンの缶詰を自分（自社）の為に備蓄しながら同時に社会貢献が出来る「救缶鳥プロジェクト」を提供。**

◀ プロジェクトの流れ ▶

- ① 防災備蓄用として缶詰パンを購入希望者（企業・自治体・個人）に販売
- ② 缶詰の賞味期限が切れる6か月前に購入者へ案内し、賛同を頂いたところから同社が缶詰を回収
- ③ 回収した缶詰を民間の企業や団体を通じて海外の飢餓国や被災地へ義援物資として贈呈。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

今まで国内外合わせて累計40万缶以上の缶詰が届けられました。本当に必要としている国や地域に責任を持って届けて、更に現地に届けたレポートを賛同者へ通知して、「義援の見える化」を行っています。世界では、1分間に17人が飢餓で命を失い、その内5秒に1人が5歳の誕生日を迎えることなく亡くなっています。当プロジェクトは、日本人のやさしさ、大阪からのやさしさを困っている人たちに届けます。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

普段接点の無い団体との面談機会を持てた事で、新しい可能性が広がりました。今後も救缶鳥プロジェクトに参画する事によって、SDGsゴール達成に繋がる事を認知していただき、更なる普及に努めたいと思います。



## エンドウミートを軸としたプラントベースフードの開発

プラントベースフード・・・植物由来の原材料を使用した食品



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | リンクフード株式会社  |      |       |
| 所在地   | 大阪府豊中市  | 資本金  | 750万円 |
| 設立    | 2018年8月   | 従業員数 | 3名    |
| 企業URL | <a href="https://www.link-food.com/">https://www.link-food.com/</a> |      |       |
| 事業内容  | 食品原料と飼料原料の輸入販売、食品の企画・開発・販売・輸出、食品事業の受託・コンサルタント                       |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

海外と接点を持ち、食品事業に20年以上携わる中で、世界の食品需給状況を実感として体験、環境調和型へ「食」も産業構造が移り変わる転換期に入ってきた中でいかにして食料の安定供給に寄与するかという視点で、「動物性から植物性」という事業に取り組んでいます。「動物性から植物性」という事業が、結果としてSDGsビジネスに繋がっていました。

人口増加と経済成長による食生活の変化により、タンパク質の需要が増加する一方、必要なタンパク質の供給が追いつかなくなる「タンパククライシス」が懸念されており、昆虫由来や藻由来のタンパク源の開発や細胞培養による培養肉技術の開発が行われている中、既存の肉製品や水産品に近い食品原料を植物性で再現できれば、地球環境、貧困、健康といった社会課題の解決の一助になると捉えています。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■ 差別化できる植物肉として、エンドウミートを軸としたプラントベースフードの開発と供給を行う。

◀ ビジネスモデル・製品のポイント ▶

① 自社で原料となる植物性原料の輸入（原料の調達）から最終製品まで携わることで、顧客の要望に柔軟に対応。

② 大豆由来の食品（大豆ミート等）では実現できないアレルギー対応食が実現。

※現に欧米では、アレルギーや遺伝子組み換えの観点でソイフリー（大豆製品を含まない食品）がグルテンフリー（小麦等に含まれる「グルテン」を摂取しない）と同列で広まっている。



## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- ・タンパク源の安定供給により良質なタンパク質の高騰を防ぐ。
- ・効率がよく、良質なたんぱく源を供給することで世界中の人々の栄養不足の解消と健康維持へ。
- ・海洋水産資源の乱獲防止

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性

- ・プレゼンター同士での交流ができ、新しいビジネスの可能性が芽生えました。（同テーマのプレゼンターはビジネスの相関性が高いです）
- ・共創パートナーとの交流の中で、ビジネスとしての拡大性について共通認識を持って、方向性として間違いないという確信が持てました。同時に、事業を勧めていく上での課題も認識できました。
- ・消費者に直接届く商品の具現化を進めます。

# ゴール3：すべての人に健康と福祉を

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

## 新しい日本のベースとなる日を目指して



|       |   |      |              |
|-------|---|------|--------------|
| 企業名   | 阪神食品株式会社  |      |              |
| 所在地   | 大阪市此花区  | 資本金  | 1,000万円      |
| 設立    | 昭和56年6月創業   | 従業員数 | 220名(グループ含む) |
| 企業URL | <a href="https://hanshin-shokuhin.co.jp/">https://hanshin-shokuhin.co.jp/</a> |      |              |
| 事業内容  | 食品事業、店舗事業、FA（フレンドリー・アプローチ）事業  |      |              |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

コロナ禍で先が見えない中、世の中からコロナウイルスをなくす事で、持続可能な社会が実現するという理念の元、1年掛けて紫外線滅菌装置を開発いたしました。食品サンプルへの実証実験でも成果を出す事が出来たことから、大阪のため、日本のために新規事業を立ち上げました。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 食品卸から創業した同社が紫外線（UVC）ランプを使用した**大空間専用**の滅菌装置を開発。
- ◀製品のポイント▶
- ① 反射板(特許出願中)を使用して、360度全方位から照射してウイルスが死滅させることが出来る。  
⇔ 他社製品ではウイルス（菌）の片面にUVCを照射するため、全てが滅菌されていないことが多い。
- ② 日本とアメリカにて特許出願中であり、世界基準となることを想定。



## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- ・滅菌レストラン・飲食店での会食が出来たり、マスクの無い生活が可能になる事もある。
- ・元の生活を取り戻すきっかけとなる。
- ・世の中から生物兵器(炭素菌)の恐れがなくなる。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今後の事業については、フードテック事業を推進していきます。  
UVCマイスターは大型機に加え、中型機と小型機を今年中に開発・リリース予定です。

## 3秒で健康チェック！世界初の毛細血管解析システムを起点としたオープンイノベーションのご提案



|       |   |      |         |
|-------|---|------|---------|
| 企業名   | あつと株式会社   |      |         |
| 所在地   | 大阪市中央区  | 資本金  | 7,200万円 |
| 設立    | 2009年11月  | 従業員数 | 9名      |
| 企業URL | <a href="https://kekkan-bijin.jp/">https://kekkan-bijin.jp/</a> |      |         |
| 事業内容  | 健康検査機器の開発製造および販売、健康事業社へのコンサルティング及び物品販売                          |      |         |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

祖父は認知症、祖母は糖尿病、両親も生活習慣病起因で他界しており、生活習慣の重要性は毛細血管観察により感じていた。その非常に有用性の高い非侵襲毛細血管観察装置を科学にし、医学にしていこうと、出来る限り多くの方に自身の体内状態をチェックできる機会を提供し、生活習慣を見直す様な取り組みをする切っ掛けにしたいと考えて為。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

世界初の“毛細血管テクノロジー”を提供するヘルスケア・未病領域のベンチャーである同社が**人の指先の毛細血管画像を解析することで、3秒でその人の健康状態が分かる世界初の毛細血管解析システムを開発。**

◀ 毛細血管解析システムの特徴 ▶

- 皮膚を傷つけず、容易に指先皮下の毛細血管を可視化し、毛細血管画像を定量化する事に成功した。（大阪大学医学系研究科との共同研究成果）
- 取得した毛細血管画像を、クラウド解析システム「CASRating」にアップすることにより、毛細血管の長さを3秒で自動解析することを世界で初めて実現
- 毛細血管の状態をもとに健康状態を点数化し、同時に食生活の偏りや運動不足など、「未病指標」の開発に成功（理化学研究所との共同研究成果）
- 東北大学医学部眼科学教室より緑内障診断の一項目として爪床部毛細血管測定が有用であると日本緑内障学会にて発表

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

日本の糖尿病の患者数は316万人（2014年統計）に達しており、現在その予備軍を合わせると約二千万人と推定される。WHOの調査によると、日本の糖尿病の医療費は8兆円、糖尿病治療剤の日本市場は4,886億円に上っている。日本のヘルスケア市場は、予防や健康管理、生活支援サービスの充実、医療・介護技術の進化などにより、2013年16兆円から2020年には26兆円まで拡大すると予測されている。その中で本研究開発関連するセルフケア健康機器の市場規模は、約2,341億円と予測（矢野経済研究所）される。健康指標の構築により医療費の削減に貢献する。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

OSAKA SDGsビジネスマッチングにより複数社からの問い合わせを頂いており、機器やシステムはもちろんの事、これまで実施してきた毛細血管ラボ社会実装コンソーシアムにも興味を持って頂け、2022年4月にオートフォーカス型毛細血管スコープのリリースを予定しており、2025年の万博に向けてその取組みを拡張させ、世界へ発信できるヘルスケアビジネスに仕立て上げ、世界の社会課題として、毛細血管測定という新しい健康未病指標として普及させていく事を目指します。



## 大阪発！MR技術ですべての人の健康を支えるプロジェクト

|       |   |      |      |
|-------|---|------|------|
| 企業名   | 株式会社テクリコ  |      |      |
| 所在地   | 大阪市北区   | 資本金  | 3百万円 |
| 設立    | 2005年4月15日  | 従業員数 | 7名   |
| 企業URL | <a href="https://rehamaru.jp/">https://rehamaru.jp/</a> |      |      |
| 事業内容  | メディカルヘルスケア分野におけるソフトウェア・システムの研究開発、製造、販売及び運営              |      |      |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

知人が脳卒中で倒れたことをきっかけに、リハビリの現状を知り、Mixed Reality(複合現実)技術を用いた認知機能障害者向けリハビリテーションシステム「リハまる」の開発を行い、事業を進める中で、超高齢化社会となる日本、そして今後、医療が進歩するにつれて死亡率が減少することにより全世界で高齢化が進んでいくことを再認識した。要介護者等について、介護が必要になった主な原因についてみると、加齢に伴う疾患の代表例でもある「認知症」が18.7%と最も多い割合になっており、現在展開をしている「リハまる」を脳血管疾患罹患後のリハビリだけでなく、「認知症」に対して展開することで、“早期発見”・“予防”につながるのではないかと考えている。2025年に大阪万博が開催されることを機会に、日本から世界へと展開し、“すべての人に健康と福祉”を届けたいと考えたことがSDGsを強く意識するきっかけとなった。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■ MR (Mixed Reality ; 複合現実) 技術を用いた、脳卒中・認知症患者をはじめとする高次脳機能障害に対するリハビリテーションシステムを販売する同社が、「認知症」に焦点を当て、“早期発見”・“予防”が可能となる個人向けのMRアプリ「リハまる Go」を開発。

MR技術を用いたリハビリシステムを展開する企業は世界でも希少。

◀ 「リハまる Go」のポイント ▶

- ① MR (Mixed Reality ; 複合現実) 技術を用い、“エンターテインメント性”を付加 ⇒ 楽しみながら認知症の“早期発見”・“予防”へ。
- ② 誰もが使いやすい仕様の下、毎日、家で手軽にトレーニングが可能。
- ③ 関西医科大学との共同研究に基づいた医学的知見をベースとしている。

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

“認知症”という疾患に対しては、国民の意識が高く、国や民間による高齢者へのアンケート調査報告において「認知症（認知機能低下）を予防または進行を遅らせることができるのであれば、自身で対策に取り組むか」という質問に対しては90%以上がやると回答。一方で“簡単な内容であれば”という条件付きが3割程度存在し、実際に何か取り組んでいる人の中で調査した結果では、「何が予防につながるかわからない」と回答した人が多く存在する。“楽しみながら”“効果のある”予防が実施でき、れば、健康寿命の延伸、医療費の削減のみならず、すべての人が健康であり、幸せに暮らせる世界を展開できると考えている。ITを使用するので、場所や環境に依存しないため、大阪、日本、そして世界へと波及させることができる。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

OSAKA SDGsビジネスマッチングにて発表の機会を頂き、より一層SDGsビジネスとしての取り組みに力点を置いていこうと考える良いきっかけとなった。コロナ過で高齢者の社会交流活動も制限され、より一層のケアが必要とされている。非接触・リモートでも実施できる検査やリハビリとしても活用いただき、より多くの方の健康と福祉に貢献できるよう開発を進めていきたいと考えている。

世界中どこでも  
農業が経済を変える

|       |   |      |            |
|-------|---|------|------------|
| 企業名   | スパイスキューブ株式会社  |      |            |
| 所在地   | 大阪市西区   | 資本金  | 1,000,000円 |
| 設立    | 2018年2月14日  | 従業員数 | 4名         |
| 企業URL | <a href="https://www.spicecube.biz/">https://www.spicecube.biz/</a> |      |            |
| 事業内容  | 植物工場の事業化支援、農業装置の設計開発  |      |            |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

農業人口減少による食料自給率と高齢化社会、障害者雇用問題、自粛規制中の生活支援などLED照明と養液循環する栽培技術であれば、SDGsに貢献しながら高品質野菜生産が実現できるからです。この栽培技術の普及を企業だけでなく個人の生活まで浸透できればより良い社会に変わると考えております。更に栽培過程で生じる植物の成長について観察写真情報を共有することで、遠隔地に住む想いを寄せるひととのコミュニケーションがIoT装置で簡単にできるようになります。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■一般企業のオフィスインテリアや個人住宅に簡易的に設置できる農業装置（本棚サイズの植物工場＋成長記録共有できるアプリケーション）のパッケージ開発販売を行う。

## ★農業装置のポイント

- ①100株/月程度の葉物野菜の安定生産が可能 ⇒ 個人や一般企業にとって、農業ビジネスに参入できるチャンス
- ②無農薬、排水0、メンテナンスフリー⇒ 従来の畑よりも導入コスト、営農経費を削減して農業が実現
- ③一般住宅やちょっとした休憩所のデッドスペースにも簡単設置できる気軽さと扱いやすさ⇒ 誰でも農業にトライでき、世界中どこでも農業が可能に
- ④植物成長を観察記録するアプリケーションの開発も視野 ⇒ 品質改善や思い出につながるデータ蓄積が可能に

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

SDGsに加え、国内社会課題（就農者現象、食料自給率）も解消できる可能性がある。これらの取組は個人が個々に取り組む流れと企業参入で組織として取り組むダイナミックな流れをつくるのが重要だと考えております。本事業を活用して農業参入する企業を増やすことが経済成長も地球環境にも寄与してくれると想定しております。

## OSAKA SDGsビジネスマッチング成果や今後の方向性について

新規事業を検討する大手商社からの相談がありました。農地でなく既存建物を活用する農業モデルに魅力を感じたとのことで、都市型農業を協創事業として本年から事業化検討頂けることになりました。植物工場の生産野菜の6次産業化も視野に入れて相談先企業だけでなく野菜納品先も巻き込んで都市部ならではのビジネスモデルが構築できそうです。今後の取組としては成功モデルを基盤にして拡大していきたいと考えています。

## 昆布革命！



|       |   |      |         |
|-------|---|------|---------|
| 企業名   | 株式会社天満大阪昆布  |      |         |
| 所在地   | 大阪市北区   | 資本金  | 1,000万円 |
| 設立    | 昭和62年8月8日   | 従業員数 | 5名      |
| 企業URL | <a href="https://shop-kombu.com/">https://shop-kombu.com/</a> |      |         |
| 事業内容  | 業務用だし昆布・佃煮昆布・各種昆布製品の製造・卸・小売                                   |      |         |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

地球上において昆布が自然に生育している地域は、日本以外にはほとんどありません。その昆布も自然環境の変化により毎年生産量が減ってきていますが、消費も減少方向に向かっています。昆布が一般に使われなくなってきた理由として、①だし昆布の使い方が難しい、②和食を家でつくらない、③だし殻昆布を捨てるのがもったいない、の3つがあげられ、その結果「顆粒だし」が使われています。

日本人なら本物のだし昆布を使った料理が美味しいのをみんな知っているでしょう。にもかかわらず、使い方が面倒なために使用用途が限られ、まただし殻を廃棄してしまうのでは、忙しい生活のなかで多様性のある食事を楽しみ、フードロスなくという現代の潮流に全く逆行することになります。

日本特有の食材「昆布」でSDGsに挑戦することで現状を打破し、健康長寿社会の実現に役立ちたいと思います。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■ だしのよく出る上等の出し昆布を1mm幅に切った「昆布革命シリーズ」の開発と販売を行う。

《同社製品のポイント》

- ① 1mm幅に切ることで、断面が増え、「UMAMI」成分が37%アップ
- ② 水出しすることで日持ちが1週間程度長持ち
- ③ 和洋中エスニック料理との相性も抜群！
- ④ 残った出し殻昆布は、そのまま食材として全く廃棄することなく完全に使い切ることが可能（オリーブ漬けなど）



## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

一般的に昆布は高くて使いにくいとのイメージがありますが、出しを取った後の昆布を捨ててしまうからそのような思われていると思います。出し殻も健康的な食材として完全に利用すれば全く食糧廃棄にもならず、自然とSDGsビジネスに繋がります。食品は本来ならば少しの工夫で廃棄しなくてすむものと思います。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

1月下旬に昆布料理動画制作スタジオを設置いたします。

既に昨年春よりSNSをはじめとしたトライアルで成果が上がっており、本格的に取り組みます。原資は再構築補助金とものづくり補助金です。

## エンドウミートを軸としたプラントベースフードの開発

プラントベースフード・・・植物由来の原材料を使用した食品



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | リンクフード株式会社  |      |       |
| 所在地   | 大阪府豊中市  | 資本金  | 750万円 |
| 設立    | 2018年8月   | 従業員数 | 3名    |
| 企業URL | <a href="https://www.link-food.com/">https://www.link-food.com/</a> |      |       |
| 事業内容  | 食品原料と飼料原料の輸入販売、食品の企画・開発・販売・輸出、食品事業の受託・コンサルタント                       |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

海外と接点を持ち、食品事業に20年以上携わる中で、世界の食品需給状況を実感として体験、環境調和型へ「食」も産業構造が移り変わる転換期に入ってきた中でいかにして食料の安定供給に寄与するかという視点で、「動物性から植物性」という事業に取り組んでいます。「動物性から植物性」という事業が、結果としてSDGsビジネスに繋がっていました。

人口増加と経済成長による食生活の変化により、タンパク質の需要が増加する一方、必要なタンパク質の供給が追いつかなくなる「タンパククライシス」が懸念されており、昆虫由来や藻由来のタンパク源の開発や細胞培養による培養肉技術の開発が行われている中、既存の肉製品や水産品に近い食品原料を植物性で再現できれば、地球環境、貧困、健康といった社会課題の解決の一助になると捉えています。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■ 差別化できる植物肉として、エンドウミートを軸としたプラントベースフードの開発と供給を行う。

◀ ビジネスモデル・製品のポイント ▶

① 自社で原料となる植物性原料の輸入（原料の調達）から最終製品まで携わることで、顧客の要望に柔軟に対応。

② 大豆由来の食品（大豆ミート等）では実現できないアレルギー対応食が実現。

※現に欧米では、アレルギーや遺伝子組み換えの観点でソイフリー（大豆製品を含まない食品）がグルテンフリー（小麦等に含まれる「グルテン」を摂取しない）と同列で広まっている。



## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- ・タンパク源の安定供給により良質なタンパク質の高騰を防ぐ。
- ・効率がよく、良質なたんぱく源を供給することで世界中の人々の栄養不足の解消と健康維持へ。
- ・海洋水産資源の乱獲防止

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性

- ・プレゼンター同士での交流ができ、新しいビジネスの可能性が芽生えました。（同テーマのプレゼンターはビジネスの相関性が高いです）
- ・共創パートナーとの交流の中で、ビジネスとしての拡大性について共通認識を持って、方向性として間違いないという確信が持てました。同時に、事業を勧めていく上での課題も認識できました。
- ・消費者に直接届く商品の具現化を進めます。



## まちなかの人々の興味関心をバーチャルとリアルでつなげることで楽しい街を醸成。引越し前に仲間と居場所がみつかる「コリビング移住」サービス



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | クラブルーム   |      |       |
| 所在地   | 兵庫県西宮市   | 資本金  | 0（個人） |
| 設立    | 2021/07/01   | 従業員数 | 1     |
| 企業URL | <a href="https://clubroom.jp">https://clubroom.jp</a>              |      |       |
| 事業内容  | 部屋とラウンジとコミュニティというシェアハウスの機能を徒歩圏とネットに分散させることで、街全体をコミュニティ化する、移住促進サービス |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

不動産業界に身を置き、就職や転勤などで地元を離れ見知らぬ街に引越しをするとき、人間関係がリセットされる状態をなんとかしたいと考えており、同時にネット上には友達のそばで暮らしたいという声があふれていることに気づき、ビジネスを着想しました。コミュニティ型のシェアハウスは増えつつありますが、供給数が足りておらず利用する人たちも限られています。コミュニティの機能を居住する部屋と切り離すことで、物件の部屋数という制限を取り払い、同じ街の中にひとつのテーマでつながる数百人の友人関係をつくることできれば、これが街の特色となって、様々な付加価値を生むことにつながります。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

街に興味関心テーマを与え、引越し希望者を誘致。引越し前から地域住人と交流することで、街のことを知り仲間との関係を構築した上で、移住できる。

#### ■ 提供サービス

- ・興味別スマホアプリ（SNS）で仲間とつながり
- ・提携物件に入居することで、仲間のそばにくらし
- ・部室（コミュニティスペース）を利用して仲間と交流を行う

例：東大阪市 × ものづくり  
※アマチュア手芸・工芸作家、技術者が集う街をつくる

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

2040年には国民の5人に2人が単身者となり、なおかつ社会的な孤立は死亡率を30%も引き上げるといふ命に関わるリスクです。孤独・孤立をなくすことで、日常を豊かにすることに貢献します。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

街の住人とその街に勤める人たちが新たに興味関心テーマを通じて出会い、定期的に食事の時間を共に楽しむことのできる「食堂」サービスを地域飲食店と連携をして実施予定です。若者からお年寄りまで、孤食・孤独・孤立に悩まれている方はたくさんおられます。地域を支援されている企業で、自社従業員への福利厚生をお考えの企業、または地域コミュニティに対して提供できるサービスをお持ちの企業様はぜひお声がけください。

生きる基盤の睡眠をよくして全ての人が健康や働きがいを実感し、安心して暮らせる社会をつくる。



|       |   |      |   |  |
|-------|---|------|---|--|
| 企業名   | 一般社団法人ライフシフト睡眠メンタリーヘルス協会  |      |   |  |
| 所在地   | 奈良県奈良市  | 資本金  | — |  |
| 設立    | 2021年12月  | 従業員数 | 1 |  |
| 企業URL | <a href="https://lifeshift-suimin.com/">https://lifeshift-suimin.com/</a> |      |   |  |
| 事業内容  | 睡眠研修、睡眠コンサル、監修、睡眠の専門家育成   |      |   |  |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

52歳で睡眠不足が原因でガンになったことがきっかけで、睡眠を良して健康で心豊かな社会をつくるために睡眠の大切さを伝える活動をしています。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- ・事業内容：睡眠研修、睡眠改善コンサル、睡眠関連製品・サービスの監修、睡眠の専門家の育成
- ・目的：日本人成人の9割以上が睡眠に不満を感じて、20歳代の4割以上が日中の眠けでパフォーマンスの低下を感じている。  
しかし日本では睡眠について学ぶ機会があまりなく、その結果日本は世界で一番寝ていない国、睡眠後進国ともいわれている。
- ・同じ睡眠時間でも睡眠の質をよくすれば日中のパフォーマンスが上がり仕事や家事、学習効率がアップし、健康で人間関係も良好になる。
- ・企業は社員の睡眠をよくし健康的に仕事の質と効率を高めると労働時間が短縮でき「社員から喜ばれる働き方改革」が推進できる。
- ・研修、セミナー実績：奈良県警察本部、奈良商工会議所、兵庫県高等学校教職員組合、学校法人、電鉄、製造メーカー、カード会社他

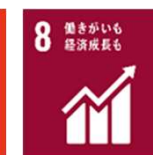
### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

睡眠の質を高めて  
 目標 3：心と身体の健康の基礎ができ、事故ケガを防ぐ。  
 目標 4：思考と運動の記憶を定着させて学力、スキルアップ。  
 目標 8：仕事の効率が上がり働く意欲が高まる。  
 目標 9：発想力が豊かになり新たな技術革新につながる。  
 目標 1 1：警察官、消防士、医療従事者の集中力維持。  
 目標 1 6：人間関係が良好になり争いが減る。  
 目標 1 7：人間関係と判断力が高まり助け合って目標達成。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今後の方向性：「睡眠で日本を活性する」  
 SGDの取組みにおいて生きる基盤である睡眠は多くの目標の達成に繋がります。  
 健康、働き甲斐、パートナーシップ、働き方改革の推進による産業発展への寄与など。  
 今後はより多くの人々が睡眠への意識を持ち睡眠の質をよくすることで健康になるだけでなく、日中のパフォーマンスを高め仕事や家事の効率を上げて、人間関係が円満な社会を築くための活動を拡大推進していきます。  
 そのために睡眠セミナーや企業研修の実施を拡大し、さらに睡眠の大切さを広く伝えるために睡眠の専門家の育成への取組みを強化していきます。

## 女性従業員と管理職向けサポートプログラム O M O I Y A R I ～women'sの力を最大に～



|       |   |      |            |
|-------|---|------|------------|
| 企業名   | 株式会社HANAEMI   |      |            |
| 所在地   | 大阪市中央区  | 資本金  | 1,000,000円 |
| 設立    | 2021年3月   | 従業員数 | 1名         |
| 企業URL | <a href="https://w-hanaemi-personal.com/">https://w-hanaemi-personal.com/</a> |      |            |
| 事業内容  | ①女性特有の健康課題を踏まえたキャリア形成支援 ②産業カウンセラー／キャリアコンサルタントとしての活動 ③セルフケアの普及                 |      |            |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

6年前に代表自身が更年期が影響する不調を経験したことがきっかけに、女性の人生は更年期に限らずホルモン変動に左右される健康課題（心と身体に影響）が年代ごとに存在し、キャリア形成にも大きく影響するを知りました。女性活躍を推進する今だからこそ、数値目標だけに留まることなく、キャリアを断念する人を出さないためにも組織としての対策（サポート体制・働き方・キャリア形成支援）を取る必要があると考え事業化を進めるに至りました。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

事業概要：女性特有の健康課題を踏まえたキャリア形成サポート / テーマ：女性の力を最大限発揮できる職場作り

<特徴>

1. 女性自身と管理職の両方をサポート
2. 見える化ツールを活用した面談
3. 女性特有のライフステージごとの健康課題を踏まえた中長期視点でのキャリア形成サポート
4. 個人だけでなく職場全体をサポート

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

■ 目指すゴール  
企業で働く女性が、どんな時も自分らしく、最大限の力を発揮することができ、心身ともに健康な状態で長期に活躍し続けられる世の中を目指します。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

■ 今後の方向性  
“組織の健康”を目標とし、女性をリーダーとした健康経営の取組手法を構築中です。この手法に女性特有の健康課題への取組（フェムケア）を組み合わせることで、健康経営における攻めの効果（生産性向上・業績向上・企業イメージ向上）を加速させることが可能となります

# ゴール4 : 質の高い教育をみんなに

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

18歳以上の軽度発達障がい者を対象とした、就労目的の多機能型4年制カレッジを設立し彼らを納税者にする。



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | マコム・プランニング株式会社   |      |       |
| 所在地   | 大阪市北区  | 資本金  | 1000万 |
| 設立    | 1970年  | 従業員数 | 80名   |
| 企業URL | <a href="http://Konokono.com">Konokono.com</a> toronco-academy.com |      |       |
| 事業内容  | 広告制作物企画作成、放課後等デイサービスの運営等   |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

弊社既存の放課後等デイサービスを運営していくうえで、すべての障がい者の個性をいかし、心豊かな生活をおくるためのビジネスを考えるようになった。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

多機能型福祉施設「ウィックカレッジ」開校  
 弊社の支援理念：“その人が生きていくことの糧になることを見つけ、その活力、エネルギーが削がれないようにサポートする”に基づき、障がい者、特に軽度発達障がい者の「働きたい権利、思い」「その人なりの生活感、自立心」「チャレンジ精神」を育み、サポートする。自立するための学びの場を創設する。

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

すべての障がい者及びマイノリティの人たちの差別をなくし、雇用を生み出す。  
 Win-Winな社会の在り方が必要に

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

障害雇用に取り組んでいるが、まだまだ障がいのことを知りたい、そして良い職場づくりを目指したい企業と情報共有して取り組みたいと考えております。弊社ウィックカレッジ利用者の個人ファイルによる障がい者の理解を行いトラブルのない職場づくりのお手伝いを行っていきたくております。  
 4月9日（土）入学式、4月11日（月）授業開始

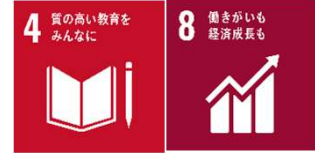
**社員の働きがいを高め、会社と共に成長していくコミュニケーションアプリ WicsS**  
 ～社内コミュニケーションを質と量の両面から活性化を図り、質の高い効果的な教育活動を通じて社員のベクトル合わせと価値観共有を図り、社員の働きがいを高め会社を元気にします!～



|   |   |      |             |
|---|---|------|-------------|
| <b>企業名</b>  | 株式会社エヌ・エム・アール流通総研   |      |             |
| 所在地   | 大阪府大阪市淀川区   | 資本金  | 10,000,000円 |
| 設立  | 1976年2月1日   | 従業員数 | 4名          |
| 企業URL   | <a href="https://nmr-ltd.jp/">https://nmr-ltd.jp/</a>   |      |             |
| 事業内容  | 当社は、単にノウハウ・ツールなどを提供するだけでなく、御社と一緒に考え、悩み、伴走して、一緒に目標達成する経営コンサルティングを推進しています。  |      |             |
| <b>SDGsビジネスを始めたきっかけ</b>   |   |      |             |
| 当社は、階層別・課題別教育などの社員個々の活性化支援と、経営理念構築、等級制度・人事評価制度・給与体系構築、社内資格制度構築・運営支援などを通じて会社組織全体の活性化支援を進めてきました。こういった取り組みは、SDGsの目標達成につながることからSDGsビジネスに着手しました。   |   |      |             |
| <b>SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）</b>   |   |      |             |
| WicsSは、①全社員のベクトルを合わせて、価値観の共有を図るとともに、②社内コミュニケーションを活性化させ、③様々な学びや気づきの機会を提供することで、会社組織の活性化を図ることを目的としたアプリケーションです。<br>主に①リアル動画配信、②録画、録音データ配信、③PFD等データ閲覧、配信、④コラム情報配信、⑤お知らせ通知ができることで、社内で共有すべき情報がリアルタイムに共有できます。<br>このようなアプリケーションは、一般市場ではみられないアプリケーションで、アプリケーション自体を導入いただく方法とサブスクリプション形式でサービス利用いただく方法があります。 |   |      |             |
| <b>SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果</b>  | <b>OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について</b>  |      |             |
| 今後、WicsSの認知が広がり、組織活性化の成果につながる企業を増やしていくことで、SDGsの目標3「質の高い教育をみんなに」、目標7「はたらくがいの経済成長も」をヒト(組織活性化)の面から創出していくと考えています。   | <b>【今後の方向性】</b><br>1.ブラウザ対応<br>現状では、アプリはスマホのみの対応となっていますが、今年から来年にかけてブラウザ対応も図り、パソコンでも活用いただける予定です。<br>2.教育動画コンテンツの充実<br>①今後、健康経営などの教育動画も導入することでSDGsの目標3、まちづくりや地域コミュニティ向け動画によって目標11の達成に向けた活動を展開する予定です。<br>②製造業向けに、目標7、9、12、13、14、15などの教育動画の導入によって、国内の製造メーカー等がSDGsに取り組むきっかけづくりにつなげていく予定です。 |      |             |

## チャレンジする企業を支援! 新規事業・ベンチャー・後継者等創造プロジェクト

～新規事業立ち上げ、社内ベンチャー、後継者育成、社長の右腕育成を  
専門家が継続的にサポートして経営力をメキメキ向上させます!～



|       |   |      |                 |
|-------|---|------|-----------------|
| 企業名   | ビジネス創造プロジェクト委員会   |      |                 |
| 所在地   | 大阪府大阪市淀川区   | 資本金  | －               |
| 設立    | 2020年12月プロジェクトスタート  | 従業員数 | プロジェクト委員会メンバー7名 |
| 企業URL | －   |      |                 |
| 事業内容  | ビジネスの面で専門性を持つプロフェッショナルメンバーが活躍する業界で発生する、さまざまな社会課題などの解決に向けた情報共有をはじめ、対策の検討と実施をプロジェクトチームとして進めてきた。 |      |                 |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

国内経済を活性化していくための社会的課題として、新たな企業の創出、事業承継、新規事業開発を含めて社内ベンチャーなどを活性化していくことが重要であると考え、新たな起業の創出や事業継承、新規事業開発等に関連した人材育成サービスの展開に至った。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 6つの人材を育成するサービスを展開することを事業化。
  - ・新規事業立ち上げ人材 ・社内ベンチャー人材 ・事業承継人材 ・社長の右腕人材 ・独立・創業人材 ・副業人材
- 2つの支援
  - オンラインサービス
    - ・教育動画 ・経営支援情報提供(補助金・助成金情報等) ・オンライン相談 ・オンライン掲示・連絡・伝言板
  - 対面(リアル)での支援&交流
    - ・個別相談・アドバイス・支援 ・補助金・助成金申請サポート ・各種法的・事務手続き等サポート ・交流会等活動(起業家等交流会・ビジネスプランコンテスト)等

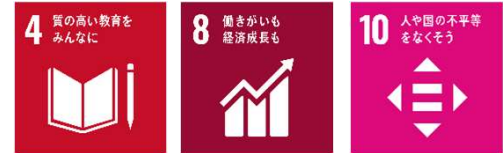
### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

今後、当サービスの認知が広がり、成長する企業を増やしていくことで、SDGsの目標3「質の高い教育をみんなに」、目標7「はたらかいも経済成長も」という目標達成の一助になり、国内経済活性化にも貢献できると考える。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

当サービスは、「オンライン」と「対面での支援&交流」を大きな柱にしている。この2つはそれぞれ独立したものではなく、オンラインサービスで情報や知識を身につけ、対面での支援によって経営力を向上させた人材が相互に交流する機会を多く設けることで、真の経営力向上を目指す。経営の基幹を支える人材の育成こそが企業の成長を促し、地域経済の発展に貢献すると考え、そのような事業展開を目指す。

学校×メディア  
**School News**



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | 株式会社LearnMore  |      |       |
| 所在地   | 大阪府大阪市中央区  | 資本金  | 150万円 |
| 設立    | 2020年8月  | 従業員数 | 3人    |
| 企業URL | <a href="https://www.learn-more.co.jp/">https://www.learn-more.co.jp/</a>                    |      |       |
| 事業内容  | 教育リレーション事業-ICT教育ツール支援、学習動画制作、GIGAスクール構想支援 他<br>生産性向上事業-WEB会議導入運用支援 他<br>デザイン事業-イベント企画、動画制作 他 |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

コロナ禍でのキャリア教育に困っている先生達からの問い合わせをきっかけに、隣の学校や周りの先生の取り組みを知る機会の創出が「学校SDGs」の取り組みになると思い、ビジネスを着想した。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

以下の課題を解決するニュースサイト「**School News**」をリリース予定  
 ①隣の学校の取り組みや、周りの先生が何をしているのかを知る機会がない。  
 ②面白い取り組みや、画期的な取り組みをしているのに発信・共有する手段がない。  
**■「School News」の特徴**  
 ・学校と先生に特化したニュースサイト  
 ・オリジナルコンテンツ（各単元の授業内容・教え方、学校の独自の取り組み等）  
 や新聞社の教育ニュース、教育委員会の情報、教員採用試験の情報が満載。

「全国の学校や先生の“何気ない”取り組みが  
**「School News」**をみればすぐわかる

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 先生一人一人にスポットを当て、ニュースとして発信することが、他の先生の助けやモチベーションに繋げることができる。
- 学校や先生が輝いているところを発信することで、学校や先生に対する社会のイメージを良い方向に変えていき、教員の志望者数を増やす。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

個別商談を行う中で、「School News」に必要なものを、明確に把握する事ができた。まずは、取材協力を頂ける学校・先生の数を増やすことに注力し、8月リリースに向けて、準備を進める。また、引き続き、資金調達の協力先は探していく。



生きる基盤の睡眠をよくして全ての人が健康や働きがいを実感し、安心して暮らせる社会をつくる。



|       |   |      |   |  |
|-------|---|------|---|--|
| 企業名   | 一般社団法人ライフシフト睡眠メンタリーヘルス協会  |      |   |  |
| 所在地   | 奈良県奈良市  | 資本金  | — |  |
| 設立    | 2021年12月  | 従業員数 | 1 |  |
| 企業URL | <a href="https://lifeshift-suimin.com/">https://lifeshift-suimin.com/</a> |      |   |  |
| 事業内容  | 睡眠研修、睡眠コンサル、監修、睡眠の専門家育成   |      |   |  |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

52歳で睡眠不足が原因でガンになったことがきっかけで、睡眠を良して健康で心豊かな社会をつくるために睡眠の大切さを伝える活動をしています。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- ・事業内容：睡眠研修、睡眠改善コンサル、睡眠関連製品・サービスの監修、睡眠の専門家の育成
- ・目的：日本人成人の9割以上が睡眠に不満を感じて、20歳代の4割以上が日中の眠けでパフォーマンスの低下を感じている。  
しかし日本では睡眠について学ぶ機会があまりなく、その結果日本は世界で一番寝ていない国、睡眠後進国ともいわれている。
- ・同じ睡眠時間でも睡眠の質をよくすれば日中のパフォーマンスが上がり仕事や家事、学習効率がアップし、健康で人間関係も良好になる。
- ・企業は社員の睡眠をよくし健康的に仕事の質と効率を高めると労働時間が短縮でき「社員から喜ばれる働き方改革」が推進できる。
- ・研修、セミナー実績：奈良県警察本部、奈良商工会議所、兵庫県高等学校教職員組合、学校法人、電鉄、製造メーカー、カード会社他

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

睡眠の質を高めて  
 目標 3：心と身体の健康の基礎ができ、事故ケガを防ぐ。  
 目標 4：思考と運動の記憶を定着させて学力、スキルアップ。  
 目標 8：仕事の効率が上がり働く意欲が高まる。  
 目標 9：発想力が豊かになり新たな技術革新につながる。  
 目標 1 1：警察官、消防士、医療従事者の集中力維持。  
 目標 1 6：人間関係が良好になり争いが減る。  
 目標 1 7：人間関係と判断力が高まり助け合って目標達成。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今後の方向性：「睡眠で日本を活性する」  
 SGDの取組みにおいて生きる基盤である睡眠は多くの目標の達成に繋がります。  
 健康、働き甲斐、パートナーシップ、働き方改革の推進による産業発展への寄与など。  
 今後はより多くの人々が睡眠への意識を持ち睡眠の質をよくすることで健康になるだけでなく、日中のパフォーマンスを高め仕事や家事の効率を上げて、人間関係が円満な社会を築くための活動を拡大推進していきます。  
 そのために睡眠セミナーや企業研修の実施を拡大し、さらに睡眠の大切さを広く伝えるために睡眠の専門家の育成への取組みを強化していきます。

# ゴール5：ジェンダー平等を実現しよう

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

18歳以上の軽度発達障がい者を対象とした、就労目的の多機能型4年制カレッジを設立し彼らを納税者にする。



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | マコム・プランニング株式会社   |      |       |
| 所在地   | 大阪市北区  | 資本金  | 1000万 |
| 設立    | 1970年  | 従業員数 | 80名   |
| 企業URL | <a href="http://Konokono.com">Konokono.com</a> toronco-academy.com |      |       |
| 事業内容  | 広告制作物企画作成、放課後等デイサービスの運営等   |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

弊社既存の放課後等デイサービスを運営していくうえで、すべての障がい者の個性をいかし、心豊かな生活をおくるためのビジネスを考えるようになった。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

多機能型福祉施設「ウィックカレッジ」開校  
 弊社の支援理念：“その人が生きていくことの糧になることを見つけ、その活力、エネルギーが削がれないようにサポートする”に基づき、障がい者、特に軽度発達障がい者の「働きたい権利、思い」「その人なりの生活感、自立心」「チャレンジ精神」を育み、サポートする。自立するための学びの場を創設する。

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

すべての障がい者及びマイノリティの人たちの差別をなくし、雇用を生み出す。  
 Win-Winな社会の在り方が必要に

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

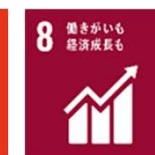
障害雇用に取り組んでいるが、まだまだ障がいのことを知りたい、そして良い職場づくりを目指したい企業と情報共有して取り組みたいと考えております。弊社ウィックカレッジ利用者の個人ファイルによる障がい者の理解を行いトラブルのない職場づくりのお手伝いを行っていきたくております。  
 4月9日（土）入学式、4月11日（月）授業開始

**社員の働きがいを高め、会社と共に成長していくコミュニケーションアプリ WicsS**  
 ～社内コミュニケーションを質と量の両面から活性化を図り、質の高い効果的な教育活動を通じて社員のベクトル合わせと価値観共有を図り、社員の働きがいを高め会社を元気にします!～



|   |   |      |             |
|---|---|------|-------------|
| <b>企業名</b>  | 株式会社エヌ・エム・アール流通総研   |      |             |
| 所在地   | 大阪府大阪市淀川区   | 資本金  | 10,000,000円 |
| 設立  | 1976年2月1日   | 従業員数 | 4名          |
| 企業URL   | <a href="https://nmr-ltd.jp/">https://nmr-ltd.jp/</a>   |      |             |
| 事業内容  | 当社は、単にノウハウ・ツールなどを提供するだけでなく、御社と一緒に考え、悩み、伴走して、一緒に目標達成する経営コンサルティングを推進しています。  |      |             |
| <b>SDGsビジネスを始めたきっかけ</b>   |   |      |             |
| 当社は、階層別・課題別教育などの社員個々の活性化支援と、経営理念構築、等級制度・人事評価制度・給与体系構築、社内資格制度構築・運営支援などを通じて会社組織全体の活性化支援を進めてきました。こういった取り組みは、SDGsの目標達成につながることからSDGsビジネスに着手しました。   |   |      |             |
| <b>SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）</b>   |   |      |             |
| WicsSは、①全社員のベクトルを合わせて、価値観の共有を図るとともに、②社内コミュニケーションを活性化させ、③様々な学びや気づきの機会を提供することで、会社組織の活性化を図ることを目的としたアプリケーションです。<br>主に①リアル動画配信、②録画、録音データ配信、③PFD等データ閲覧、配信、④コラム情報配信、⑤お知らせ通知ができることで、社内で共有すべき情報がリアルタイムに共有できます。<br>このようなアプリケーションは、一般市場ではみられないアプリケーションで、アプリケーション自体を導入いただく方法とサブスクリプション形式でサービス利用いただく方法があります。 |   |      |             |
| <b>SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果</b>  | <b>OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について</b>  |      |             |
| 今後、WicsSの認知が広がり、組織活性化の成果につなげる企業を増やしていくことで、SDGsの目標3「質の高い教育をみんなに」、目標7「はたらくがいの経済成長も」をヒト(組織活性化)の面から創出していくと考えています。   | <b>【今後の方向性】</b><br>1.ブラウザ対応<br>現状では、アプリはスマホのみの対応となっていますが、今年から来年にかけてブラウザ対応も図り、パソコンでも活用いただける予定です。<br>2.教育動画コンテンツの充実<br>①今後、健康経営などの教育動画も導入することでSDGsの目標3、まちづくりや地域コミュニティ向け動画によって目標11の達成に向けた活動を展開する予定です。<br>②製造業向けに、目標7、9、12、13、14、15などの教育動画の導入によって、国内の製造メーカー等がSDGsに取り組むきっかけづくりにつなげていく予定です。 |      |             |

## 女性従業員と管理職向けサポートプログラム O M O I Y A R I ～women'sの力を最大に～



|       |   |      |            |
|-------|---|------|------------|
| 企業名   | 株式会社HANAEMI   |      |            |
| 所在地   | 大阪市中央区  | 資本金  | 1,000,000円 |
| 設立    | 2021年3月   | 従業員数 | 1名         |
| 企業URL | <a href="https://w-hanaemi-personal.com/">https://w-hanaemi-personal.com/</a> |      |            |
| 事業内容  | ①女性特有の健康課題を踏まえたキャリア形成支援 ②産業カウンセラー／キャリアコンサルタントとしての活動 ③セルフケアの普及                 |      |            |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

6年前に代表自身が更年期が影響する不調を経験したことがきっかけに、女性の人生は更年期に限らずホルモン変動に左右される健康課題（心と身体に影響）が年代ごとに存在し、キャリア形成にも大きく影響するを知りました。女性活躍を推進する今だからこそ、数値目標だけに留まることなく、キャリアを断念する人を出さないためにも組織としての対策（サポート体制・働き方・キャリア形成支援）を取る必要があると考え事業化を進めるに至りました。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

事業概要：女性特有の健康課題を踏まえたキャリア形成サポート / テーマ：女性の力を最大限発揮できる職場作り

<特徴>

1. 女性自身と管理職の両方をサポート
2. 見える化ツールを活用した面談
3. 女性特有のライフステージごとの健康課題を踏まえた中長期視点でのキャリア形成サポート
4. 個人だけでなく職場全体をサポート

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

■ 目指すゴール  
企業で働く女性が、どんな時も自分らしく、最大限の力を発揮することができ、心身ともに健康な状態で長期に活躍し続けられる世の中を目指します。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

■ 今後の方向性  
“組織の健康”を目標とし、女性をリーダーとした健康経営の取組手法を構築中です。この手法に女性特有の健康課題への取組（フェムケア）を組み合わせることで、健康経営における攻めの効果（生産性向上・業績向上・企業イメージ向上）を加速させることが可能となります

# ゴール6：安全な水とトイレを世界中に

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

## 未活用農産物の原料化プラットフォーム



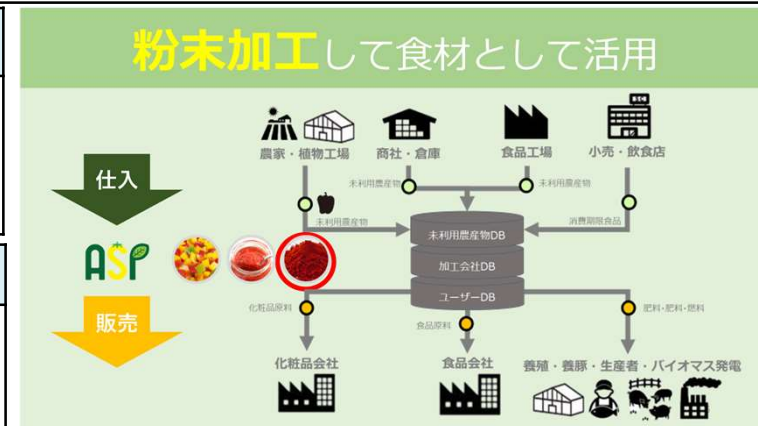
|       |   |      |         |
|-------|---|------|---------|
| 企業名   | 株式会社イーエスピー  |      |         |
| 所在地   | 吹田市   | 資本金  | 4,000千円 |
| 設立    | 2018年2月26日  | 従業員数 | 3名      |
| 企業URL | <a href="https://www.agrisp.jp/">https://www.agrisp.jp/</a> |      |         |
| 事業内容  | 農産物安定供給、未利用農産物原料化、出荷調整・鮮度保持、グリーンヘルスケア                       |      |         |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

フードロスに加え、食べるには問題ないもののサイズや傷など外観上の理由により廃棄されている。このような『未活用農産物』も外観の問題がなくなるよう加工して食品原料化し、付加価値を高め、食品として活用することで生産者の収益向上と環境負荷低減をしながら食料自給率をアップさせようと考えた。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 農家や植物工場、商社、加工会社等から未利用食材を仕入れ、粉末加工として販売を行う。
- 未活用農産物を有効活用し、フードロス削減を実現する仕組みづくりを行う。



## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

日本には京都のおばんざいのように無駄なく使い切る食文化が根付いています。これを継承しながら、「見映えと機能性」を生かした新しい食材を普及し、食料自給率を上げるだけでなく、日本を代表するSDGsフードとして大阪万博にて世界へ発信していきます。

粉末食材として新しい食文化を定着することで食料自給率のアップと環境負荷の低減に貢献します。また長期保管できる食材として豊作時などで廃棄されていたものも備蓄食として安定供給され、フードロスや規格外品という言葉が無い社会を作ります。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

補助金事業を通じて、今回取り組んだ6市町村以外の地域からの相談も増え、来年度は倍の地域での取り組みに発展していきます。また今回試作した原料から採用したい企業が複数出たこととBtoBtoCの座組で具体的な商品企画が複数生まれました。

今後はミールキットや料理人と連携したワークショップや料理教室による「粉」食材の認知度向上を進めながら、大阪万博に向けて日本発のSDGsフードとしてのコンテンツを増やしていきながら、海外展開に向けた準備も進めていきます。

プラットフォーム事業として連携先企業も増えてきましたが、独自の商品開発や共同研究などのプロジェクトも増えてきたため、研究所の設立と組織づくりにも力を入れるため、資金調達を行い、企業力アップを図ります。

ゴール7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ



# 環境の配慮した消防設備業の推進



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | アーグリード株式会社  |      |       |
| 所在地   | 大阪府大阪市  | 資本金  | 3950万 |
| 設立    | 平成16年1月   | 従業員数 | 25人   |
| 企業URL | <a href="http://www.izubo-zu.co.jp/index.php">http://www.izubo-zu.co.jp/index.php</a> |      |       |
| 事業内容  | 消防設備用各種報告書のソフトウェア開発、販売、消防設備点検業務 他   |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

平成23年から環境に配慮した消防設備点検が出来ないか検討した中、消防設備の自動火災報知機等で煙感知器の作動試験の試験器のスプレーが代替フロンであるHFC-134aだと知り、製造企業にその使用を減らすべき出来ないかと問いかけるも代替がないと言われたため、他の方法を模索し、ノンフロンの加煙試験器を開発する事を始めたのがきっかけ。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

### ① 新型加熱試験器の開発・販売

- 同社では、加熱試験でグリーン購入法に採択を目指して、消防設備点検に用いる**新型の加熱試験器の開発販売**を目指している。
- 従来の試験器は触媒にベンジン（白ガソリン）を用いるため、CO2を排出するとともに、火災事故の危険性があった。一方、同社の**新型試験器「楽熱」（仮名）**はベンジン不使用により、**環境に配慮した安全な製品**である。

### ② 消防への電子届出を促進する届出書作成ソフトの開発・販売

- 届出のデジタル化を進めることで、消防設備業界の慢性的人材不足の解決と業務改善を図る。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 点検作業で使用する試験器の開発や届出作業におけるデジタル化を推進することで、大幅な温室ガスの削減につながる可能性がある。
- 消防設備業界の業務改善が図られる。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今回のマッチングでは成果が上がらなかったけれど、事業は継続的に進展しており、今後に期待したい。

## 未活用農産物の原料化プラットフォーム



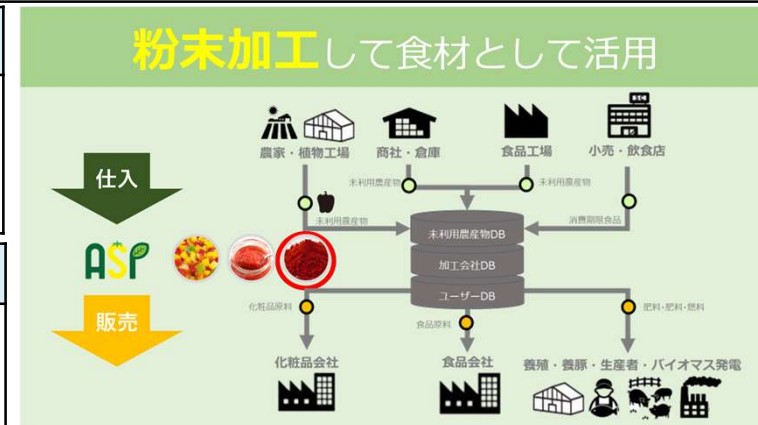
|              |   |             |         |
|--------------|---|-------------|---------|
| <b>企業名</b>   | 株式会社イーエスピー  |             |         |
| <b>所在地</b>   | 吹田市   | <b>資本金</b>  | 4,000千円 |
| <b>設立</b>    | 2018年2月26日  | <b>従業員数</b> | 3名      |
| <b>企業URL</b> | <a href="https://www.agrisp.jp/">https://www.agrisp.jp/</a> |             |         |
| <b>事業内容</b>  | 農産物安定供給、未利用農産物原料化、出荷調整・鮮度保持、グリーンヘルスケア                       |             |         |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

フードロスに加え、食べるには問題ないもののサイズや傷など外観上の理由により廃棄されている。このような『未活用農産物』も外観の問題がなくなるよう加工して食品原料化し、付加価値を高め、食品として活用することで生産者の収益向上と環境負荷低減をしながら食料自給率をアップさせようと考えた。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 農家や植物工場、商社、加工会社等から未利用食材を仕入れ、粉末加工として販売を行う。
- 未活用農産物を有効活用し、フードロス削減を実現する仕組みづくりを行う。



## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

日本には京都のおばんざいのように無駄なく使い切る食文化が根付いています。これを継承しながら、「見映えと機能性」を生かした新しい食材を普及し、食料自給率を上げるだけでなく、日本を代表するSDGsフードとして大阪万博にて世界へ発信していきます。  
粉末食材として新しい食文化を定着することで食料自給率のアップと環境負荷の低減に貢献します。また長期保管できる食材として豊作時などで廃棄されていたものも備蓄食として安定供給され、フードロスや規格外品という言葉が無い社会を作ります。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

補助金事業を通じて、今回取り組んだ6市町村以外の地域からの相談も増え、来年度は倍の地域での取り組みに発展していきます。また今回試作した原料から採用したい企業が複数出たこととBtoBtoCの座組で具体的な商品企画が複数生まれました。  
今後はミールキットや料理人と連携したワークショップや料理教室による「粉」食材の認知度向上を進めながら、大阪万博に向けて日本発のSDGsフードとしてのコンテンツを増やしていきながら、海外展開に向けた準備も進めていきます。  
プラットフォーム事業として連携先企業も増えてきましたが、独自の商品開発や共同研究などのプロジェクトも増えてきたため、研究所の設立と組織づくりにも力を入れるため、資金調達を行い、企業力アップを図ります。

# ゴール8：働きがいも経済成長も

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

# 環境の配慮した消防設備業の推進



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | アーキード株式会社   |      |       |
| 所在地   | 大阪府大阪市大正区   | 資本金  | 3950万 |
| 設立    | 平成16年1月   | 従業員数 | 25人   |
| 企業URL | <a href="http://www.izubo-zu.co.jp/index.php">http://www.izubo-zu.co.jp/index.php</a> |      |       |
| 事業内容  | 消防設備用各種報告書のソフトウェア開発、販売、消防設備点検業務 他   |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

平成23年から環境に配慮した消防設備点検が出来ないか検討した中、消防設備の自動火災報知機等で煙感知器の作動試験の試験器のスプレーが代替フロンであるHFC-134aだと知り、製造企業にその使用を減らすべき出来ないかと問いかけるも代替がないと言われたため、他の方法を模索し、ノンフロンの加煙試験器を開発する事を始めたのがきっかけ。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

### ① 新型加熱試験器の開発・販売

- 同社では、加熱試験でグリーン購入法に採択を目指して、消防設備点検に用いる**新型の加熱試験器の開発販売**を目指している。
- 従来の試験器は触媒にベンジン（白ガソリン）を用いるため、CO2を排出するとともに、火災事故の危険性があった。一方、同社の**新型試験器「楽熱」（仮名）**はベンジン不使用により、**環境に配慮した安全な製品**である。

### ② 消防への電子届出を促進する届出書作成ソフトの開発・販売

- 届出のデジタル化を進めることで、消防設備業界の慢性的人材不足の解決と業務改善を図る。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 点検作業で使用する試験器の開発や届出作業におけるデジタル化を推進することで、大幅な温室ガスの削減につながる可能性がある。
- 消防設備業界の業務改善が図られる。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今回のマッチングでは成果が上がらなかったけれど、事業は継続的に進展しており、今後に期待したい。

## 3秒で健康チェック！世界初の毛細血管解析システムを起点としたオープンイノベーションのご提案



|       |   |      |         |
|-------|---|------|---------|
| 企業名   | あつと株式会社   |      |         |
| 所在地   | 大阪市中央区  | 資本金  | 7,200万円 |
| 設立    | 2009年11月  | 従業員数 | 9名      |
| 企業URL | <a href="https://kekkan-bijin.jp/">https://kekkan-bijin.jp/</a> |      |         |
| 事業内容  | 健康検査機器の開発製造および販売、健康事業社へのコンサルティング及び物品販売                          |      |         |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

祖父は認知症、祖母は糖尿病、両親も生活習慣病起因で他界しており、生活習慣の重要性は毛細血管観察により感じていた。その非常に有用性の高い非侵襲毛細血管観察装置を科学にし、医学にしていこうと、出来る限り多くの方に自身の体内状態をチェックできる機会を提供し、生活習慣を見直す様な取り組みをする切っ掛けにしたいと考えて為。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

世界初の“毛細血管テクノロジー”を提供するヘルスケア・未病領域のベンチャーである同社が**人の指先の毛細血管画像を解析することで、3秒でその人の健康状態が分かる世界初の毛細血管解析システムを開発。**

◀ 毛細血管解析システムの特徴 ▶

- 皮膚を傷つけず、容易に指先皮下の毛細血管を可視化し、毛細血管画像を定量化する事に成功した。（大阪大学医学系研究科との共同研究成果）
- 取得した毛細血管画像を、クラウド解析システム「CASRating」にアップすることにより、毛細血管の長さを3秒で自動解析することを世界で初めて実現
- 毛細血管の状態をもとに健康状態を点数化し、同時に食生活の偏りや運動不足など、「未病指標」の開発に成功（理化学研究所との共同研究成果）
- 東北大学医学部眼科学教室より緑内障診断の一項目として爪床部毛細血管測定が有用であると日本緑内障学会にて発表

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

日本の糖尿病の患者数は316万人（2014年統計）に達しており、現在その予備軍を合わせると約二千万人と推定される。WHOの調査によると、日本の糖尿病の医療費は8兆円、糖尿病治療剤の日本市場は4,886億円に上っている。日本のヘルスケア市場は、予防や健康管理、生活支援サービスの充実、医療・介護技術の進化などにより、2013年16兆円から2020年には26兆円まで拡大すると予測されている。その中で本研究開発関連するセルフケア健康機器の市場規模は、約2,341億円と予測（矢野経済研究所）される。健康指標の構築により医療費の削減に貢献する。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

OSAKA SDGsビジネスマッチングにより複数社からの問い合わせを頂いており、機器やシステムはもちろんの事、これまで実施してきた毛細血管ラボ社会実装コンソーシアムにも興味を持って頂け、2022年4月にオートフォーカス型毛細血管スコープのリリースを予定しており、2025年の万博に向けてその取組みを拡張させ、世界へ発信できるヘルスケアビジネスに仕立て上げ、世界の社会課題として、毛細血管測定という新しい健康未病指標として普及させていく事を目指します。

世界中どこでも  
農業が経済を変える

|       |   |      |            |
|-------|---|------|------------|
| 企業名   | スパイスキューブ株式会社  |      |            |
| 所在地   | 大阪市西区   | 資本金  | 1,000,000円 |
| 設立    | 2018年2月14日  | 従業員数 | 4名         |
| 企業URL | <a href="https://www.spicecube.biz/">https://www.spicecube.biz/</a> |      |            |
| 事業内容  | 植物工場の事業化支援、農業装置の設計開発  |      |            |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

農業人口減少による食料自給率と高齢化社会、障害者雇用問題、自粛規制中の生活支援などLED照明と養液循環する栽培技術であれば、SDGsに貢献しながら高品質野菜生産が実現できるからです。この栽培技術の普及を企業だけでなく個人の生活まで浸透できればより良い社会に変わると考えております。更に栽培過程で生じる植物の成長について観察写真情報を共有することで、遠隔地に住む想いを寄せるひととのコミュニケーションがIoT装置で簡単にできるようになります。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■一般企業のオフィスインテリアや個人住宅に簡易的に設置できる農業装置（本棚サイズの植物工場＋成長記録共有できるアプリケーション）のパッケージ開発販売を行う。

## ★農業装置のポイント

- ①100株/月程度の葉物野菜の安定生産が可能 ⇒ 個人や一般企業にとって、農業ビジネスに参入できるチャンス
- ②無農薬、排水0、メンテナンスフリー⇒ 従来の畑よりも導入コスト、営農経費を削減して農業が実現
- ③一般住宅やちょっとした休憩所のデッドスペースにも簡単設置できる気軽さと扱いやすさ⇒ 誰でも農業にトライでき、世界中どこでも農業が可能に
- ④植物成長を観察記録するアプリケーションの開発も視野 ⇒ 品質改善や思い出につながるデータ蓄積が可能に

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

SDGsに加え、国内社会課題（就農者現象、食料自給率）も解消できる可能性がある。これらの取組は個人が個々に取り組む流れと企業参入で組織として取り組むダイナミックな流れをつくるのが重要だと考えております。本事業を活用して農業参入する企業を増やすことが経済成長も地球環境にも寄与してくれると想定しております。

## OSAKA SDGsビジネスマッチング成果や今後の方向性について

新規事業を検討する大手商社からの相談がありました。農地でなく既存建物を活用する農業モデルに魅力を感じたとのことで、都市型農業を協創事業として本年から事業化検討頂けることになりました。植物工場の生産野菜の6次産業化も視野に入れて相談先企業だけでなく野菜納品先も巻き込んで都市部ならではのビジネスモデルが構築できそうです。今後の取組としては成功モデルを基盤にして拡大していきたいと考えています。

## レンタルでオモイを叶える



|       |  |      |          |
|-------|--|------|----------|
| 企業名   | コーユールンティア株式会社  |      |          |
| 所在地   | 東京都港区  | 資本金  | 8億7896万円 |
| 設立    | 1970年10月   | 従業員数 | 373名     |
| 企業URL | <a href="https://www.koyou.co.jp/">https://www.koyou.co.jp/</a>  |      |          |
| 事業内容  | F F & E レンタル業。建設業界・不動産業界・イベント業界をはじめ、国内外の企業向けに* F F & E をレンタル。<br>*furniture, fixtures and equipment (家具、什器、備品) |      |          |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

1960年代後半、建設工事現場の事務所内で利用する机・椅子などを貸し出すことで、現場事務所の職場環境を担保するサービスを発見し、レンタルビジネスをスタート。現在は、イベント会場、住宅販売センター、各プロジェクト室、業種・地域に限定せず、納入先を増やしている。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 利用したい期間だけ、オフィス家具・家電・PC・タブレットなどを貸出（レンタル）し、貴社の業務活動の運営を物品企画・提供でサポートします。
- レンタル資産は北海道から沖縄までの11の物流センターで整備・補完し、利用される場所まで配送・設置をします。
- 建設現場では50年以上、イベント会場では20年以上の実績があり、案件及び会場の企画提案も可能です。
- 近年の保有商品数は100万点超え、在庫が不足した場合は同業企業との協力での対応をしています。購入一択の業界（教育）を中心にレンタルの選択を提供することで、限りある資源を有効活用、経済的視点でも成長性が期待できます。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

顧客が事業を運営するにあたって、必要な備品をシェア（レンタル）することで、資源の有効活用につながり、環境負荷を低減できる。シェアすることで、廃棄物の発生を抑制でき、低炭素社会へ繋げることが可能。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

ゴール8 VUCA時代に合わせたオフィス空間をレンタルサービスで、働きやすい職場環境をつくれます。  
 ゴール11 日本中の建築工事現場をレンタルサービスでサポートし、まちづくりのお手伝いをします。  
 ゴール12 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を進化させ、ゼロエミッション。つかう責任を全うします。  
 ゴール17 レンタルサービスは、1社では成り立ちません。仕入・搬入・搬出・整備・管理・メンテナンスといった協業の幅を増やして、サービス利用層を拡大します。

18歳以上の軽度発達障がい者を対象とした、就労目的の多機能型4年制カレッジを設立し彼らを納税者にする。



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | マコム・プランニング株式会社   |      |       |
| 所在地   | 大阪市北区  | 資本金  | 1000万 |
| 設立    | 1970年  | 従業員数 | 80名   |
| 企業URL | <a href="http://Konokono.com">Konokono.com</a> toronco-academy.com |      |       |
| 事業内容  | 広告制作物企画作成、放課後等デイサービスの運営等   |      |       |

#### SDGsビジネスを始めたきっかけ

弊社既存の放課後等デイサービスを運営していくうえで、すべての障がい者の個性をいかし、心豊かな生活をおくるためのビジネスを考えるようになった。

#### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

多機能型福祉施設「ウィックカレッジ」開校  
 弊社の支援理念：“その人が生きていくことの糧になることを見つけ、その活力、エネルギーが削がれないようにサポートする”に基づき、障がい者、特に軽度発達障がい者の「働きたい権利、思い」「その人なりの生活感、自立心」「チャレンジ精神」を育み、サポートする。自立するための学びの場を創設する。

#### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

すべての障がい者及びマイノリティの人たちの差別をなくし、雇用を生み出す。  
 Win-Winな社会の在り方が必要に

#### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

障害雇用に取り組んでいるが、まだまだ障がいのことを知りたい、そして良い職場づくりを目指したい企業と情報共有して取り組みたいと考えております。弊社ウィックカレッジ利用者の個人ファイルによる障がい者の理解を行いトラブルのない職場づくりのお手伝いを行っていきたくております。  
 4月9日（土）入学式、4月11日（月）授業開始



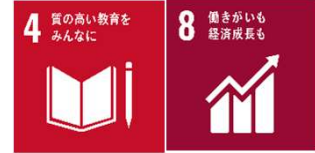
**社員の働きがいを高め、会社と共に成長していくコミュニケーションアプリ WicsS**  
 ～社内コミュニケーションを質と量の両面から活性化を図り、質の高い効果的な教育活動を通じて社員のベクトル合わせと価値観共有を図り、社員の働きがいを高め会社を元気にします!～



|   |   |      |             |
|---|---|------|-------------|
| <b>企業名</b>  | 株式会社エヌ・エム・アール流通総研   |      |             |
| 所在地   | 大阪府大阪市淀川区   | 資本金  | 10,000,000円 |
| 設立  | 1976年2月1日   | 従業員数 | 4名          |
| 企業URL   | <a href="https://nmr-ltd.jp/">https://nmr-ltd.jp/</a>   |      |             |
| 事業内容  | 当社は、単にノウハウ・ツールなどを提供するだけでなく、御社と一緒に考え、悩み、伴走して、一緒に目標達成する経営コンサルティングを推進しています。  |      |             |
| <b>SDGsビジネスを始めたきっかけ</b>   |   |      |             |
| 当社は、階層別・課題別教育などの社員個々の活性化支援と、経営理念構築、等級制度・人事評価制度・給与体系構築、社内資格制度構築・運営支援などを通じて会社組織全体の活性化支援を進めてきました。こういった取り組みは、SDGsの目標達成につながることからSDGsビジネスに着手しました。   |   |      |             |
| <b>SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）</b>   |   |      |             |
| WicsSは、①全社員のベクトルを合わせて、価値観の共有を図るとともに、②社内コミュニケーションを活性化させ、③様々な学びや気づきの機会を提供することで、会社組織の活性化を図ることを目的としたアプリケーションです。<br>主に①リアル動画配信、②録画、録音データ配信、③PFD等データ閲覧、配信、④コラム情報配信、⑤お知らせ通知ができることで、社内で共有すべき情報がリアルタイムに共有できます。<br>このようなアプリケーションは、一般市場ではみられないアプリケーションで、アプリケーション自体を導入いただく方法とサブスクリプション形式でサービス利用いただく方法があります。 |   |      |             |
| <b>SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果</b>  | <b>OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について</b>  |      |             |
| 今後、WicsSの認知が広がり、組織活性化の成果につながる企業を増やしていくことで、SDGsの目標3「質の高い教育をみんなに」、目標7「はたらくがいの経済成長も」をヒト(組織活性化)の面から創出していくと考えています。   | <b>【今後の方向性】</b><br>1.ブラウザ対応<br>現状では、アプリはスマホのみの対応となっていますが、今年から来年にかけてブラウザ対応も図り、パソコンでも活用いただける予定です。<br>2.教育動画コンテンツの充実<br>①今後、健康経営などの教育動画も導入することでSDGsの目標3、まちづくりや地域コミュニティ向け動画によって目標11の達成に向けた活動を展開する予定です。<br>②製造業向けに、目標7、9、12、13、14、15などの教育動画の導入によって、国内の製造メーカー等がSDGsに取り組むきっかけづくりにつなげていく予定です。 |      |             |

## チャレンジする企業を支援! 新規事業・ベンチャー・後継者等創造プロジェクト

～新規事業立ち上げ、社内ベンチャー、後継者育成、社長の右腕育成を  
専門家が継続的にサポートして経営力をメキメキ向上させます!～



|       |   |      |                 |
|-------|---|------|-----------------|
| 企業名   | ビジネス創造プロジェクト委員会   |      |                 |
| 所在地   | 大阪府大阪市淀川区   | 資本金  | －               |
| 設立    | 2020年12月プロジェクトスタート  | 従業員数 | プロジェクト委員会メンバー7名 |
| 企業URL | －   |      |                 |
| 事業内容  | ビジネスの面で専門性を持つプロフェッショナルメンバーが活躍する業界で発生する、さまざまな社会課題などの解決に向けた情報共有をはじめ、対策の検討と実施をプロジェクトチームとして進めてきた。 |      |                 |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

国内経済を活性化していくための社会的課題として、新たな企業の創出、事業承継、新規事業開発を含めて社内ベンチャーなどを活性化していくことが重要であると考え、新たな起業の創出や事業継承、新規事業開発等に関連した人材育成サービスの展開に至った。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 6つの人材を育成するサービスを展開することを事業化。
  - ・新規事業立ち上げ人材 ・社内ベンチャー人材 ・事業承継人材 ・社長の右腕人材 ・独立・創業人材 ・副業人材
- 2つの支援
  - オンラインサービス
    - ・教育動画 ・経営支援情報提供(補助金・助成金情報等) ・オンライン相談 ・オンライン掲示・連絡・伝言板
  - 対面(リアル)での支援&交流
    - ・個別相談・アドバイス・支援 ・補助金・助成金申請サポート ・各種法的・事務手続き等サポート ・交流会等活動(起業家等交流会・ビジネスプランコンテスト)等

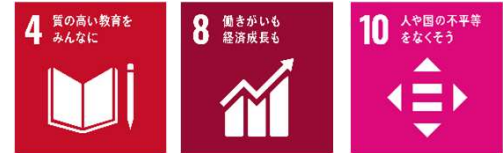
### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

今後、当サービスの認知が広がり、成長する企業を増やしていくことで、SDGsの目標3「質の高い教育をみんなに」、目標7「はたらかいも経済成長も」という目標達成の一助になり、国内経済活性化にも貢献できると考える。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

当サービスは、「オンライン」と「対面での支援&交流」を大きな柱にしている。この2つはそれぞれ独立したものではなく、オンラインサービスで情報や知識を身につけ、対面での支援によって経営力を向上させた人材が相互に交流する機会を多く設けることで、真の経営力向上を目指す。経営の基幹を支える人材の育成こそが企業の成長を促し、地域経済の発展に貢献すると考え、そのような事業展開を目指す。

学校×メディア  
**School News**



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | 株式会社LearnMore  |      |       |
| 所在地   | 大阪府大阪市中央区  | 資本金  | 150万円 |
| 設立    | 2020年8月  | 従業員数 | 3人    |
| 企業URL | <a href="https://www.learn-more.co.jp/">https://www.learn-more.co.jp/</a>                    |      |       |
| 事業内容  | 教育リレーション事業-ICT教育ツール支援、学習動画制作、GIGAスクール構想支援 他<br>生産性向上事業-WEB会議導入運用支援 他<br>デザイン事業-イベント企画、動画制作 他 |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

コロナ禍でのキャリア教育に困っている先生達からの問い合わせをきっかけに、隣の学校や周りの先生の取り組みを知る機会の創出が「学校SDGs」の取り組みになると思い、ビジネスを着想した。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

以下の課題を解決するニュースサイト「**School News**」をリリース予定  
 ①隣の学校の取り組みや、周りの先生が何をしているのかを知る機会がない。  
 ②面白い取り組みや、画期的な取り組みをしているのに発信・共有する手段がない。  
**■「School News」の特徴**  
 ・学校と先生に特化したニュースサイト  
 ・オリジナルコンテンツ（各単元の授業内容・教え方、学校の独自の取り組み等）  
 や新聞社の教育ニュース、教育委員会の情報、教員採用試験の情報が満載。

「全国の学校や先生の“何気ない”取り組みが  
「**School News**」をみればすぐわかる

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 先生一人一人にスポットを当て、ニュースとして発信することが、他の先生の助けやモチベーションに繋げることができる。
- 学校や先生が輝いているところを発信することで、学校や先生に対する社会のイメージを良い方向に変えていき、教員の志望者数を増やす。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

個別商談を行う中で、「School News」に必要なものを、明確に把握する事ができた。まずは、取材協力を頂ける学校・先生の数を増やすことに注力し、8月リリースに向けて、準備を進める。また、引き続き、資金調達の協力先は探していく。

生きる基盤の睡眠をよくして全ての人が健康や働きがいを実感し、安心して暮らせる社会をつくる。



|       |   |      |   |  |
|-------|---|------|---|--|
| 企業名   | 一般社団法人ライフシフト睡眠メンタリーヘルス協会  |      |   |  |
| 所在地   | 奈良県奈良市  | 資本金  | — |  |
| 設立    | 2021年12月  | 従業員数 | 1 |  |
| 企業URL | <a href="https://lifeshift-suimin.com/">https://lifeshift-suimin.com/</a> |      |   |  |
| 事業内容  | 睡眠研修、睡眠コンサル、監修、睡眠の専門家育成   |      |   |  |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

52歳で睡眠不足が原因でガンになったことがきっかけで、睡眠を良して健康で心豊かな社会をつくるために睡眠の大切さを伝える活動をしています。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- ・事業内容：睡眠研修、睡眠改善コンサル、睡眠関連製品・サービスの監修、睡眠の専門家の育成
- ・目的：日本人成人の9割以上が睡眠に不満を感じて、20歳代の4割以上が日中の眠けでパフォーマンスの低下を感じている。  
しかし日本では睡眠について学ぶ機会があまりなく、その結果日本は世界で一番寝ていない国、睡眠後進国ともいわれている。
- ・同じ睡眠時間でも睡眠の質をよくすれば日中のパフォーマンスが上がり仕事や家事、学習効率がアップし、健康で人間関係も良好になる。
- ・企業は社員の睡眠をよくし健康的に仕事の質と効率を高めると労働時間が短縮でき「社員から喜ばれる働き方改革」が推進できる。
- ・研修、セミナー実績：奈良県警察本部、奈良商工会議所、兵庫県高等学校教職員組合、学校法人、電鉄、製造メーカー、カード会社他

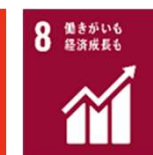
### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

睡眠の質を高めて  
 目標 3：心と身体の健康の基礎ができ、事故ケガを防ぐ。  
 目標 4：思考と運動の記憶を定着させて学力、スキルアップ。  
 目標 8：仕事の効率が上がり働く意欲が高まる。  
 目標 9：発想力が豊かになり新たな技術革新につながる。  
 目標 1 1：警察官、消防士、医療従事者の集中力維持。  
 目標 1 6：人間関係が良好になり争いが減る。  
 目標 1 7：人間関係と判断力が高まり助け合って目標達成。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今後の方向性：「睡眠で日本を活性する」  
 SGDの取組みにおいて生きる基盤である睡眠は多くの目標の達成に繋がります。  
 健康、働き甲斐、パートナーシップ、働き方改革の推進による産業発展への寄与など。  
 今後はより多くの人々が睡眠への意識を持ち睡眠の質をよくすることで健康になるだけでなく、日中のパフォーマンスを高め仕事や家事の効率を上げて、人間関係が円満な社会を築くための活動を拡大推進していきます。  
 そのために睡眠セミナーや企業研修の実施を拡大し、さらに睡眠の大切さを広く伝えるために睡眠の専門家の育成への取組みを強化していきます。

## 女性従業員と管理職向けサポートプログラム O M O I Y A R I ～women'sの力を最大に～



|       |   |      |            |
|-------|---|------|------------|
| 企業名   | 株式会社HANAEMI   |      |            |
| 所在地   | 大阪市中央区  | 資本金  | 1,000,000円 |
| 設立    | 2021年3月   | 従業員数 | 1名         |
| 企業URL | <a href="https://w-hanaemi-personal.com/">https://w-hanaemi-personal.com/</a> |      |            |
| 事業内容  | ①女性特有の健康課題を踏まえたキャリア形成支援 ②産業カウンセラー／キャリアコンサルタントとしての活動 ③セルフケアの普及                 |      |            |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

6年前に代表自身が更年期が影響する不調を経験したことがきっかけに、女性の人生は更年期に限らずホルモン変動に左右される健康課題（心と身体に影響）が年代ごとに存在し、キャリア形成にも大きく影響するを知りました。女性活躍を推進する今だからこそ、数値目標だけに留まることなく、キャリアを断念する人を出さないためにも組織としての対策（サポート体制・働き方・キャリア形成支援）を取る必要があると考え事業化を進めるに至りました。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

事業概要：女性特有の健康課題を踏まえたキャリア形成サポート / テーマ：女性の力を最大限発揮できる職場作り

<特徴>

1. 女性自身と管理職の両方をサポート
2. 見える化ツールを活用した面談
3. 女性特有のライフステージごとの健康課題を踏まえた中長期視点でのキャリア形成サポート
4. 個人だけでなく職場全体をサポート

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

■ 目指すゴール  
企業で働く女性が、どんな時も自分らしく、最大限の力を発揮することができ、心身ともに健康な状態で長期に活躍し続けられる世の中を目指します。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

■ 今後の方向性  
“組織の健康”を目標とし、女性をリーダーとした健康経営の取組手法を構築中です。この手法に女性特有の健康課題への取組（フェムケア）を組み合わせることで、健康経営における攻めの効果（生産性向上・業績向上・企業イメージ向上）を加速させることが可能となります

# ゴール9：産業と技術革新の基盤をつくろう

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

## 人に愛され環境に優しいプラスチック技術を



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | 株式会社プラステコ  |      |       |
| 所在地   | 大阪府池田市   | 資本金  | 10百万円 |
| 設立    | 2007年9月3日  | 従業員数 | 10名   |
| 企業URL | <a href="http://www.plastecocorp.com">www.plastecocorp.com</a> |      |       |
| 事業内容  | 超臨界不活性ガス発泡成形事業、生分解性樹脂製品事業 他                                    |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

現代社会ではプラスチックの恩恵なしには、成り立つことができません。しかし一方では資源問題やゴミ問題、海洋プラスチックゴミなど地球環境の脅威であることも事実です。プラステコは「人と地球にやさしいプラスチックの利用を理念に掲げ、プラスチックを取り巻く地球環境が改善され、世界中の人々のより便利で豊かな生活に貢献できるよう、環境調和型の技術革新を進めています。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- PLA（ポリ乳酸）などの生分解性プラスチックを当社独自の二酸化炭素や窒素を発泡剤としてプラスチックを微細に発泡させる技術を用いて、発泡シートや発泡ビーズ、発泡ストランドなどを生産。
- 当社独自の超臨界発泡押出技術は、従来困難とされた生分解性樹脂PLA（ポリ乳酸）等バイオプラスチックの発泡をコントロールし、気泡径や数密度、独泡率などを調整することが可能であり、創業以来の環境に特化したプラスチック発泡技術を有する当社ならではの経験と知見によって、製品ごとに要望される物性の発泡素材に適した製品づくりが可能である。
- それぞれのニーズに応じて、二次加工し、食品トレーやビーズ成形品、緩衝材など用途に応じた二次加工製品を企業とタッグを組んで開発販売する。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

使い捨てプラスチックゴミ問題の解決。生分解性プラスチックの発泡製品は完全生分解性でリサイクルも可能。温暖化ガスや有害なガスを使用せず、当社オリジナルの二酸化炭素や窒素を発泡剤として発泡させているため、非石油由来でカーボンニュートラル。地球温暖化防止や海洋プラスチックなどの環境問題にも効果のあることが近年の研究で明らかとなってきている。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

商談を希望している企業様からのコンタクト等があり、個別の商談、実際の面談などの機会を持つことができ、大変有意義であった。弊社の技術を使って新たな商品の開発や研究などの話もすることができた。また、参加企業様のプレゼンを視聴することで、新しい技術や産業などを知るきっかけとなり、とても勉強になりました。

## 新しい日本のベースとなる日を目指して



|       |   |      |              |
|-------|---|------|--------------|
| 企業名   | 阪神食品株式会社  |      |              |
| 所在地   | 大阪市此花区  | 資本金  | 1,000万円      |
| 設立    | 昭和56年6月創業   | 従業員数 | 220名(グループ含む) |
| 企業URL | <a href="https://hanshin-shokuhin.co.jp/">https://hanshin-shokuhin.co.jp/</a> |      |              |
| 事業内容  | 食品事業、店舗事業、FA（フレンドリー・アプローチ）事業  |      |              |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

コロナ禍で先が見えない中、世の中からコロナウイルスをなくす事で、持続可能な社会が実現するという理念の元、1年掛けて紫外線滅菌装置を開発いたしました。食品サンプルへの実証実験でも成果を出す事が出来たことから、大阪のため、日本のために新規事業を立ち上げました。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 食品卸から創業した同社が紫外線（UVC）ランプを使用した**大空間専用**の滅菌装置を開発。
- ◀製品のポイント▶
- ① 反射板(特許出願中)を使用して、360度全方位から照射してウイルスが死滅させることが出来る。  
⇔ 他社製品ではウイルス（菌）の片面にUVCを照射するため、全てが滅菌されていないことが多い。
- ② 日本とアメリカにて特許出願中であり、世界基準となることを想定。



## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- ・滅菌レストラン・飲食店での会食が出来たり、マスクの無い生活が可能になる事もある。
- ・元の生活を取り戻すきっかけとなる。
- ・世の中から生物兵器(炭素菌)の恐れがなくなる。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今後の事業については、フードテック事業を推進していきます。  
UVCマイスターは大型機に加え、中型機と小型機を今年中に開発・リリース予定です。



## 3秒で健康チェック！世界初の毛細血管解析システムを起点としたオープンイノベーションのご提案



|       |   |      |         |
|-------|---|------|---------|
| 企業名   | あつと株式会社   |      |         |
| 所在地   | 大阪市中央区  | 資本金  | 7,200万円 |
| 設立    | 2009年11月  | 従業員数 | 9名      |
| 企業URL | <a href="https://kekkan-bijin.jp/">https://kekkan-bijin.jp/</a> |      |         |
| 事業内容  | 健康検査機器の開発製造および販売、健康事業社へのコンサルティング及び物品販売                          |      |         |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

祖父は認知症、祖母は糖尿病、両親も生活習慣病起因で他界しており、生活習慣の重要性は毛細血管観察により感じていた。その非常に有用性の高い非侵襲毛細血管観察装置を科学にし、医学にしていこうと、出来る限り多くの方に自身の体内状態をチェックできる機会を提供し、生活習慣を見直す様な取り組みをする切っ掛けにしてみたいと考えて為。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

世界初の“毛細血管テクノロジー”を提供するヘルスケア・未病領域のベンチャーである同社が**人の指先の毛細血管画像を解析することで、3秒でその人の健康状態が分かる世界初の毛細血管解析システムを開発。**

◀ 毛細血管解析システムの特徴 ▶

- 皮膚を傷つけず、容易に指先皮下の毛細血管を可視化し、毛細血管画像を定量化する事に成功した。（大阪大学医学系研究科との共同研究成果）
- 取得した毛細血管画像を、クラウド解析システム「CASRating」にアップすることにより、毛細血管の長さを3秒で自動解析することを世界で初めて実現
- 毛細血管の状態をもとに健康状態を点数化し、同時に食生活の偏りや運動不足など、「未病指標」の開発に成功（理化学研究所との共同研究成果）
- 東北大学医学部眼科学教室より緑内障診断の一項目として爪床部毛細血管測定が有用であると日本緑内障学会にて発表

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

日本の糖尿病の患者数は316万人（2014年統計）に達しており、現在その予備軍を合わせると約二千万人と推定される。WHOの調査によると、日本の糖尿病の医療費は8兆円、糖尿病治療剤の日本市場は4,886億円に上っている。日本のヘルスケア市場は、予防や健康管理、生活支援サービスの充実、医療・介護技術の進化などにより、2013年16兆円から2020年には26兆円まで拡大すると予測されている。その中で本研究開発関連するセルフケア健康機器の市場規模は、約2,341億円と予測（矢野経済研究所）される。健康指標の構築により医療費の削減に貢献する。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

OSAKA SDGsビジネスマッチングにより複数社からの問い合わせを頂いており、機器やシステムはもちろんの事、これまで実施してきた毛細血管ラボ社会実装コンソーシアムにも興味を持って頂け、2022年4月にオートフォーカス型毛細血管スコープのリリースを予定しており、2025年の万博に向けてその取組みを拡張させ、世界へ発信できるヘルスケアビジネスに仕立て上げ、世界の社会課題として、毛細血管測定という新しい健康未病指標として普及させていく事を目指します。

世界中どこでも  
農業が経済を変える

|       |   |      |            |
|-------|---|------|------------|
| 企業名   | スパイスキューブ株式会社  |      |            |
| 所在地   | 大阪市西区   | 資本金  | 1,000,000円 |
| 設立    | 2018年2月14日  | 従業員数 | 4名         |
| 企業URL | <a href="https://www.spicecube.biz/">https://www.spicecube.biz/</a> |      |            |
| 事業内容  | 植物工場の事業化支援、農業装置の設計開発  |      |            |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

農業人口減少による食料自給率と高齢化社会、障害者雇用問題、自粛規制中の生活支援などLED照明と養液循環する栽培技術であれば、SDGsに貢献しながら高品質野菜生産が実現できるからです。この栽培技術の普及を企業だけでなく個人の生活まで浸透できればより良い社会に変わると考えております。更に栽培過程で生じる植物の成長について観察写真情報を共有することで、遠隔地に住む想いを寄せるひととのコミュニケーションがIoT装置で簡単にできるようになります。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■一般企業のオフィスインテリアや個人住宅に簡易的に設置できる農業装置（本棚サイズの植物工場＋成長記録共有できるアプリケーション）のパッケージ開発販売を行う。

## ★農業装置のポイント

- ①100株/月程度の葉物野菜の安定生産が可能 ⇒ 個人や一般企業にとって、農業ビジネスに参入できるチャンス
- ②無農薬、排水0、メンテナンスフリー⇒ 従来の畑よりも導入コスト、営農経費を削減して農業が実現
- ③一般住宅やちょっとした休憩所のデッドスペースにも簡単設置できる気軽さと扱いやすさ⇒ 誰でも農業にトライでき、世界中どこでも農業が可能に
- ④植物成長を観察記録するアプリケーションの開発も視野 ⇒ 品質改善や思い出につながるデータ蓄積が可能に

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

SDGsに加え、国内社会課題（就農者現象、食料自給率）も解消できる可能性がある。これらの取組は個人が個々に取り組む流れと企業参入で組織として取り組むダイナミックな流れをつくるのが重要だと考えております。本事業を活用して農業参入する企業を増やすことが経済成長も地球環境にも寄与してくれると想定しております。

## OSAKA SDGsビジネスマッチング成果や今後の方向性について

新規事業を検討する大手商社からの相談がありました。農地でなく既存建物を活用する農業モデルに魅力を感じたとのことで、都市型農業を協創事業として本年から事業化検討頂けることになりました。植物工場の生産野菜の6次産業化も視野に入れて相談先企業だけでなく野菜納品先も巻き込んで都市部ならではのビジネスモデルが構築できそうです。今後の取組としては成功モデルを基盤にして拡大していきたいと考えています。

## 大豆ミートをはじめとした植物由来食品製造押出機の製造販売 (開発装置、生産装置)



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | 株式会社テクノベル   |      |       |
| 所在地   | 大阪市城東区  | 資本金  | 30百万円 |
| 設立    | 1991年4月   | 従業員数 | 21名   |
| 企業URL | <a href="https://www.technovel.co.jp/">https://www.technovel.co.jp/</a> |      |       |
| 事業内容  | 押出機並びに押出機付帯設備の製造・販売   |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

-押出機業界において(特に欧州)、食品向けの装置開発がトレンドになっているため

### SDGsビジネスの概要とポイント (特徴、ビジネスモデル含む)

■プラスチック成形機的一种である押出機の専門メーカーであり、豊富なコンパウンドノウハウを有する同社が、植物由来製品(大豆ミート等)を製造するための押出機を製造販売する。

≪同社製品のポイント≫

- ① 市場には出回っていないサイズの開発用押出機もラインナップ
- ② プラスチック向け押出機製造で培ったノウハウを生かした装置設計

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

#### 【社会】

-CO2排出量や生産時の水消費量といった観点から、植物由来食品は環境に優しい

-世界的な食糧問題に対して、効率的な蛋白質摂取を可能に

#### 【消費者】

-大豆ミートを始めとした植物由来食品の研究が盛んになることにより、より美味しい食品製品を購入することが可能に

### OSAKA SDGビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

大豆以外の他植物由来製品に対応可能な装置設計を推進中。

競合他社が製造販売できない小型製造機分野に注力し、食品加工会社の代替肉研究開発に貢献したい。

## 未活用農産物の原料化プラットフォーム



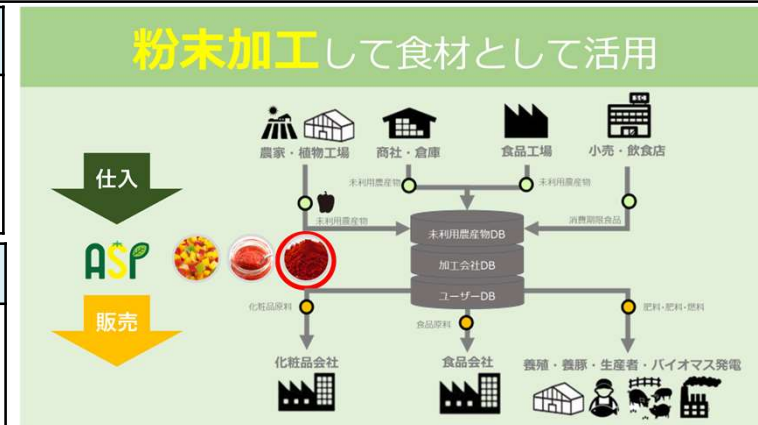
|              |   |             |         |
|--------------|---|-------------|---------|
| <b>企業名</b>   | 株式会社イーエスピー  |             |         |
| <b>所在地</b>   | 吹田市   | <b>資本金</b>  | 4,000千円 |
| <b>設立</b>    | 2018年2月26日  | <b>従業員数</b> | 3名      |
| <b>企業URL</b> | <a href="https://www.agrisp.jp/">https://www.agrisp.jp/</a> |             |         |
| <b>事業内容</b>  | 農産物安定供給、未利用農産物原料化、出荷調整・鮮度保持、グリーンヘルスケア                       |             |         |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

フードロスに加え、食べるには問題ないもののサイズや傷など外観上の理由により廃棄されている。このような『未活用農産物』も外観の問題がなくなるよう加工して食品原料化し、付加価値を高め、食品として活用することで生産者の収益向上と環境負荷低減をしながら食料自給率をアップさせようと考えた。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 農家や植物工場、商社、加工会社等から未利用食材を仕入れ、粉末加工として販売を行う。
- 未活用農産物を有効活用し、フードロス削減を実現する仕組みづくりを行う。



## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

日本には京都のおばんざいのように無駄なく使い切る食文化が根付いています。これを継承しながら、「見映えと機能性」を生かした新しい食材を普及し、食料自給率を上げるだけでなく、日本を代表するSDGsフードとして大阪万博にて世界へ発信していきます。  
粉末食材として新しい食文化を定着することで食料自給率のアップと環境負荷の低減に貢献します。また長期保管できる食材として豊作時などで廃棄されていたものも備蓄食として安定供給され、フードロスや規格外品という言葉が無い社会を作ります。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

補助金事業を通じて、今回取り組んだ6市町村以外の地域からの相談も増え、来年度は倍の地域での取り組みに発展していきます。また今回試作した原料から採用したい企業が複数出たこととBtoBtoCの座組で具体的な商品企画が複数生まれました。  
今後はミールキットや料理人と連携したワークショップや料理教室による「粉」食材の認知度向上を進めながら、大阪万博に向けて日本発のSDGsフードとしてのコンテンツを増やしていきながら、海外展開に向けた準備も進めていきます。  
プラットフォーム事業として連携先企業も増えてきましたが、独自の商品開発や共同研究などのプロジェクトも増えてきたため、研究所の設立と組織づくりにも力を入れるため、資金調達を行い、企業力アップを図ります。

## 建築業界の人手不足解消とSDGsを実現する 『端材利用外壁コーナー』の製造



|       |   |      |         |
|-------|---|------|---------|
| 企業名   | 大日運輸株式会社  |      |         |
| 所在地   | 大阪府門真市  | 資本金  | 1,000万円 |
| 設立    | 1971年   | 従業員数 | 50人     |
| 企業URL | <a href="http://www.dun.co.jp/">http://www.dun.co.jp/</a> |      |         |
| 事業内容  | 物流商社：配送サービス、倉庫サービス、建材加工サービス、建材販売サービス等                     |      |         |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

建築資材の配送・保管ならびに外壁材のコーナー材の製造加工を行っています。 外壁材を現場に配送する際に今回のビジネスを思いつきました。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

住宅の外壁を施工する際、外壁材を現場のサイズに合わせて切断し、壁面に留めつけます。その際に発生した端材を回収し、コーナー部材として再生利用します。 ※端材は産業廃棄物となる場合が多いです。



### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

・外壁施工の人手不足解消と建築廃材の削減

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

- ①『端材利用外壁コーナー』の製造事業の更なる拡大を進めていきます。
- ②その他のあらゆる建築資材〔屋根材、壁材、内装材、断熱材、木材等々〕の端材を有効利用できるSDGsビジネスモデルを横展開していきたいです。  
心当たりがある方は是非ともお声掛け願います。

## “ヴィーガンレザー” ～植物性皮革という選択肢～



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | PEEL Lab (ピールラボ)  |      |       |
| 所在地   | 大阪府大阪市  | 資本金  | 200万円 |
| 設立    | 2021年8月   | 従業員数 | 5     |
| 企業URL | <a href="https://www.peel-lab.com">https://www.peel-lab.com</a> |      |       |
| 事業内容  | 食品ロスのアップサイクリング、動物虐待の防止、地球温暖化の防止に関する事業                           |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

私たちは、ファッション業界と環境をテーマに、主に動物・合成皮革が環境に与える影響に着目しました。既存のレザーの製造過程で排出される温室効果ガスは、なんと毎年全体の10%をも占めています。それに加え、約5,000万頭以上の動物が犠牲になり、830億ガロンにも及ぶ量の水が無駄になっているのが現状です。これらの問題の解決するため、消費者に植物由来性のヴィーガンレザーという選択肢を与える活動をしています。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- サステナブル（持続可能性）・エシカル（論理的なアプローチ）・デザイン・トランスペアレンシー（生産過程における透明性）という4つのバリューを念頭に、様々なブランドとのコラボレーションを通じて環境保護を目標に日々活動。
- 植物（主に廃棄ロスのパイナップル、りんご、竹など）を原料にしたヴィーガンレザーを用いた製品の開発・販売（B2B）。  
販売事例：ハンドバッグ、ペット用首輪、コースター、ヨガマットなど

#### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

現在、レザー製品には主に動物・合成皮革が使われています。どちらも環境と動物愛護観点において非常に有害であり、早急な解決策が必要と考えています。そのため、植物性レザーを普及させることで、消費者への「第3の選択肢」の提供を実現します。これにより、ヴィーガンレザー商品の開発、制作はもちろん、既存のファッション製品製造がもたらす環境問題やエシカル消費の重要性などの社会的認識を高めることも期待できます。そして、2030年までに動物性・合成皮革製品市場の約5%を植物由来のレザーに置き換えることを目標としています。

#### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

東京・大阪に拠点を置くPEEL Lab (ピールラボ) 株式会社は、植物由来レザーを筆頭に、廃棄ロスの植物や果物をアップサイクルした素材の活用を推進するビジネスプラットフォームであり、バイオテックベンチャーです。地球環境への配慮を大切に、日本でのビジネス展開だけでなく東南アジアでの農業廃棄物の課題や、廃棄コナッツを活用して新しい素材の研究開発にも取り組んでいます。URL: [www.peel-lab.com](http://www.peel-lab.com)  
PEEL Lab (ピールラボ) は大きな3つのテーマ 1) 地球温暖化の抑止、2) 食品廃棄ロスの抑制、3) 動物への虐待回避を目的として活動を行い、持続可能で革新的な素材でプロダクトを生み出していくという戦略的な考えを持っています。動物愛護の精神から生み出された植物由来レザーはPeTA（全米最大の動物愛護団体）によって公式認定されており、その素材は従来のいわゆるレザーの感触や質感によく似ています。私たちは植物由来レザー＝ネクストレザーと位置付け、ますます拡大する代替素材への需要に対応してまいります。またPEEL Lab：NEXT FOODS（ネクストフード）のプロジェクトを開始しました。スーパーフードとして、昨今注目を浴びるスピルリナを主原料としたパスタを2022年4月下旬を目処に販売を開始いたします。同時に、スピルリナパウダーも販売を予定しております。

生きる基盤の睡眠をよくして全ての人が健康や働きがいを実感し、安心して暮らせる社会をつくる。



|       |   |      |   |  |
|-------|---|------|---|--|
| 企業名   | 一般社団法人ライフシフト睡眠メンタリーヘルス協会  |      |   |  |
| 所在地   | 奈良県奈良市  | 資本金  | — |  |
| 設立    | 2021年12月  | 従業員数 | 1 |  |
| 企業URL | <a href="https://lifeshift-suimin.com/">https://lifeshift-suimin.com/</a> |      |   |  |
| 事業内容  | 睡眠研修、睡眠コンサル、監修、睡眠の専門家育成   |      |   |  |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

52歳で睡眠不足が原因でガンになったことがきっかけで、睡眠を良して健康で心豊かな社会をつくるために睡眠の大切さを伝える活動をしています。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- ・事業内容：睡眠研修、睡眠改善コンサル、睡眠関連製品・サービスの監修、睡眠の専門家の育成
- ・目的：日本人成人の9割以上が睡眠に不満を感じて、20歳代の4割以上が日中の眠けでパフォーマンスの低下を感じている。  
しかし日本では睡眠について学ぶ機会があまりなく、その結果日本は世界で一番寝ていない国、睡眠後進国ともいわれている。
- ・同じ睡眠時間でも睡眠の質をよくすれば日中のパフォーマンスが上がり仕事や家事、学習効率がアップし、健康で人間関係も良好になる。
- ・企業は社員の睡眠をよくし健康的に仕事の質と効率を高めると労働時間が短縮でき「社員から喜ばれる働き方改革」が推進できる。
- ・研修、セミナー実績：奈良県警察本部、奈良商工会議所、兵庫県高等学校教職員組合、学校法人、電鉄、製造メーカー、カード会社他

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

睡眠の質を高めて  
 目標 3：心と身体の健康の基礎ができ、事故ケガを防ぐ。  
 目標 4：思考と運動の記憶を定着させて学力、スキルアップ。  
 目標 8：仕事の効率が上がり働く意欲が高まる。  
 目標 9：発想力が豊かになり新たな技術革新につながる。  
 目標 1 1：警察官、消防士、医療従事者の集中力維持。  
 目標 1 6：人間関係が良好になり争いが減る。  
 目標 1 7：人間関係と判断力が高まり助け合って目標達成。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今後の方向性：「睡眠で日本を活性する」  
 SGDの取組みにおいて生きる基盤である睡眠は多くの目標の達成に繋がります。  
 健康、働き甲斐、パートナーシップ、働き方改革の推進による産業発展への寄与など。  
 今後はより多くの人々が睡眠への意識を持ち睡眠の質をよくすることで健康になるだけでなく、日中のパフォーマンスを高め仕事や家事の効率を上げて、人間関係が円満な社会を築くための活動を拡大推進していきます。  
 そのために睡眠セミナーや企業研修の実施を拡大し、さらに睡眠の大切さを広く伝えるために睡眠の専門家の育成への取組みを強化していきます。

# ゴール10：人や国の不平等をなくそう

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ



18歳以上の軽度発達障がい者を対象とした、就労目的の多機能型4年制カレッジを設立し彼らを納税者にする。



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | マコム・プランニング株式会社   |      |       |
| 所在地   | 大阪市北区  | 資本金  | 1000万 |
| 設立    | 1970年  | 従業員数 | 80名   |
| 企業URL | <a href="http://Konokono.com">Konokono.com</a> toronco-academy.com |      |       |
| 事業内容  | 広告制作物企画作成、放課後等デイサービスの運営等   |      |       |

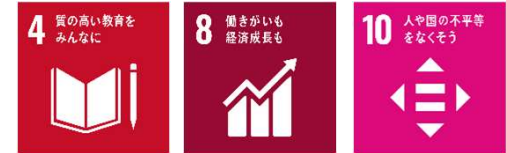
**SDGsビジネスを始めたきっかけ**  
 弊社既存の放課後等デイサービスを運営していくうえで、すべての障がい者の個性をいかし、心豊かな生活をおくるためのビジネスを考えるようになった。

**SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）**  
 多機能型福祉施設「ウィックカレッジ」開校  
 弊社の支援理念：“その人が生きていくことの糧になることを見つけ、その活力、エネルギーが削がれないようにサポートする”に基づき、障がい者、特に軽度発達障がい者の「働きたい権利、思い」「その人なりの生活感、自立心」「チャレンジ精神」を育み、サポートする。自立するための学びの場を創設する。

**SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果**  
 すべての障がい者及びマイノリティの人たちの差別をなくし、雇用を生み出す。  
 Win-Winな社会の在り方が必要に

**OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について**  
 障害雇用に取り組んでいるが、まだまだ障がいのことを知りたい、そして良い職場づくりを目指したい企業と情報共有して取り組みたいと考えております。弊社ウィックカレッジ利用者の個人ファイルによる障がい者の理解を行いトラブルのない職場づくりのお手伝いを行っていきたくております。  
 4月9日（土）入学式、4月11日（月）授業開始

学校×メディア  
**School News**



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | 株式会社LearnMore  |      |       |
| 所在地   | 大阪府大阪市中央区  | 資本金  | 150万円 |
| 設立    | 2020年8月  | 従業員数 | 3人    |
| 企業URL | <a href="https://www.learn-more.co.jp/">https://www.learn-more.co.jp/</a>                    |      |       |
| 事業内容  | 教育リレーション事業-ICT教育ツール支援、学習動画制作、GIGAスクール構想支援 他<br>生産性向上事業-WEB会議導入運用支援 他<br>デザイン事業-イベント企画、動画制作 他 |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

コロナ禍でのキャリア教育に困っている先生達からの問い合わせをきっかけに、隣の学校や周りの先生の取り組みを知る機会の創出が「学校SDGs」の取り組みになると思い、ビジネスを着想した。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

以下の課題を解決するニュースサイト「**School News**」をリリース予定  
 ①隣の学校の取り組みや、周りの先生が何をしているのかを知る機会がない。  
 ②面白い取り組みや、画期的な取り組みをしているのに発信・共有する手段がない。  
**■「School News」の特徴**  
 ・学校と先生に特化したニュースサイト  
 ・オリジナルコンテンツ（各単元の授業内容・教え方、学校の独自の取り組み等）  
 や新聞社の教育ニュース、教育委員会の情報、教員採用試験の情報が満載。

「全国の学校や先生の“何気ない”取り組みが  
**「School News」**をみればすぐわかる

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 先生一人一人にスポットを当て、ニュースとして発信することが、他の先生の助けやモチベーションに繋げることができる。
- 学校や先生が輝いているところを発信することで、学校や先生に対する社会のイメージを良い方向に変えていき、教員の志望者数を増やす。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

個別商談を行う中で、「School News」に必要なものを、明確に把握する事ができた。まずは、取材協力を頂ける学校・先生の数を増やすことに注力し、8月リリースに向けて、準備を進める。また、引き続き、資金調達の協力先は探していく。

# ゴール11：住み続けられるまちづくりを

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

## 人に愛され環境に優しいプラスチック技術を



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | 株式会社プラステコ  |      |       |
| 所在地   | 大阪府池田市   | 資本金  | 10百万円 |
| 設立    | 2007年9月3日  | 従業員数 | 10名   |
| 企業URL | <a href="http://www.plastecocorp.com">www.plastecocorp.com</a> |      |       |
| 事業内容  | 超臨界不活性ガス発泡成形事業、生分解性樹脂製品事業 他                                    |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

現代社会ではプラスチックの恩恵なしには、成り立つことができません。しかし一方では資源問題やゴミ問題、海洋プラスチックゴミなど地球環境の脅威であることも事実です。プラステコは「人と地球にやさしいプラスチックの利用を理念に掲げ、プラスチックを取り巻く地球環境が改善され、世界中の人々のより便利で豊かな生活に貢献できるよう、環境調和型の技術革新を進めています。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- PLA（ポリ乳酸）などの生分解性プラスチックを当社独自の二酸化炭素や窒素を発泡剤としてプラスチックを微細に発泡させる技術を用いて、発泡シートや発泡ビーズ、発泡ストランドなどを生産。
- 当社独自の超臨界発泡押出技術は、従来困難とされた生分解性樹脂PLA（ポリ乳酸）等バイオプラスチックの発泡をコントロールし、気泡径や数密度、独泡率などを調整することが可能であり、創業以来の環境に特化したプラスチック発泡技術を有する当社ならではの経験と知見によって、製品ごとに要望される物性の発泡素材に適した製品づくりが可能である。
- それぞれのニーズに応じて、二次加工し、食品トレーやビーズ成形品、緩衝材など用途に応じた二次加工製品を企業とタッグを組んで開発販売する。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

使い捨てプラスチックゴミ問題の解決。生分解性プラスチックの発泡製品は完全生分解性でリサイクルも可能。温暖化ガスや有害なガスを使用せず、当社オリジナルの二酸化炭素や窒素を発泡剤として発泡させているため、非石油由来でカーボンニュートラル。地球温暖化防止や海洋プラスチックなどの環境問題にも効果のあることが近年の研究で明らかとなってきている。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

商談を希望している企業様からのコンタクト等があり、個別の商談、実際の面談などの機会を持つことができ、大変有意義であった。弊社の技術を使って新たな商品の開発や研究などの話もすることができた。また、参加企業様のプレゼンを視聴することで、新しい技術や産業などを知るきっかけとなり、とても勉強になりました。

光触媒の環境浄化機能により持続可能な社会の実現を目指す。



|       |   |     |      |
|-------|---|-----|------|
| 企業名   | 株式会社JPコーポレーション  |     |      |
| 所在地   | 大阪市西区   | 資本金 | 3百万円 |
| 設立    | H22年8月4日  |     |      |
| 企業URL | <a href="https://jp-corpo.net">https://jp-corpo.net</a> |     |      |
| 事業内容  | 光触媒関連材のコンサルティング・販売・施工 他                                 |     |      |

SDGsビジネスを始めたきっかけ

東日本大震災以降、環境に対する社会の意識が高まった事をきっかけに【光触媒による環境浄化技術の普及】で社会貢献したいと強く意識するようになった。弊社実績である「国土交通省のNOx対策」、「大阪府の遮音壁清掃に必要な水等資源の削減対策」などの事業に携わったこともきっかけとなっている。

SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 光触媒は光や水という自然エネルギーを使って、持続的に効果を発揮する機能性材料であり、光触媒製品を使用する = 少ない資源で「空気浄化」・「悪臭処理」・「防曇」・「抗菌・抗ウイルス」等多くの効果が期待できる。昨今の環境重視の観点からも成長性の高いビジネスと言える。
- 光触媒材料にはいくつもの種類があり、適切な材料・手段を用いることで、大きな効果が期待できる。多くのノウハウを持つ弊社がお手伝いさせていただくことで、企業の収益につながると同時に、環境へも寄与することが出来る。

**光触媒の効果**

- ・空気浄化
- ・汚れ防止
- ・NOx除去
- ・抗菌・抗ウイルス
- ・（人工光合成）他

SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 社会に対しては、①抗菌・抗ウイルス効果により、安心・安全な環境を提供出来る。②セルフクリーニング効果により、建物・各種構造物の美観維持が可能となり清掃に資する水・洗剤の削減となる。③ NOx除去効果により、道路沿道の大気浄化が可能になる。
- 顧客に対しては、光触媒が環境浄化を目的とした材料の為、採用・推進する事で「環境に取り組む企業」として対外的にPRが出来る。

OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

- 今後の方向性について

1. これからも様々な業種の企業様と光触媒事業を推進する事で、更に知見を増やし、光触媒材料の専門商社としての地位を確立していく。
2. 光触媒工業会の委員として、業界の発展に寄与していく。
3. 光触媒事業にイノベーションを起こすべく、様々な事にチャレンジしていく。
4. 他業種（他業界）の企業様と協業する事で事業の視野を広げる。

## 新しい日本のベースとなる日を目指して



|       |   |      |              |
|-------|---|------|--------------|
| 企業名   | 阪神食品株式会社  |      |              |
| 所在地   | 大阪市此花区  | 資本金  | 1,000万円      |
| 設立    | 昭和56年6月創業   | 従業員数 | 220名(グループ含む) |
| 企業URL | <a href="https://hanshin-shokuhin.co.jp/">https://hanshin-shokuhin.co.jp/</a> |      |              |
| 事業内容  | 食品事業、店舗事業、FA（フレンドリー・アプローチ）事業  |      |              |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

コロナ禍で先が見えない中、世の中からコロナウイルスをなくす事で、持続可能な社会が実現するという理念の元、1年掛けて紫外線滅菌装置を開発いたしました。食品サンプルへの実証実験でも成果を出す事が出来たことから、大阪のため、日本のために新規事業を立ち上げました。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 食品卸から創業した同社が紫外線（UVC）ランプを使用した**大空間専用**の滅菌装置を開発。
- ◀製品のポイント▶
- ① 反射板(特許出願中)を使用して、360度全方位から照射してウイルスが死滅させることが出来る。  
⇔ 他社製品ではウイルス（菌）の片面にUVCを照射するため、全てが滅菌されていないことが多い。
- ② 日本とアメリカにて特許出願中であり、世界基準となることを想定。

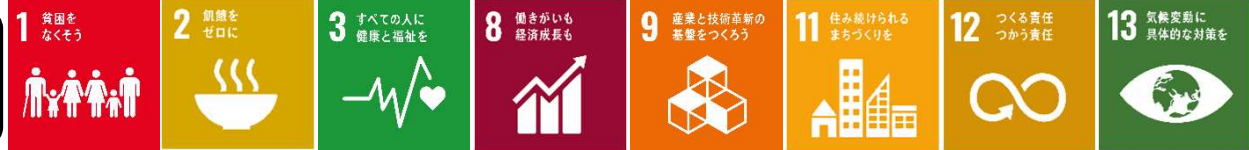


## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- ・滅菌レストラン・飲食店での会食が出来たり、マスクの無い生活が可能になる事もある。
- ・元の生活を取り戻すきっかけとなる。
- ・世の中から生物兵器(炭素菌)の恐れがなくなる。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今後の事業については、フードテック事業を推進していきます。  
UVCマイスターは大型機に加え、中型機と小型機を今年中に開発・リリース予定です。

世界中どこでも  
農業が経済を変える

|       |   |      |            |
|-------|---|------|------------|
| 企業名   | スパイスキューブ株式会社  |      |            |
| 所在地   | 大阪市西区   | 資本金  | 1,000,000円 |
| 設立    | 2018年2月14日  | 従業員数 | 4名         |
| 企業URL | <a href="https://www.spicecube.biz/">https://www.spicecube.biz/</a> |      |            |
| 事業内容  | 植物工場の事業化支援、農業装置の設計開発  |      |            |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

農業人口減少による食料自給率と高齢化社会、障害者雇用問題、自粛規制中の生活支援などLED照明と養液循環する栽培技術であれば、SDGsに貢献しながら高品質野菜生産が実現できるからです。この栽培技術の普及を企業だけでなく個人の生活まで浸透できればより良い社会に変わると考えております。更に栽培過程で生じる植物の成長について観察写真情報を共有することで、遠隔地に住む想いを寄せるひととのコミュニケーションがIoT装置で簡単にできるようになります。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■一般企業のオフィスインテリアや個人住宅に簡易的に設置できる農業装置（本棚サイズの植物工場＋成長記録共有できるアプリケーション）のパッケージ開発販売を行う。

## ★農業装置のポイント

- ①100株/月程度の葉物野菜の安定生産が可能 ⇒ 個人や一般企業にとって、農業ビジネスに参入できるチャンス
- ②無農薬、排水0、メンテナンスフリー⇒ 従来の畑よりも導入コスト、営農経費を削減して農業が実現
- ③一般住宅やちょっとした休憩所のデッドスペースにも簡単設置できる気軽さと扱いやすさ⇒ 誰でも農業にトライでき、世界中どこでも農業が可能に
- ④植物成長を観察記録するアプリケーションの開発も視野 ⇒ 品質改善や思い出につながるデータ蓄積が可能に

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

SDGsに加え、国内社会課題（就農者現象、食料自給率）も解消できる可能性がある。これらの取組は個人が個々に取り組む流れと企業参入で組織として取り組むダイナミックな流れをつくるのが重要だと考えております。本事業を活用して農業参入する企業を増やすことが経済成長も地球環境にも寄与してくれると想定しております。

## OSAKA SDGsビジネスマッチング成果や今後の方向性について

新規事業を検討する大手商社からの相談がありました。農地でなく既存建物を活用する農業モデルに魅力を感じたとのことで、都市型農業を協創事業として本年から事業化検討頂けることになりました。植物工場の生産野菜の6次産業化も視野に入れて相談先企業だけでなく野菜納品先も巻き込んで都市部ならではのビジネスモデルが構築できそうです。今後の取組としては成功モデルを基盤にして拡大していきたいと考えています。

## レンタルでオモイを叶える



|       |  |      |          |
|-------|--|------|----------|
| 企業名   | コーユーレンティア株式会社  |      |          |
| 所在地   | 東京都港区  | 資本金  | 8億7896万円 |
| 設立    | 1970年10月   | 従業員数 | 373名     |
| 企業URL | <a href="https://www.koyou.co.jp/">https://www.koyou.co.jp/</a>  |      |          |
| 事業内容  | F F & E レンタル業。建設業界・不動産業界・イベント業界をはじめ、国内外の企業向けに* F F & E をレンタル。<br>*furniture, fixtures and equipment (家具、什器、備品) |      |          |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

1960年代後半、建設工事現場の事務所内で利用する机・椅子などを貸し出すことで、現場事務所の職場環境を担保するサービスを発見し、レンタルビジネスをスタート。現在は、イベント会場、住宅販売センター、各プロジェクト室、業種・地域に限定せず、納入先を増やしている。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 利用したい期間だけ、オフィス家具・家電・PC・タブレットなどを貸出（レンタル）し、貴社の業務活動の運営を物品企画・提供でサポートします。
- レンタル資産は北海道から沖縄までの11の物流センターで整備・補完し、利用される場所まで配送・設置をします。
- 建設現場では50年以上、イベント会場では20年以上の実績があり、案件及び会場の企画提案も可能です。
- 近年の保有商品数は100万点超え、在庫が不足した場合は同業企業との協力での対応をしています。購入一択の業界（教育）を中心にレンタルの選択を提供することで、限りある資源を有効活用、経済的視点でも成長性が期待できます。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

顧客が事業を運営するにあたって、必要な備品をシェア（レンタル）することで、資源の有効活用につながり、環境負荷を低減できる。シェアすることで、廃棄物の発生を抑制でき、低炭素社会へ繋げることが可能。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

ゴール8 VUCA時代に合わせたオフィス空間をレンタルサービスで、働きやすい職場環境をつくります。  
 ゴール11 日本中の建築工事現場をレンタルサービスでサポートし、まちづくりのお手伝いをします。  
 ゴール12 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を進化させ、ゼロエミッション。つかう責任を全うします。  
 ゴール17 レンタルサービスは、1社では成り立ちません。仕入・搬入・搬出・整備・管理・メンテナンスといった協業の幅を増やして、サービス利用層を拡大します。



## まちなかの人々の興味関心をバーチャルとリアルでつなげることで楽しい街を醸成。引越し前に仲間と居場所がみつかる「コリビング移住」サービス



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | クラブルーム   |      |       |
| 所在地   | 兵庫県西宮市   | 資本金  | 0（個人） |
| 設立    | 2021/07/01   | 従業員数 | 1     |
| 企業URL | <a href="https://clubroom.jp">https://clubroom.jp</a>              |      |       |
| 事業内容  | 部屋とラウンジとコミュニティというシェアハウスの機能を徒歩圏とネットに分散させることで、街全体をコミュニティ化する、移住促進サービス |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

不動産業界に身を置き、就職や転勤などで地元を離れ見知らぬ街に引越しをするとき、人間関係がリセットされる状態をなんとかしたいと考えており、同時にネット上には友達のそばで暮らしたいという声があふれていることに気づき、ビジネスを着想しました。コミュニティ型のシェアハウスは増えつつありますが、供給数が足りておらず利用する人たちも限られています。コミュニティの機能を居住する部屋と切り離すことで、物件の部屋数という制限を取り払い、同じ街の中にひとつのテーマでつながる数百人の友人関係をつくることできれば、これが街の特色となって、様々な付加価値を生むことにつながります。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

街に興味関心テーマを与え、引越し希望者を誘致。引越し前から地域住人と交流することで、街のことを知り仲間との関係を構築した上で、移住できる。

#### ■ 提供サービス

- ・興味別スマホアプリ（SNS）で仲間とつながり
- ・提携物件に入居することで、仲間のそばにくらし
- ・部室（コミュニティスペース）を利用して仲間と交流を行う

例：東大阪市 × ものづくり  
※アマチュア手芸・工芸作家、技術者が集う街をつくる

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

2040年には国民の5人に2人が単身者となり、なおかつ社会的な孤立は死亡率を30%も引き上げるといふ命に関わるリスクです。孤独・孤立をなくすことで、日常を豊かにすることに貢献します。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

街の住人とその街に勤める人たちが新たに興味関心テーマを通じて出会い、定期的に食事の時間を共に楽しむことのできる「食堂」サービスを地域飲食店と連携をして実施予定です。若者からお年寄りまで、孤食・孤独・孤立に悩まれている方はたくさんおられます。地域を支援されている企業で、自社従業員への福利厚生をお考えの企業、または地域コミュニティに対して提供できるサービスをお持ちの企業様はぜひお声がけください。

## 建築業界の人手不足解消とSDGsを実現する 『端材利用外壁コーナー』の製造



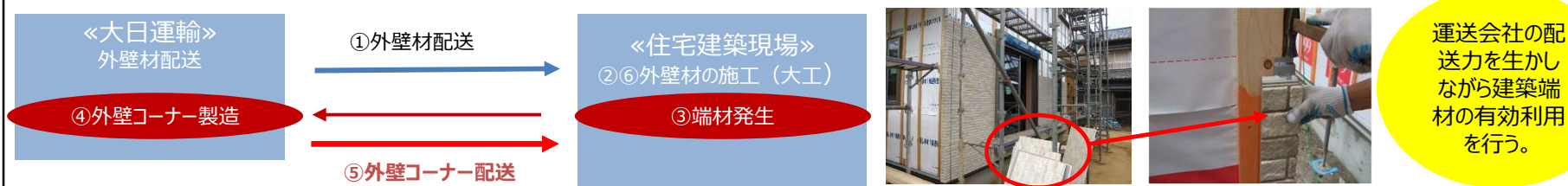
|       |   |      |         |
|-------|---|------|---------|
| 企業名   | 大日運輸株式会社  |      |         |
| 所在地   | 大阪府門真市  | 資本金  | 1,000万円 |
| 設立    | 1971年   | 従業員数 | 50人     |
| 企業URL | <a href="http://www.dun.co.jp/">http://www.dun.co.jp/</a> |      |         |
| 事業内容  | 物流商社：配送サービス、倉庫サービス、建材加工サービス、建材販売サービス等                     |      |         |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

建築資材の配送・保管ならびに外壁材のコーナー材の製造加工を行っています。 外壁材を現場に配送する際に今回のビジネスを思いつきました。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

住宅の外壁を施工する際、外壁材を現場のサイズに合わせて切断し、壁面に留めつけます。その際に発生した端材を回収し、コーナー部材として再生利用します。 ※端材は産業廃棄物となる場合が多いです。



### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

・外壁施工の人手不足解消と建築廃材の削減

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

- ①『端材利用外壁コーナー』の製造事業の更なる拡大を進めていきます。
- ②その他のあらゆる建築資材〔屋根材、壁材、内装材、断熱材、木材等々〕の端材を有効利用できるSDGsビジネスモデルを横展開していきたいです。  
心当たりがある方は是非ともお声掛け願います。

18歳以上の軽度発達障がい者を対象とした、就労目的の多機能型4年制カレッジを設立し彼らを納税者にする。



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | マコム・プランニング株式会社   |      |       |
| 所在地   | 大阪市北区  | 資本金  | 1000万 |
| 設立    | 1970年  | 従業員数 | 80名   |
| 企業URL | <a href="http://Konokono.com">Konokono.com</a> toronco-academy.com |      |       |
| 事業内容  | 広告制作物企画作成、放課後等デイサービスの運営等   |      |       |

#### SDGsビジネスを始めたきっかけ

弊社既存の放課後等デイサービスを運営していくうえで、すべての障がい者の個性をいかし、心豊かな生活をおくるためのビジネスを考えるようになった。

#### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

多機能型福祉施設「ウィックカレッジ」開校  
 弊社の支援理念：“その人が生きていくことの糧になることを見つけ、その活力、エネルギーが削がれないようにサポートする”に基づき、障がい者、特に軽度発達障がい者の「働きたい権利、思い」「その人なりの生活感、自立心」「チャレンジ精神」を育み、サポートする。自立するための学びの場を創設する。

#### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

すべての障がい者及びマイノリティの人たちの差別をなくし、雇用を生み出す。  
 Win-Winな社会の在り方が必要に

#### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

障害雇用に取り組んでいるが、まだまだ障がいのことを知りたい、そして良い職場づくりを目指したい企業と情報共有して取り組みたいと考えております。弊社ウィックカレッジ利用者の個人ファイルによる障がい者の理解を行いトラブルのない職場づくりのお手伝いを行っていきたくております。  
 4月9日（土）入学式、4月11日（月）授業開始

生きる基盤の睡眠をよくして全ての人が健康や働きがいを実感し、安心して暮らせる社会をつくる。



|       |   |      |   |  |
|-------|---|------|---|--|
| 企業名   | 一般社団法人ライフシフト睡眠メンタリーヘルス協会  |      |   |  |
| 所在地   | 奈良県奈良市  | 資本金  | — |  |
| 設立    | 2021年12月  | 従業員数 | 1 |  |
| 企業URL | <a href="https://lifeshift-suimin.com/">https://lifeshift-suimin.com/</a> |      |   |  |
| 事業内容  | 睡眠研修、睡眠コンサル、監修、睡眠の専門家育成   |      |   |  |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

52歳で睡眠不足が原因でガンになったことがきっかけで、睡眠を良して健康で心豊かな社会をつくるために睡眠の大切さを伝える活動をしています。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- ・事業内容：睡眠研修、睡眠改善コンサル、睡眠関連製品・サービスの監修、睡眠の専門家の育成
- ・目的：日本人成人の9割以上が睡眠に不満を感じて、20歳代の4割以上が日中の眠けでパフォーマンスの低下を感じている。  
しかし日本では睡眠について学ぶ機会があまりなく、その結果日本は世界で一番寝ていない国、睡眠後進国ともいわれている。
- ・同じ睡眠時間でも睡眠の質をよくすれば日中のパフォーマンスが上がり仕事や家事、学習効率がアップし、健康で人間関係も良好になる。
- ・企業は社員の睡眠をよくし健康的に仕事の質と効率を高めると労働時間が短縮でき「社員から喜ばれる働き方改革」が推進できる。
- ・研修、セミナー実績：奈良県警察本部、奈良商工会議所、兵庫県高等学校教職員組合、学校法人、電鉄、製造メーカー、カード会社他

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

睡眠の質を高めて  
 目標 3：心と身体の健康の基礎ができ、事故ケガを防ぐ。  
 目標 4：思考と運動の記憶を定着させて学力、スキルアップ。  
 目標 8：仕事の効率が上がり働く意欲が高まる。  
 目標 9：発想力が豊かになり新たな技術革新につながる。  
 目標 1 1：警察官、消防士、医療従事者の集中力維持。  
 目標 1 6：人間関係が良好になり争いが減る。  
 目標 1 7：人間関係と判断力が高まり助け合って目標達成。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今後の方向性：「睡眠で日本を活性する」  
 SGDの取組みにおいて生きる基盤である睡眠は多くの目標の達成に繋がります。  
 健康、働き甲斐、パートナーシップ、働き方改革の推進による産業発展への寄与など。  
 今後はより多くの人々が睡眠への意識を持ち睡眠の質をよくすることで健康になるだけでなく、日中のパフォーマンスを高め仕事や家事の効率を上げて、人間関係が円満な社会を築くための活動を拡大推進していきます。  
 そのために睡眠セミナーや企業研修の実施を拡大し、さらに睡眠の大切さを広く伝えるために睡眠の専門家の育成への取組みを強化していきます。

# ゴール12：つくる責任つかう責任

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

## 米配合バイオマスプラスチックゴミ袋の普及拡大により、CO2排出削減ならびに米の消費拡大で農業従事者の支援と地方経済活性化の起爆剤へ



|              |   |             |       |
|--------------|---|-------------|-------|
| <b>企業名</b>   | 株式会社西村機械製作所   |             |       |
| <b>所在地</b>   | 大阪府八尾市  | <b>資本金</b>  | 40百万円 |
| <b>設立</b>    | 1934年8月1日   | <b>従業員数</b> | 60名   |
| <b>企業URL</b> | <a href="http://www.econmw.co.jp">http://www.econmw.co.jp</a> 、 <a href="http://www.rice-flour.jp">http://www.rice-flour.jp</a> |             |       |
| <b>事業内容</b>  | 食品、化学、薬品、リサイクル等の粉粒体機械製作販売及びそのプラント設備設計施工、輸出入販売   |             |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

国内自給率100%のお米作りを今後も続けていくためには高齢化する稲作農家従事者の所得を安定させ、後継者問題を解決し、耕作放棄地の増加を抑える必要がある。これらの問題を解決するためには米の消費拡大が喫緊の課題であるが、人口減少する国内の状況では“食べる消費”が増えることは想像しがたい。よって、“食べない消費拡大”を考えていなければならない。

一方、プラスチックのバイオマス化でCO2 排出量削減を目指すにあたり、当社の米の製粉技術で米粉比率の高いバイオマスプラスチックの製造技術の革新が可能ではないかと考える。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- お米の製粉装置ではシェアトップである当社がバイオマスプラスチックの開発にあたり、飼料米や古古米などの廃棄するお米とプラスチックを混ぜる技術を開発。
- 弊社設備を納入した各地域の米粉からバイオマスゴミ袋の製造を行い、地方自治体向けの地産地消の指定ゴミ袋としての普及を目指している。

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 消費者はCO2排出量の少ないゴミ袋が使い、環境問題への参加意識が高まる。
- お米が有効活用できるので、域内のお米生産者や精米業者、米粉製粉業者の仕事が増える。売上（収入）が増える。
- 域内バイオマスゴミ袋製造メーカーの起業とその雇用促進。
- ゴミ袋を焼却する際のCO2排出量を減らすことができる。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

具体的な成果はまだないものの、現在開発中の当該商品を量産化するために、実需に繋がるようサプライチェーン作りや製造委託先を検討している。その上で、地産地消の仕組みと当該商品を実際に知ってもらうことで潜在取引先へ訴求していく。

2022年の前半にはこの方向性を示せるように現在取り組んでいる。

## もみ殻とプラスチック(石油由来材料、植物由来材料)を 混練したプラスチック複合材料の開発、キッチン用品の販売



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | 株式会社テクノベル   |      |       |
| 所在地   | 大阪市城東区  | 資本金  | 30百万円 |
| 設立    | 1991年4月   | 従業員数 | 21名   |
| 企業URL | <a href="https://www.technovel.co.jp/">https://www.technovel.co.jp/</a> |      |       |
| 事業内容  | 押出機並びに押出機付帯設備の製造・販売   |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

プラスチック成形機械製造会社としての社会的責任と、良いものを長く使うライフスタイル定着への想い（大量消費社会から循環型社会へ）からSDGsビジネスに取り組んでいる。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

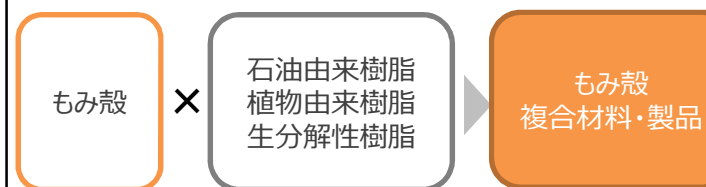
- プラスチック成形機の一つである押出機の専門メーカーであり、豊富なコンパウンドノウハウを有する同社が、SDGsビジネスとして、天然資源複合材料/製品開発に取り組む。
- 現在、研究機関やプラスチック加工メーカーと協業しながら、もみ殻複合材料・製品等を開発中である。

#### 《開発中材料・製品のポイント》

- ① 既存プラスチックにはない“独特な木質感・風合い”
- ② 長時間の使用に耐える“耐衝撃性”と“耐熱性”

### “長く大切に使いたくなる高付加価値プラスチック製品”

開発例：『もみ殻複合材料・製品』



### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

#### 【社会】

-製品の長期間使用によるプラスチックごみの減少、カーボンニュートラルの実現

#### 【消費者】

-エシカル消費マインドによる、製品を長く使うことが可能に。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

独特な木質感や風合いの特徴を持つ製品を目指し、もみ殻材料の混合手法を検討中。

引き続き、研究機関と連携しながら、もみ殻複合材料の物性改善に取り組む。

## 人に愛され環境に優しいプラスチック技術を



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | 株式会社プラステコ  |      |       |
| 所在地   | 大阪府池田市   | 資本金  | 10百万円 |
| 設立    | 2007年9月3日  | 従業員数 | 10名   |
| 企業URL | <a href="http://www.plastecocorp.com">www.plastecocorp.com</a> |      |       |
| 事業内容  | 超臨界不活性ガス発泡成形事業、生分解性樹脂製品事業 他                                    |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

現代社会ではプラスチックの恩恵なしには、成り立つことができません。しかし一方では資源問題やゴミ問題、海洋プラスチックゴミなど地球環境の脅威であることも事実です。プラステコは「人と地球にやさしいプラスチックの利用を理念に掲げ、プラスチックを取り巻く地球環境が改善され、世界中の人々のより便利で豊かな生活に貢献できるよう、環境調和型の技術革新を進めています。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- PLA（ポリ乳酸）などの生分解性プラスチックを当社独自の二酸化炭素や窒素を発泡剤としてプラスチックを微細に発泡させる技術を用いて、発泡シートや発泡ビーズ、発泡ストランドなどを生産。
- 当社独自の超臨界発泡押出技術は、従来困難とされた生分解性樹脂PLA（ポリ乳酸）等バイオプラスチックの発泡をコントロールし、気泡径や数密度、独泡率などを調整することが可能であり、創業以来の環境に特化したプラスチック発泡技術を有する当社ならではの経験と知見によって、製品ごとに要望される物性の発泡素材に適した製品づくりが可能である。
- それぞれのニーズに応じて、二次加工し、食品トレーやビーズ成形品、緩衝材など用途に応じた二次加工製品を企業とタッグを組んで開発販売する。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

使い捨てプラスチックゴミ問題の解決。生分解性プラスチックの発泡製品は完全生分解性でリサイクルも可能。温暖化ガスや有害なガスを使用せず、当社オリジナルの二酸化炭素や窒素を発泡剤として発泡させているため、非石油由来でカーボンニュートラル。地球温暖化防止や海洋プラスチックなどの環境問題にも効果のあることが近年の研究で明らかとなってきている。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

商談を希望している企業様からのコンタクト等があり、個別の商談、実際の面談などの機会を持つことができ、大変有意義であった。弊社の技術を使って新たな商品の開発や研究などの話もすることができた。また、参加企業様のプレゼンを視聴することで、新しい技術や産業などを知るきっかけとなり、とても勉強になりました。



バイオマス率65%ポリプロピレン、既存のCNF同等以上の引張強度・曲げ強度を実現。  
安価で高機能な環境対応型オリジナルブレンド材料の提案・提供。



|       |   |      |          |
|-------|---|------|----------|
| 企業名   | 吉川化成株式会社  |      |          |
| 所在地   | 大阪市鶴見区  | 資本金  | 1億8000万円 |
| 設立    | 1950年2月   | 従業員数 | 291名     |
| 企業URL | <a href="http://www.ypc-g.com">http://www.ypc-g.com</a> |      |          |
| 事業内容  | プラスチック射出成形業（OA機器関連、医療分野他）                               |      |          |

#### SDGsビジネスを始めたきっかけ

プラスチック材料の再生や機能材添加による高機能化を目的に「ものづくり補助金」（2015年）を活用し二軸混練機を導入。自社プラスチック製品への再生材料の使用、抗菌機能の付加等を実施、商品化。次世代の環境対応素材としてCNF（セルロースナノファイバー）を混練したプラスチック材料の検証を進めていく中で、バイオマスプラスチックに展開、SDGsにつながる活動となった。

#### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 同社では、バイオマス由来の材料をブレンドすることで、現在市場投入されているセルロースナノファイバー（CNF）と同等の機能性を有したポリプロピレン樹脂を開発した。開発品のバイオマス率は65%に及びプラスチックに分類されないレベルに達している。
- PP（ポリプロピレン）をベースとしたバイオマスプラスチック材料でCNF含有のPPと同等以上の特性をもったオリジナルブレンド材料である。

#### 《開発品のポイント》

- ①バイオマス由来であること（バイオマスプラスチック） ②低価格であること（対CNF） ③環境負荷が少ないこと（バイオマス率65%）

#### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

近年、CNFは有用な材料として紹介されてきたが、未だコストが見合わない。こうした状況の中、環境負荷が少なく、低コストの材料を提供することは社会ニーズに合致、将来的なCNFの社会実装までのつなぎとなり得る。また環境負荷の少ないプラスチック製品を企画・検討している企業においては新しい材料の選択肢として有用になると考えられる。

#### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

プラスチック材料のコンパウンドによる高機能化は今後も継続して進める。バイオマスベースの新規材料が次々と上市されているので特性確認とともにそうした新規材料の活用を考える企業との連携も模索する。

## オフィス用品からSDGsを広げる脱プラ クリアペーパーファイルの開発



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | 都インキ株式会社  |      |       |
| 所在地   | 大阪市鶴見区  | 資本金  | 30百万円 |
| 設立    | 1965年9月   | 従業員数 | 45人   |
| 企業URL | <a href="https://www.miyakoink.co.jp">https://www.miyakoink.co.jp</a> |      |       |
| 事業内容  | 印刷用インキ及び印刷用資材の製造・販売・輸出、印刷周辺機器の販売                                      |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

1948年にインク製造業として大阪で創業して以来、小ロットカスタマイズインクの中堅メーカーとしてモノづくりに携わっている。環境に配慮した製品をご提供することは企業の責務であると考え、当社の理念を社会貢献に生かすために、持続可能な製品開発に注力している。SDGsは大企業だけでなく、中小企業こそ積極的に取り組むべきと考え、当社がその先頭に立ちたいと思っている。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 同社にて開発した「用紙に含浸させると透明度が出るインク」を紙に含浸させ、透明度・価格において、PPクリアファイルの代替となるような紙ファイルを製造・販売。  
→プラスチックのPPクリアファイルの代替となる環境負荷の軽減に貢献
- 「用紙に含浸させると透明度が出るインク」は同社の独自開発技術である。
- クリアペーパーファイル及びインクと用紙透明化装置をセットで販売する。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 日常的に多くの人々が使用しているクリアファイルを紙製にすることで、脱プラ意識をより広域に啓蒙。
- 当該製品とは別に抗菌、防カビ、抗ウイルス機能を付加するインクも開発しており、その技術を「用紙に含浸させると透明度が出るインク」にも適用し、社会に対して安全と安心を付加することができる。

## OSAKA SDGsマッチングの成果や今後の方向性について

- ・いくつか見て頂いた方からのお声がけを頂いておりまして継続進展中です。
- ・今回の実績も含めて多方面に展開中です。
  - 1) E x p o 2025大阪関西万博の協創パートナーと協賛パートナーにエントリー中。
  - 2) 大阪産業創造館のビジネスマッチングに参加・展開中。
  - 3) その他も展開中。

世界中どこでも  
農業が経済を変える

|       |   |      |            |
|-------|---|------|------------|
| 企業名   | スパイスキューブ株式会社  |      |            |
| 所在地   | 大阪市西区   | 資本金  | 1,000,000円 |
| 設立    | 2018年2月14日  | 従業員数 | 4名         |
| 企業URL | <a href="https://www.spicecube.biz/">https://www.spicecube.biz/</a> |      |            |
| 事業内容  | 植物工場の事業化支援、農業装置の設計開発  |      |            |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

農業人口減少による食料自給率と高齢化社会、障害者雇用問題、自粛規制中の生活支援などLED照明と養液循環する栽培技術であれば、SDGsに貢献しながら高品質野菜生産が実現できるからです。この栽培技術の普及を企業だけでなく個人の生活まで浸透できればより良い社会に変わると考えております。更に栽培過程で生じる植物の成長について観察写真情報を共有することで、遠隔地に住む想いを寄せるひととのコミュニケーションがIoT装置で簡単にできるようになります。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■一般企業のオフィスインテリアや個人住宅に簡易的に設置できる農業装置（本棚サイズの植物工場＋成長記録共有できるアプリケーション）のパッケージ開発販売を行う。

## ★農業装置のポイント

- ①100株/月程度の葉物野菜の安定生産が可能 ⇒ 個人や一般企業にとって、農業ビジネスに参入できるチャンス
- ②無農薬、排水0、メンテナンスフリー⇒ 従来の畑よりも導入コスト、営農経費を削減して農業が実現
- ③一般住宅やちょっとした休憩所のデッドスペースにも簡単設置できる気軽さと扱いやすさ⇒ 誰でも農業にトライでき、世界中どこでも農業が可能に
- ④植物成長を観察記録するアプリケーションの開発も視野 ⇒ 品質改善や思い出につながるデータ蓄積が可能に

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

SDGsに加え、国内社会課題（就農者現象、食料自給率）も解消できる可能性がある。これらの取組は個人が個々に取り組む流れと企業参入で組織として取り組むダイナミックな流れをつくるのが重要だと考えております。本事業を活用して農業参入する企業を増やすことが経済成長も地球環境にも寄与してくれると想定しております。

## OSAKA SDGsビジネスマッチング成果や今後の方向性について

新規事業を検討する大手商社からの相談がありました。農地でなく既存建物を活用する農業モデルに魅力を感じたとのことで、都市型農業を協創事業として本年から事業化検討頂けることになりました。植物工場の生産野菜の6次産業化も視野に入れて相談先企業だけでなく野菜納品先も巻き込んで都市部ならではのビジネスモデルが構築できそうです。今後の取組としては成功モデルを基盤にして拡大していきたいと考えています。

## 昆布革命！



|       |   |      |         |
|-------|---|------|---------|
| 企業名   | 株式会社天満大阪昆布  |      |         |
| 所在地   | 大阪市北区   | 資本金  | 1,000万円 |
| 設立    | 昭和62年8月8日   | 従業員数 | 5名      |
| 企業URL | <a href="https://shop-kombu.com/">https://shop-kombu.com/</a> |      |         |
| 事業内容  | 業務用だし昆布・佃煮昆布・各種昆布製品の製造・卸・小売                                   |      |         |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

地球上において昆布が自然に生育している地域は、日本以外にはほとんどありません。その昆布も自然環境の変化により毎年生産量が減ってきていますが、消費も減少方向に向かっています。昆布が一般に使われなくなってきた理由として、①だし昆布の使い方が難しい、②和食を家でつくらない、③だし殻昆布を捨てるのがもったいない、の3つがあげられ、その結果「顆粒だし」が使われています。

日本人なら本物のだし昆布を使った料理が美味しいのをみんな知っているでしょう。にもかかわらず、使い方が面倒なために使用用途が限られ、まただし殻を廃棄してしまうのでは、忙しい生活のなかで多様性のある食事を楽しみ、フードロスなくという現代の潮流に全く逆行することになります。

日本特有の食材「昆布」でSDGsに挑戦することで現状を打破し、健康長寿社会の実現に役立ちたいと思います。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■ だしのよく出る上等の出し昆布を1mm幅に切った「昆布革命シリーズ」の開発と販売を行う。

《同社製品のポイント》

- ① 1mm幅に切ることで、断面が増え、「UMAMI」成分が37%アップ
- ② 水出しすることで日持ちが1週間程度長持ち
- ③ 和洋中エスニック料理との相性も抜群！
- ④ 残った出し殻昆布は、そのまま食材として全く廃棄することなく完全に使い切ることが可能（オリーブ漬けなど）



## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

一般的に昆布は高くて使いにくいとのイメージがありますが、出しを取った後の昆布を捨ててしまうからそのような思われていると思います。出し殻も健康的な食材として完全に利用すれば全く食糧廃棄にもならず、自然とSDGsビジネスに繋がります。食品は本来ならば少しの工夫で廃棄しなくてすむものと思います。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

1月下旬に昆布料理動画制作スタジオを設置いたします。

既に昨年春よりSNSをはじめとしたトライアルで成果が上がっており、本格的に取り組みます。原資は再構築補助金とものづくり補助金です。

## 救缶鳥プロジェクト



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | 株式会社パン・アキモト 関西営業所   |      |       |
| 所在地   | 大阪市中央区  | 資本金  | 35百万円 |
| 設立    | 昭和22年12月  | 従業員数 | 60名   |
| 企業URL | <a href="http://www.panakimoto.com">http://www.panakimoto.com</a> |      |       |
| 事業内容  | ベーカリーの運営、防災備蓄用缶詰パンの製造・販売、救缶鳥プロジェクト                                |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

国内のある自治体から賞味期限が切れる備蓄品を廃棄して欲しいと依頼が有りました。そんな中、海外の飢餓国に賞味期限が残り少なくなったパンの缶詰を義援物資として贈り届ける事で大変喜ばれる事が判り、プロジェクトを開始しました。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■ **パンの缶詰を自分（自社）の為に備蓄しながら同時に社会貢献が出来る「救缶鳥プロジェクト」を提供。**

◀ プロジェクトの流れ ▶

- ① 防災備蓄用として缶詰パンを購入希望者（企業・自治体・個人）に販売
- ② 缶詰の賞味期限が切れる6か月前に購入者へ案内し、賛同を頂いたところから同社が缶詰を回収
- ③ 回収した缶詰を民間の企業や団体を通じて海外の飢餓国や被災地へ義援物資として贈呈。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

今まで国内外合わせて累計40万缶以上の缶詰が届けられました。本当に必要としている国や地域に責任を持って届けて、更に現地に届けたレポートを賛同者へ通知して、「義援の見える化」を行っています。世界では、1分間に17人が飢餓で命を失い、その内5秒に1人が5歳の誕生日を迎えることなく亡くなっています。当プロジェクトは、日本人のやさしさ、大阪からのやさしさを困っている人たちに届けます。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

普段接点の無い団体との面談機会を持てた事で、新しい可能性が広がりました。今後も救缶鳥プロジェクトに参画する事によって、SDGsゴール達成に繋がる事を認知していただき、更なる普及に努めたいと思います。

## 未活用農産物の原料化プラットフォーム



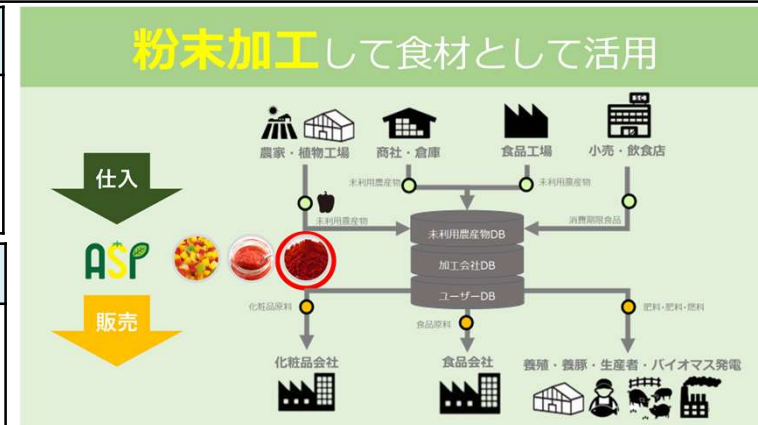
|       |   |      |         |
|-------|---|------|---------|
| 企業名   | 株式会社イーエスピー  |      |         |
| 所在地   | 吹田市   | 資本金  | 4,000千円 |
| 設立    | 2018年2月26日  | 従業員数 | 3名      |
| 企業URL | <a href="https://www.agrisp.jp/">https://www.agrisp.jp/</a> |      |         |
| 事業内容  | 農産物安定供給、未利用農産物原料化、出荷調整・鮮度保持、グリーンヘルスケア                       |      |         |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

フードロスに加え、食べるには問題ないもののサイズや傷など外観上の理由により廃棄されている。このような『未活用農産物』も外観の問題がなくなるよう加工して食品原料化し、付加価値を高め、食品として活用することで生産者の収益向上と環境負荷低減をしながら食料自給率をアップさせようと考えた。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 農家や植物工場、商社、加工会社等から未利用食材を仕入れ、粉末加工として販売を行う。
- 未活用農産物を有効活用し、フードロス削減を実現する仕組みづくりを行う。



## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

日本には京都のおばんざいのように無駄なく使い切る食文化が根付いています。これを継承しながら、「見映えと機能性」を生かした新しい食材を普及し、食料自給率を上げるだけでなく、日本を代表するSDGsフードとして大阪万博にて世界へ発信していきます。  
粉末食材として新しい食文化を定着することで食料自給率のアップと環境負荷の低減に貢献します。また長期保管できる食材として豊作時などで廃棄されていたものも備蓄食として安定供給され、フードロスや規格外品という言葉が無い社会を作ります。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

補助金事業を通じて、今回取り組んだ6市町村以外の地域からの相談も増え、来年度は倍の地域での取り組みに発展していきます。また今回試作した原料から採用したい企業が複数出たこととBtoBtoCの座組で具体的な商品企画が複数生まれました。  
今後はミールキットや料理人と連携したワークショップや料理教室による「粉」食材の認知度向上を進めながら、大阪万博に向けて日本発のSDGsフードとしてのコンテンツを増やしていきながら、海外展開に向けた準備も進めていきます。  
プラットフォーム事業として連携先企業も増えてきましたが、独自の商品開発や共同研究などのプロジェクトも増えてきたため、研究所の設立と組織づくりにも力を入れるため、資金調達を行い、企業力アップを図ります。

## レンタルでオモイを叶える



|       |  |      |          |
|-------|--|------|----------|
| 企業名   | コーユーレンティア株式会社  |      |          |
| 所在地   | 東京都港区  | 資本金  | 8億7896万円 |
| 設立    | 1970年10月   | 従業員数 | 373名     |
| 企業URL | <a href="https://www.koyou.co.jp/">https://www.koyou.co.jp/</a>  |      |          |
| 事業内容  | F F & E レンタル業。建設業界・不動産業界・イベント業界をはじめ、国内外の企業向けに* F F & E をレンタル。<br>*furniture, fixtures and equipment (家具、什器、備品) |      |          |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

1960年代後半、建設工事現場の事務所内で利用する机・椅子などを貸し出すことで、現場事務所の職場環境を担保するサービスを発見し、レンタルビジネスをスタート。現在は、イベント会場、住宅販売センター、各プロジェクト室、業種・地域に限定せず、納入先を増やしている。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 利用したい期間だけ、オフィス家具・家電・PC・タブレットなどを貸出（レンタル）し、貴社の業務活動の運営を物品企画・提供でサポートします。
- レンタル資産は北海道から沖縄までの11の物流センターで整備・補完し、利用される場所まで配送・設置をします。
- 建設現場では50年以上、イベント会場では20年以上の実績があり、案件及び会場の企画提案も可能です。
- 近年の保有商品数は100万点超え、在庫が不足した場合は同業企業との協力での対応をしています。購入一択の業界（教育）を中心にレンタルの選択を提供することで、限りある資源を有効活用、経済的視点でも成長性が期待できます。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

顧客が事業を運営するにあたって、必要な備品をシェア（レンタル）することで、資源の有効活用につながり、環境負荷を低減できる。シェアすることで、廃棄物の発生を抑制でき、低炭素社会へ繋げることが可能。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

ゴール8 VUCA時代に合わせたオフィス空間をレンタルサービスで、働きやすい職場環境をつくれます。  
 ゴール11 日本中の建築工事現場をレンタルサービスでサポートし、まちづくりのお手伝いをします。  
 ゴール12 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を進化させ、ゼロエミッション。つかう責任を全うします。  
 ゴール17 レンタルサービスは、1社では成り立ちません。仕入・搬入・搬出・整備・管理・メンテナンスといった協業の幅を増やして、サービス利用層を拡大します。

## “ヴィーガンレザー” ～植物性皮革という選択肢～



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | PEEL Lab (ピールラボ)  |      |       |
| 所在地   | 大阪府大阪市  | 資本金  | 200万円 |
| 設立    | 2021年8月   | 従業員数 | 5     |
| 企業URL | <a href="https://www.peel-lab.com">https://www.peel-lab.com</a> |      |       |
| 事業内容  | 食品ロスのアップサイクリング、動物虐待の防止、地球温暖化の防止に関する事業                           |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

私たちは、ファッション業界と環境をテーマに、主に動物・合成皮革が環境に与える影響に着目しました。既存のレザーの製造過程で排出される温室効果ガスは、なんと毎年全体の10%をも占めています。それに加え、約5,000万頭以上の動物が犠牲になり、830億ガロンにも及ぶ量の水が無駄になっているのが現状です。これらの問題の解決するため、消費者に植物由来性のヴィーガンレザーという選択肢を与える活動をしています。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- サステナブル（持続可能性）・エシカル（論理的なアプローチ）・デザイン・トランスペアレンシー（生産過程における透明性）という4つのバリューを念頭に、様々なブランドとのコラボレーションを通じて環境保護を目標に日々活動。
- 植物（主に廃棄ロスのパイナップル、りんご、竹など）を原料にしたヴィーガンレザーを用いた製品の開発・販売（B2B）。  
販売事例：ハンドバッグ、ペット用首輪、コースター、ヨガマットなど

#### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

現在、レザー製品には主に動物・合成皮革が使われています。どちらも環境と動物愛護観点において非常に有害であり、早急な解決策が必要と考えています。そのため、植物性レザーを普及させることで、消費者への「第3の選択肢」の提供を実現します。これにより、ヴィーガンレザー商品の開発、制作はもちろん、既存のファッション製品製造がもたらす環境問題やエシカル消費の重要性などの社会的認識を高めることも期待できます。そして、2030年までに動物性・合成皮革製品市場の約5%を植物由来のレザーに置き換えることを目標としています。

#### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

東京・大阪に拠点を置くPEEL Lab (ピールラボ) 株式会社は、植物由来レザーを筆頭に、廃棄ロスの植物や果物をアップサイクルした素材の活用を推進するビジネスプラットフォームであり、バイオテックベンチャーです。地球環境への配慮を大切に、日本でのビジネス展開だけでなく東南アジアでの農業廃棄物の課題や、廃棄コナッツを活用して新しい素材の研究開発にも取り組んでいます。URL: [www.peel-lab.com](http://www.peel-lab.com)  
PEEL Lab (ピールラボ) は大きな3つのテーマ 1) 地球温暖化の抑止、2) 食品廃棄ロスの抑制、3) 動物への虐待回避を目的として活動を行い、持続可能で革新的な素材でプロダクトを生み出していくという戦略的な考えを持っています。動物愛護の精神から生み出された植物由来レザーはPeTA（全米最大の動物愛護団体）によって公式認定されており、その素材は従来のいわゆるレザーの感触や質感によく似ています。私たちは植物由来レザー＝ネクストレザーと位置付け、ますます拡大する代替素材への需要に対応してまいります。またPEEL Lab：NEXT FOODS（ネクストフード）のプロジェクトを開始しました。スーパーフードとして、昨今注目を浴びるスピルリナを主原料としたパスタを2022年4月下旬を目処に販売を開始いたします。同時に、スピルリナパウダーも販売を予定しております。



## 建築業界の人手不足解消とSDGsを実現する 『端材利用外壁コーナー』の製造



|       |   |      |         |
|-------|---|------|---------|
| 企業名   | 大日運輸株式会社  |      |         |
| 所在地   | 大阪府門真市  | 資本金  | 1,000万円 |
| 設立    | 1971年   | 従業員数 | 50人     |
| 企業URL | <a href="http://www.dun.co.jp/">http://www.dun.co.jp/</a> |      |         |
| 事業内容  | 物流商社：配送サービス、倉庫サービス、建材加工サービス、建材販売サービス等                     |      |         |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

建築資材の配送・保管ならびに外壁材のコーナー材の製造加工を行っています。 外壁材を現場に配送する際に今回のビジネスを思いつきました。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

住宅の外壁を施工する際、外壁材を現場のサイズに合わせて切断し、壁面に留めつけます。その際に発生した端材を回収し、コーナー部材として再生利用します。 ※端材は産業廃棄物となる場合が多いです。



### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

・外壁施工の人手不足解消と建築廃材の削減

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

- ①『端材利用外壁コーナー』の製造事業の更なる拡大を進めていきます。
- ②その他のあらゆる建築資材〔屋根材、壁材、内装材、断熱材、木材等々〕の端材を有効利用できるSDGsビジネスモデルを横展開していきたいです。心当たりがある方は是非ともお声掛け願います。

# ゴール13：気候変動に具体的な対策を

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

## 米配合バイオマスプラスチックゴミ袋の普及拡大により、CO2排出削減ならびに米の消費拡大で農業従事者の支援と地方経済活性化の起爆剤へ



|              |   |             |       |
|--------------|---|-------------|-------|
| <b>企業名</b>   | 株式会社西村機械製作所   |             |       |
| <b>所在地</b>   | 大阪府八尾市  | <b>資本金</b>  | 40百万円 |
| <b>設立</b>    | 1934年8月1日   | <b>従業員数</b> | 60名   |
| <b>企業URL</b> | <a href="http://www.econmw.co.jp">http://www.econmw.co.jp</a> 、 <a href="http://www.rice-flour.jp">http://www.rice-flour.jp</a> |             |       |
| <b>事業内容</b>  | 食品、化学、薬品、リサイクル等の粉粒体機械製作販売及びそのプラント設備設計施工、輸出入販売   |             |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

国内自給率100%のお米作りを今後も続けていくためには高齢化する稲作農家従事者の所得を安定させ、後継者問題を解決し、耕作放棄地の増加を抑える必要がある。これらの問題を解決するためには米の消費拡大が喫緊の課題であるが、人口減少する国内の状況では“食べる消費”が増えることは想像しがたい。よって、“食べない消費拡大”を考えていなければならない。

一方、プラスチックのバイオマス化でCO2 排出量削減を目指すにあたり、当社の米の製粉技術で米粉比率の高いバイオマスプラスチックの製造技術の革新が可能ではないかと考える。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- お米の製粉装置ではシェアトップである当社がバイオマスプラスチックの開発にあたり、飼料米や古古米などの廃棄するお米とプラスチックを混ぜる技術を開発。
- 弊社設備を納入した各地域の米粉からバイオマスゴミ袋の製造を行い、地方自治体向けの地産地消の指定ゴミ袋としての普及を目指している。

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 消費者はCO2排出量の少ないゴミ袋が使い、環境問題への参加意識が高まる。
- お米が有効活用できるので、域内のお米生産者や精米業者、米粉製粉業者の仕事が増える。売上（収入）が増える。
- 域内バイオマスゴミ袋製造メーカーの起業とその雇用促進。
- ゴミ袋を焼却する際のCO2排出量を減らすことができる。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

具体的な成果はまだないものの、現在開発中の当該商品を量産化するために、実需に繋がるようサプライチェーン作りや製造委託先を検討している。その上で、地産地消の仕組みと当該商品を実際に知ってもらうことで潜在取引先へ訴求していく。

2022年の前半にはこの方向性を示せるように現在取り組んでいる。

## 人に愛され環境に優しいプラスチック技術を



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | 株式会社プラステコ  |      |       |
| 所在地   | 大阪府池田市   | 資本金  | 10百万円 |
| 設立    | 2007年9月3日  | 従業員数 | 10名   |
| 企業URL | <a href="http://www.plastecocorp.com">www.plastecocorp.com</a> |      |       |
| 事業内容  | 超臨界不活性ガス発泡成形事業、生分解性樹脂製品事業 他                                    |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

現代社会ではプラスチックの恩恵なしには、成り立つことができません。しかし一方では資源問題やゴミ問題、海洋プラスチックゴミなど地球環境の脅威であることも事実です。プラステコは「人と地球にやさしいプラスチックの利用を理念に掲げ、プラスチックを取り巻く地球環境が改善され、世界中の人々のより便利で豊かな生活に貢献できるよう、環境調和型の技術革新を進めています。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- PLA（ポリ乳酸）などの生分解性プラスチックを当社独自の二酸化炭素や窒素を発泡剤としてプラスチックを微細に発泡させる技術を用いて、発泡シートや発泡ビーズ、発泡ストランドなどを生産。
- 当社独自の超臨界発泡押出技術は、従来困難とされた生分解性樹脂PLA（ポリ乳酸）等バイオプラスチックの発泡をコントロールし、気泡径や数密度、独泡率などを調整することが可能であり、創業以来の環境に特化したプラスチック発泡技術を有する当社ならではの経験と知見によって、製品ごとに要望される物性の発泡素材に適した製品づくりが可能である。
- それぞれのニーズに応じて、二次加工し、食品トレーやビーズ成形品、緩衝材など用途に応じた二次加工製品を企業とタッグを組んで開発販売する。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

使い捨てプラスチックゴミ問題の解決。生分解性プラスチックの発泡製品は完全生分解性でリサイクルも可能。温暖化ガスや有害なガスを使用せず、当社オリジナルの二酸化炭素や窒素を発泡剤として発泡させているため、非石油由来でカーボンニュートラル。地球温暖化防止や海洋プラスチックなどの環境問題にも効果のあることが近年の研究で明らかとなってきている。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

商談を希望している企業様からのコンタクト等があり、個別の商談、実際の面談などの機会を持つことができ、大変有意義であった。弊社の技術を使って新たな商品の開発や研究などの話もすることができた。また、参加企業様のプレゼンを視聴することで、新しい技術や産業などを知るきっかけとなり、とても勉強になりました。

## オフィス用品からSDGsを広げる脱プラ クリアペーパーファイルの開発



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | 都インキ株式会社  |      |       |
| 所在地   | 大阪市鶴見区  | 資本金  | 30百万円 |
| 設立    | 1965年9月   | 従業員数 | 45人   |
| 企業URL | <a href="https://www.miyakoink.co.jp">https://www.miyakoink.co.jp</a> |      |       |
| 事業内容  | 印刷用インキ及び印刷用資材の製造・販売・輸出、印刷周辺機器の販売                                      |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

1948年にインク製造業として大阪で創業して以来、小ロットカスタマイズインクの中堅メーカーとしてモノづくりに携わっている。環境に配慮した製品をご提供することは企業の責務であると考え、当社の理念を社会貢献に生かすために、持続可能な製品開発に注力している。SDGsは大企業だけでなく、中小企業こそ積極的に取り組むべきと考え、当社がその先頭に立ちたいと思っている。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 同社にて開発した「用紙に含浸させると透明度が出るインク」を紙に含浸させ、透明度・価格において、PPクリアファイルの代替となるような紙ファイルを製造・販売。  
→プラスチックのPPクリアファイルの代替となる環境負荷の軽減に貢献
- 「用紙に含浸させると透明度が出るインク」は同社の独自開発技術である。
- クリアペーパーファイル及びインクと用紙透明化装置をセットで販売する。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 日常的に多くの人々が使用しているクリアファイルを紙製にすることで、脱プラ意識をより広域に啓蒙。
- 当該製品とは別に抗菌、防カビ、抗ウイルス機能を付加するインクも開発しており、その技術を「用紙に含浸させると透明度が出るインク」にも適用し、社会に対して安全と安心を付加することができる。

## OSAKA SDGsマッチングの成果や今後の方向性について

- ・いくつか見て頂いた方からのお声がけを頂いておりまして継続進展中です。
- ・今回の実績も含めて多方面に展開中です。
  - 1) E x p o 2025大阪関西万博の協創パートナーと協賛パートナーにエントリー中。
  - 2) 大阪産業創造館のビジネスマッチングに参加・展開中。
  - 3) その他も展開中。

# 環境の配慮した消防設備業の推進



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | アーグリード株式会社  |      |       |
| 所在地   | 大阪府大阪市大正区   | 資本金  | 3950万 |
| 設立    | 平成16年1月   | 従業員数 | 25人   |
| 企業URL | <a href="http://www.izubo-zu.co.jp/index.php">http://www.izubo-zu.co.jp/index.php</a> |      |       |
| 事業内容  | 消防設備用各種報告書のソフトウェア開発、販売、消防設備点検業務 他   |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

平成23年から環境に配慮した消防設備点検が出来ないか検討した中、消防設備の自動火災報知機等で煙感知器の作動試験の試験器のスプレーが代替フロンであるHFC-134aだと知り、製造企業にその使用を減らすべき出来ないかと問いかけるも代替がないと言われたため、他の方法を模索し、ノンフロンの加煙試験器を開発する事を始めたのがきっかけ。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

### ① 新型加熱試験器の開発・販売

- 同社では、加熱試験でグリーン購入法に採択を目指して、消防設備点検に用いる**新型の加熱試験器の開発販売**を目指している。
- 従来の試験器は触媒にベンジン（白ガソリン）を用いるため、CO2を排出するとともに、火災事故の危険性があった。一方、同社の**新型試験器「楽熱」（仮名）**はベンジン不使用により、**環境に配慮した安全な製品**である。

### ② 消防への電子届出を促進する届出書作成ソフトの開発・販売

- 届出のデジタル化を進めることで、消防設備業界の慢性的人材不足の解決と業務改善を図る。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 点検作業で使用する試験器の開発や届出作業におけるデジタル化を推進することで、大幅な温室ガスの削減につながる可能性がある。
- 消防設備業界の業務改善が図られる。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今回のマッチングでは成果が上がらなかったけれど、事業は継続的に進展しており、今後に期待したい。

光触媒の環境浄化機能により持続可能な社会の実現を目指す。



|       |   |     |      |
|-------|---|-----|------|
| 企業名   | 株式会社JPコーポレーション  |     |      |
| 所在地   | 大阪市西区   | 資本金 | 3百万円 |
| 設立    | H22年8月4日  |     |      |
| 企業URL | <a href="https://jp-corpo.net">https://jp-corpo.net</a> |     |      |
| 事業内容  | 光触媒関連材のコンサルティング・販売・施工 他                                 |     |      |

SDGsビジネスを始めたきっかけ

東日本大震災以降、環境に対する社会の意識が高まった事をきっかけに【光触媒による環境浄化技術の普及】で社会貢献したいと強く意識するようになった。弊社実績である「国土交通省のNOx対策」、「大阪府の遮音壁清掃に必要な水等資源の削減対策」などの事業に携わったこともきっかけとなっている。

SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 光触媒は光や水という自然エネルギーを使って、持続的に効果を発揮する機能性材料であり、光触媒製品を使用する = 少ない資源で「空気浄化」・「悪臭処理」・「防曇」・「抗菌・抗ウイルス」等多くの効果が期待できる。昨今の環境重視の観点からも成長性の高いビジネスと言える。
- 光触媒材料にはいくつもの種類があり、適切な材料・手段を用いることで、大きな効果が期待できる。多くのノウハウを持つ弊社がお手伝いさせていただくことで、企業の収益につながると同時に、環境へも寄与することが出来る。

**光触媒の効果**

- ・空気浄化
- ・汚れ防止
- ・NOx除去
- ・抗菌・抗ウイルス
- ・（人工光合成）他

SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 社会に対しては、①抗菌・抗ウイルス効果により、安心・安全な環境を提供出来る。②セルフクリーニング効果により、建物・各種構造物の美観維持が可能となり清掃に資する水・洗剤の削減となる。③ NOx除去効果により、道路沿道の大気浄化が可能になる。
- 顧客に対しては、光触媒が環境浄化を目的とした材料の為、採用・推進する事で「環境に取り組む企業」として対外的にPRが出来る。

OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

- 今後の方向性について

1. これからも様々な業種の企業様と光触媒事業を推進する事で、更に知見を増やし、光触媒材料の専門商社としての地位を確立していく。
2. 光触媒工業会の委員として、業界の発展に寄与していく。
3. 光触媒事業にイノベーションを起こすべく、様々な事にチャレンジしていく。
4. 他業種（他業界）の企業様と協業する事で事業の視野を広げる。

世界中どこでも  
農業が経済を変える

|       |   |      |            |
|-------|---|------|------------|
| 企業名   | スパイスキューブ株式会社  |      |            |
| 所在地   | 大阪市西区   | 資本金  | 1,000,000円 |
| 設立    | 2018年2月14日  | 従業員数 | 4名         |
| 企業URL | <a href="https://www.spicecube.biz/">https://www.spicecube.biz/</a> |      |            |
| 事業内容  | 植物工場の事業化支援、農業装置の設計開発  |      |            |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

農業人口減少による食料自給率と高齢化社会、障害者雇用問題、自粛規制中の生活支援などLED照明と養液循環する栽培技術であれば、SDGsに貢献しながら高品質野菜生産が実現できるからです。この栽培技術の普及を企業だけでなく個人の生活まで浸透できればより良い社会に変わると考えております。更に栽培過程で生じる植物の成長について観察写真情報を共有することで、遠隔地に住む想いを寄せるひととのコミュニケーションがIoT装置で簡単にできるようになります。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■一般企業のオフィスインテリアや個人住宅に簡易的に設置できる農業装置（本棚サイズの植物工場＋成長記録共有できるアプリケーション）のパッケージ開発販売を行う。

## ★農業装置のポイント

- ①100株/月程度の葉物野菜の安定生産が可能 ⇒ 個人や一般企業にとって、農業ビジネスに参入できるチャンス
- ②無農薬、排水0、メンテナンスフリー⇒ 従来の畑よりも導入コスト、営農経費を削減して農業が実現
- ③一般住宅やちょっとした休憩所のデッドスペースにも簡単設置できる気軽さと扱いやすさ⇒ 誰でも農業にトライでき、世界中どこでも農業が可能に
- ④植物成長を観察記録するアプリケーションの開発も視野 ⇒ 品質改善や思い出につながるデータ蓄積が可能に

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

SDGsに加え、国内社会課題（就農者現象、食料自給率）も解消できる可能性がある。これらの取組は個人が個々に取り組む流れと企業参入で組織として取り組むダイナミックな流れをつくるのが重要だと考えております。本事業を活用して農業参入する企業を増やすことが経済成長も地球環境にも寄与してくれると想定しております。

## OSAKA SDGsビジネスマッチング成果や今後の方向性について

新規事業を検討する大手商社からの相談がありました。農地でなく既存建物を活用する農業モデルに魅力を感じたとのことで、都市型農業を協創事業として本年から事業化検討頂けることになりました。植物工場の生産野菜の6次産業化も視野に入れて相談先企業だけでなく野菜納品先も巻き込んで都市部ならではのビジネスモデルが構築できそうです。今後の取組としては成功モデルを基盤にして拡大していきたいと考えています。



## 未活用農産物の原料化プラットフォーム



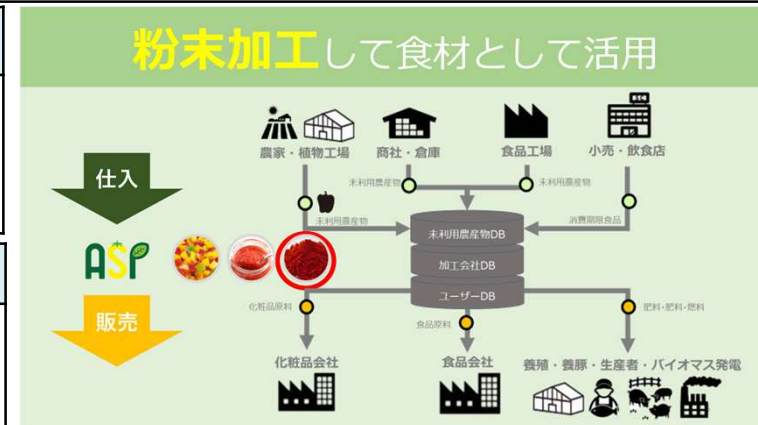
|              |   |             |         |
|--------------|---|-------------|---------|
| <b>企業名</b>   | 株式会社イーエスピー  |             |         |
| <b>所在地</b>   | 吹田市   | <b>資本金</b>  | 4,000千円 |
| <b>設立</b>    | 2018年2月26日  | <b>従業員数</b> | 3名      |
| <b>企業URL</b> | <a href="https://www.agrisp.jp/">https://www.agrisp.jp/</a> |             |         |
| <b>事業内容</b>  | 農産物安定供給、未利用農産物原料化、出荷調整・鮮度保持、グリーンヘルスケア                       |             |         |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

フードロスに加え、食べるには問題ないもののサイズや傷など外観上の理由により廃棄されている。このような『未活用農産物』も外観の問題がなくなるよう加工して食品原料化し、付加価値を高め、食品として活用することで生産者の収益向上と環境負荷低減をしながら食料自給率をアップさせようと考えた。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 農家や植物工場、商社、加工会社等から未利用食材を仕入れ、粉末加工として販売を行う。
- 未活用農産物を有効活用し、フードロス削減を実現する仕組みづくりを行う。



## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

日本には京都のおばんざいのように無駄なく使い切る食文化が根付いています。これを継承しながら、「見映えと機能性」を生かした新しい食材を普及し、食料自給率を上げるだけでなく、日本を代表するSDGsフードとして大阪万博にて世界へ発信していきます。  
粉末食材として新しい食文化を定着することで食料自給率のアップと環境負荷の低減に貢献します。また長期保管できる食材として豊作時などで廃棄されていたものも備蓄食として安定供給され、フードロスや規格外品という言葉が無い社会を作ります。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

補助金事業を通じて、今回取り組んだ6市町村以外の地域からの相談も増え、来年度は倍の地域での取り組みに発展していきます。また今回試作した原料から採用したい企業が複数出たこととBtoBtoCの座組で具体的な商品企画が複数生まれました。  
今後はミールキットや料理人と連携したワークショップや料理教室による「粉」食材の認知度向上を進めながら、大阪万博に向けて日本発のSDGsフードとしてのコンテンツを増やしていきながら、海外展開に向けた準備も進めていきます。  
プラットフォーム事業として連携先企業も増えてきましたが、独自の商品開発や共同研究などのプロジェクトも増えてきたため、研究所の設立と組織づくりにも力を入れるため、資金調達を行い、企業力アップを図ります。

## “ヴィーガンレザー” ～植物性皮革という選択肢～



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | PEEL Lab (ピールラボ)  |      |       |
| 所在地   | 大阪府大阪市  | 資本金  | 200万円 |
| 設立    | 2021年8月   | 従業員数 | 5     |
| 企業URL | <a href="https://www.peel-lab.com">https://www.peel-lab.com</a> |      |       |
| 事業内容  | 食品ロスのアップサイクリング、動物虐待の防止、地球温暖化の防止に関する事業                           |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

私たちは、ファッション業界と環境をテーマに、主に動物・合成皮革が環境に与える影響に着目しました。既存のレザーの製造過程で排出される温室効果ガスは、なんと毎年全体の10%をも占めています。それに加え、約5,000万頭以上もの動物が犠牲になり、830億ガロンにも及ぶ量の水が無駄になっているのが現状です。これらの問題の解決するため、消費者に植物由来性のヴィーガンレザーという選択肢を与える活動をしています。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- サステナブル（持続可能性）・エシカル（論理的なアプローチ）・デザイン・トランスペアレンシー（生産過程における透明性）という4つのバリューを念頭に、様々なブランドとのコラボレーションを通じて環境保護を目標に日々活動。
- 植物（主に廃棄ロスのパイナップル、りんご、竹など）を原料にしたヴィーガンレザーを用いた製品の開発・販売（B2B）。  
販売事例：ハンドバッグ、ペット用首輪、コースター、ヨガマットなど

#### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

現在、レザー製品には主に動物・合成皮革が使われています。どちらも環境と動物愛護観点において非常に有害であり、早急な解決策が必要と考えています。そのため、植物性レザーを普及させることで、消費者への「第3の選択肢」の提供を実現します。これにより、ヴィーガンレザー商品の開発、制作はもちろん、既存のファッション製品製造がもたらす環境問題やエシカル消費の重要性などの社会的認識を高めることも期待できます。そして、2030年までに動物性・合成皮革製品市場の約5%を植物由来のレザーに置き換えることを目標としています。

#### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

東京・大阪に拠点を置くPEEL Lab (ピールラボ) 株式会社は、植物由来レザーを筆頭に、廃棄ロスの植物や果物をアップサイクルした素材の活用を推進するビジネスプラットフォームであり、バイオテックベンチャーです。地球環境への配慮を大切に、日本でのビジネス展開だけでなく東南アジアでの農業廃棄物の課題や、廃棄コナッツを活用して新しい素材の研究開発にも取り組んでいます。URL: [www.peel-lab.com](http://www.peel-lab.com)  
PEEL Lab (ピールラボ) は大きな3つのテーマ 1) 地球温暖化の抑止、2) 食品廃棄ロスの抑制、3) 動物への虐待回避を目的として活動を行い、持続可能で革新的な素材でプロダクトを生み出していくという戦略的な考えを持っています。動物愛護の精神から生み出された植物由来レザーはPeTA（全米最大の動物愛護団体）によって公式認定されており、その素材は従来のいわゆるレザーの感触や質感によく似ています。私たちは植物由来レザー＝ネクストレザーと位置付け、ますます拡大する代替素材への需要に対応してまいります。またPEEL Lab：NEXT FOODS（ネクストフード）のプロジェクトを開始しました。スーパーフードとして、昨今注目を浴びるスピルリナを主原料としたパスタを2022年4月下旬を目処に販売を開始いたします。同時に、スピルリナパウダーも販売を予定しております。

# ゴール14：海の豊かさを守ろう

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

## Co2削減に貢献する植物由来材料を利用した複合樹脂のご紹介 セルロースナノファイバー(CNF)やペーパーミックスを利用した複合樹脂



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | 株式会社吉川国工業所  |      |       |
| 所在地   | 奈良県葛城市  | 資本金  | 20百万円 |
| 設立    | 1959年4月   | 従業員数 | 110名  |
| 企業URL | <a href="http://www.yoshikawakuni.co.jp/company/index.html">http://www.yoshikawakuni.co.jp/company/index.html</a> |      |       |
| 事業内容  | プラスチック日用品雑貨の企画・製造・販売  |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

「海洋ゴミ削減など社会課題解決に向けた取り組み強化」を会社事業目標に掲げビジネス展開、2018年関西SDGsプラットホームにも参画済

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 脱炭素社会に向けて2018年度のサポイン事業採択を受け、環境に優しい植物由来の材料を用いた「複合樹脂」を開発。
  - 開発商品
    - ① Nacel（PP + CNF40%）・・・植物を解繊して作るセルロースナノファイバーを独自の技術で合成樹脂に混練した強化プラスチック  
→CNF添加40%を実現、MBペレットとして供給できる数少ないメーカーである。
    - ② Nacel light（PP + ペーパーミックス30%）
- ※使用用途は住設・建材、OA・事務機器、家電関連等が想定される。

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

バイオマスプラの導入が進むと市場での認知が進み用途も拡大し、あらゆる産業界に用途開発研究が推進され、環境配慮型市場が一気に加速される。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性

Nacel（CNF複合樹脂）やNacel light（PP + ペーパーミックス複合樹脂）の実装化を推進、社内ではCNF5%含有の製品を近々に販売予定、今後、オールバイオ複合樹脂の開発を進めていきます。弊社既存製品の収納用品や中・大型日用品をオールバイオで量産化し、まずは環境意識が高い欧州、欧米をターゲットにした世界展開を図っていきます。

## もみ殻とプラスチック(石油由来材料、植物由来材料)を 混練したプラスチック複合材料の開発、キッチン用品の販売



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | 株式会社テクノベル   |      |       |
| 所在地   | 大阪市城東区  | 資本金  | 30百万円 |
| 設立    | 1991年4月   | 従業員数 | 21名   |
| 企業URL | <a href="https://www.technovel.co.jp/">https://www.technovel.co.jp/</a> |      |       |
| 事業内容  | 押出機並びに押出機付帯設備の製造・販売   |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

プラスチック成形機械製造会社としての社会的責任と、良いものを長く使うライフスタイル定着への想い（大量消費社会から循環型社会へ）からSDGsビジネスに取り組んでいる。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

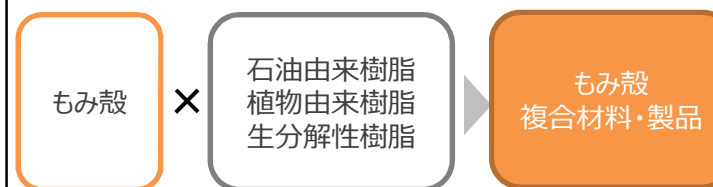
- プラスチック成形機の一つである押出機の専門メーカーであり、豊富なコンパウンドノウハウを有する同社が、SDGsビジネスとして、天然資源複合材料/製品開発に取り組む。
- 現在、研究機関やプラスチック加工メーカーと協業しながら、もみ殻複合材料・製品等を開発中である。

#### 《開発中材料・製品のポイント》

- ① 既存プラスチックにはない“独特な木質感・風合い”
- ② 長時間の使用に耐える“耐衝撃性”と“耐熱性”

### “長く大切に使いたくなる高付加価値プラスチック製品”

開発例：『もみ殻複合材料・製品』



### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

#### 【社会】

-製品の長期間使用によるプラスチックごみの減少、カーボンニュートラルの実現

#### 【消費者】

-エシカル消費マインドによる、製品を長く使うことが可能に。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

独特な木質感や風合いの特徴を持つ製品を目指し、もみ殻材料の混合手法を検討中。

引き続き、研究機関と連携しながら、もみ殻複合材料の物性改善に取り組む。

## 人に愛され環境に優しいプラスチック技術を



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | 株式会社プラステコ  |      |       |
| 所在地   | 大阪府池田市   | 資本金  | 10百万円 |
| 設立    | 2007年9月3日  | 従業員数 | 10名   |
| 企業URL | <a href="http://www.plastecocorp.com">www.plastecocorp.com</a> |      |       |
| 事業内容  | 超臨界不活性ガス発泡成形事業、生分解性樹脂製品事業 他                                    |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

現代社会ではプラスチックの恩恵なしには、成り立つことができません。しかし一方では資源問題やゴミ問題、海洋プラスチックゴミなど地球環境の脅威であることも事実です。プラステコは「人と地球にやさしいプラスチックの利用を理念に掲げ、プラスチックを取り巻く地球環境が改善され、世界中の人々のより便利で豊かな生活に貢献できるよう、環境調和型の技術革新を進めています。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- PLA（ポリ乳酸）などの生分解性プラスチックを当社独自の二酸化炭素や窒素を発泡剤としてプラスチックを微細に発泡させる技術を用いて、発泡シートや発泡ビーズ、発泡ストランドなどを生産。
- 当社独自の超臨界発泡押出技術は、従来困難とされた生分解性樹脂PLA（ポリ乳酸）等バイオプラスチックの発泡をコントロールし、気泡径や数密度、独泡率などを調整することが可能であり、創業以来の環境に特化したプラスチック発泡技術を有する当社ならではの経験と知見によって、製品ごとに要望される物性の発泡素材に適した製品づくりが可能である。
- それぞれのニーズに応じて、二次加工し、食品トレーやビーズ成形品、緩衝材など用途に応じた二次加工製品を企業とタッグを組んで開発販売する。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

使い捨てプラスチックゴミ問題の解決。生分解性プラスチックの発泡製品は完全生分解性でリサイクルも可能。温暖化ガスや有害なガスを使用せず、当社オリジナルの二酸化炭素や窒素を発泡剤として発泡させているため、非石油由来でカーボンニュートラル。地球温暖化防止や海洋プラスチックなどの環境問題にも効果のあることが近年の研究で明らかとなってきている。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

商談を希望している企業様からのコンタクト等があり、個別の商談、実際の面談などの機会を持つことができ、大変有意義であった。弊社の技術を使って新たな商品の開発や研究などの話もすることができた。また、参加企業様のプレゼンを視聴することで、新しい技術や産業などを知るきっかけとなり、とても勉強になりました。

バイオマス率65%ポリプロピレン、既存のCNF同等以上の引張強度・曲げ強度を実現。  
安価で高機能な環境対応型オリジナルブレンド材料の提案・提供。



|       |   |      |          |
|-------|---|------|----------|
| 企業名   | 吉川化成株式会社  |      |          |
| 所在地   | 大阪市鶴見区  | 資本金  | 1億8000万円 |
| 設立    | 1950年2月   | 従業員数 | 291名     |
| 企業URL | <a href="http://www.ypc-g.com">http://www.ypc-g.com</a> |      |          |
| 事業内容  | プラスチック射出成形業（OA機器関連、医療分野他）                               |      |          |

#### SDGsビジネスを始めたきっかけ

プラスチック材料の再生や機能材添加による高機能化を目的に「ものづくり補助金」（2015年）を活用し二軸混練機を導入。自社プラスチック製品への再生材料の使用、抗菌機能の付加等を実施、商品化。次世代の環境対応素材としてCNF（セルロースナノファイバー）を混練したプラスチック材料の検証を進めていく中で、バイオマスプラスチックに展開、SDGsにつながる活動となった。

#### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 同社では、バイオマス由来の材料をブレンドすることで、現在市場投入されているセルロースナノファイバー（CNF）と同等の機能性を有したポリプロピレン樹脂を開発した。開発品のバイオマス率は65%に及びプラスチックに分類されないレベルに達している。
- PP（ポリプロピレン）をベースとしたバイオマスプラスチック材料でCNF含有のPPと同等以上の特性をもったオリジナルブレンド材料である。

##### 《開発品のポイント》

- ①バイオマス由来であること（バイオマスプラスチック） ②低価格であること（対CNF） ③環境負荷が少ないこと（バイオマス率65%）

#### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

近年、CNFは有用な材料として紹介されてきたが、未だコストが見合わない。こうした状況の中、環境負荷が少なく、低コストの材料を提供することは社会ニーズに合致、将来的なCNFの社会実装までのつなぎとなり得る。また環境負荷の少ないプラスチック製品を企画・検討している企業においては新しい材料の選択肢として有用になると考えられる。

#### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

プラスチック材料のコンパウンドによる高機能化は今後も継続して進める。バイオマスベースの新規材料が次々と上市されているので特性確認とともにそうした新規材料の活用を考える企業との連携も模索する。

## オフィス用品からSDGsを広げる脱プラ クリアペーパーファイルの開発



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | 都インキ株式会社  |      |       |
| 所在地   | 大阪市鶴見区  | 資本金  | 30百万円 |
| 設立    | 1965年9月   | 従業員数 | 45人   |
| 企業URL | <a href="https://www.miyakoink.co.jp">https://www.miyakoink.co.jp</a> |      |       |
| 事業内容  | 印刷用インキ及び印刷用資材の製造・販売・輸出、印刷周辺機器の販売                                      |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

1948年にインク製造業として大阪で創業して以来、小ロットカスタマイズインクの中堅メーカーとしてモノづくりに携わっている。環境に配慮した製品をご提供することは企業の責務であると考え、当社の理念を社会貢献に生かすために、持続可能な製品開発に注力している。SDGsは大企業だけでなく、中小企業こそ積極的に取り組むべきと考え、当社がその先頭に立ちたいと思っている。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 同社にて開発した「用紙に含浸させると透明度が出るインク」を紙に含浸させ、透明度・価格において、PPクリアファイルの代替となるような紙ファイルを製造・販売。  
→プラスチックのPPクリアファイルの代替となる環境負荷の軽減に貢献
- 「用紙に含浸させると透明度が出るインク」は同社の独自開発技術である。
- クリアペーパーファイル及びインクと用紙透明化装置をセットで販売する。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 日常的に多くの人々が使用しているクリアファイルを紙製にすることで、脱プラ意識をより広域に啓蒙。
- 当該製品とは別に抗菌、防カビ、抗ウイルス機能を付加するインクも開発しており、その技術を「用紙に含浸させると透明度が出るインク」にも適用し、社会に対して安全と安心を付加することができる。

## OSAKA SDGsマッチングの成果や今後の方向性について

- ・いくつか見て頂いた方からのお声がけを頂いておりまして継続進展中です。
- ・今回の実績も含めて多方面に展開中です。
  - 1) E x p o 2025大阪関西万博の協創パートナーと協賛パートナーにエントリー中。
  - 2) 大阪産業創造館のビジネスマッチングに参加・展開中。
  - 3) その他も展開中。



## 昆布革命！



|       |   |      |         |
|-------|---|------|---------|
| 企業名   | 株式会社天満大阪昆布  |      |         |
| 所在地   | 大阪市北区   | 資本金  | 1,000万円 |
| 設立    | 昭和62年8月8日   | 従業員数 | 5名      |
| 企業URL | <a href="https://shop-kombu.com/">https://shop-kombu.com/</a> |      |         |
| 事業内容  | 業務用だし昆布・佃煮昆布・各種昆布製品の製造・卸・小売                                   |      |         |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

地球上において昆布が自然に生育している地域は、日本以外にはほとんどありません。その昆布も自然環境の変化により毎年生産量が減ってきていますが、消費も減少方向に向かっています。昆布が一般に使われなくなってきた理由として、①だし昆布の使い方が難しい、②和食を家でつくらない、③だし殻昆布を捨てるのがもったいない、の3つがあげられ、その結果「顆粒だし」が使われています。

日本人なら本物のだし昆布を使った料理が美味しいのをみんな知っているでしょう。にもかかわらず、使い方が面倒なために使用用途が限られ、まただし殻を廃棄してしまうのでは、忙しい生活のなかで多様性のある食事を楽しみ、フードロスなくという現代の潮流に全く逆行することになります。

日本特有の食材「昆布」でSDGsに挑戦することで現状を打破し、健康長寿社会の実現に役立ちたいと思います。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■ だしのよく出る上等の出し昆布を1mm幅に切った「昆布革命シリーズ」の開発と販売を行う。

《同社製品のポイント》

- ① 1mm幅に切ることで、断面が増え、「UMAMI」成分が37%アップ
- ② 水出しすることで日持ちが1週間程度長持ち
- ③ 和洋中エスニック料理との相性も抜群！
- ④ 残った出し殻昆布は、そのまま食材として全く廃棄することなく完全に使い切ることが可能（オリーブ漬けなど）



## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

一般的に昆布は高くて使いにくいとのイメージがありますが、出しを取った後の昆布を捨ててしまうからそのような思われていると思います。出し殻も健康的な食材として完全に利用すれば全く食糧廃棄にもならず、自然とSDGsビジネスに繋がります。食品は本来ならば少しの工夫で廃棄しなくてすむものと思います。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

1月下旬に昆布料理動画制作スタジオを設置いたします。

既に昨年春よりSNSをはじめとしたトライアルで成果が上がっており、本格的に取り組みます。原資は再構築補助金とものづくり補助金です。

## エンドウミートを軸としたプラントベースフードの開発

プラントベースフード・・・植物由来の原材料を使用した食品



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | リンクフード株式会社  |      |       |
| 所在地   | 大阪府豊中市  | 資本金  | 750万円 |
| 設立    | 2018年8月   | 従業員数 | 3名    |
| 企業URL | <a href="https://www.link-food.com/">https://www.link-food.com/</a> |      |       |
| 事業内容  | 食品原料と飼料原料の輸入販売、食品の企画・開発・販売・輸出、食品事業の受託・コンサルタント                       |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

海外と接点を持ち、食品事業に20年以上携わる中で、世界の食品需給状況を実感として体験、環境調和型へ「食」も産業構造が移り変わる転換期に入ってきた中でいかにして食料の安定供給に寄与するかという視点で、「動物性から植物性」という事業に取り組んでいます。「動物性から植物性」という事業が、結果としてSDGsビジネスに繋がっていました。

人口増加と経済成長による食生活の変化により、タンパク質の需要が増加する一方、必要なタンパク質の供給が追いつかなくなる「タンパククライシス」が懸念されており、昆虫由来や藻由来のタンパク源の開発や細胞培養による培養肉技術の開発が行われている中、既存の肉製品や水産品に近い食品原料を植物性で再現できれば、地球環境、貧困、健康といった社会課題の解決の一助になると捉えています。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■ 差別化できる植物肉として、エンドウミートを軸としたプラントベースフードの開発と供給を行う。

◀ ビジネスモデル・製品のポイント ▶

① 自社で原料となる植物性原料の輸入（原料の調達）から最終製品まで携わることで、顧客の要望に柔軟に対応。

② 大豆由来の食品（大豆ミート等）では実現できないアレルギー対応食が実現。

※現に欧米では、アレルギーや遺伝子組み換えの観点でソイフリー（大豆製品を含まない食品）がグルテンフリー（小麦等に含まれる「グルテン」を摂取しない）と同列で広まっている。



## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- ・タンパク源の安定供給により良質なタンパク質の高騰を防ぐ。
- ・効率がよく、良質なたんぱく源を供給することで世界中の人々の栄養不足の解消と健康維持へ。
- ・海洋水産資源の乱獲防止

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性

- ・プレゼンター同士での交流ができ、新しいビジネスの可能性が芽生えました。（同テーマのプレゼンターはビジネスの相関性が高いです）
- ・共創パートナーとの交流の中で、ビジネスとしての拡大性について共通認識を持って、方向性として間違いないという確信が持てました。同時に、事業を勧めていく上での課題も認識できました。
- ・消費者に直接届く商品の具現化を進めます。

## “多目的電動アシスト3輪自転車”で、みんなが明るく生きられる社会を



|       |  |      |              |
|-------|--|------|--------------|
| 企業名   | ケイズ技研株式会社  |      |              |
| 所在地   | 大阪市北区西天満5-12-14                                  | 資本金  | 500万円        |
| 設立    | 2015年5月1日  | 従業員数 | 0（社外協力技術者3名） |
| 企業URL | <a href="http://www.kslabo.jp">www.kslabo.jp</a> |      |              |
| 事業内容  | 各種乗物・移動装置の企画、開発、設計、製造、販売                         |      |              |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

特に後期高齢者や移動制約者向けの「転倒しにくい電動アシスト自転車」の事業を進める過程で、コロナ禍の今日、多くの人が生活（働く）手段に困窮されていることが分かった。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

下記のような用途に活用できる“多目的電動アシスト3輪自転車”を、一般には通常リース。求職者には適した職業の紹介も併せてリース。誰もが安心して暮らせて、誰でも移動できる共生社会の実現に貢献する。

- ・乗客2名のタクシー、特に要介護者送迎用。（許認可不要。但し、所轄警察に事前届け出がベター）
- ・様々なイベント、観光地、遊園地、テーマパーク、大規模施設などの移動、周遊、物品運搬用、等々。
- ・荷物の運搬／配送／宅配。（顧客から直接料金を受領する場合、税務署へ個人事業届が必要）
- ・移動キッチン／弁当販売。（食品衛生責任者講習の1日受講／営業地保健所への届出等が必要）
- ・各種商品／サービスの移動販売。（行商扱いのため許認可等不要）

・・・etc.



試作車(タクシー仕様)



試作車(カーゴ仕様)

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- ・レッサー(提携リース企業等) / レッシー (リース利用者) 共に、SDGsビジネスを具体的に体現しながら、収入が得られる。
- ・特にレッシーに、対面する顧客の笑顔と、自主自立で働いて生きる喜びを感じてもらう。
- ・社会的には、失業者とCO2の減少に貢献できる。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

- ・OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果：  
現在JETRO様に、弊社が基本技術特許を保有している国々の内、特に欧米地域から、ビジネスを具体的に展開していく方策を相談中。（現地企業とのコラボも検討）
- ・今後の方向性：  
コラボを含めた製造／販売を、希望される企業様と、国内外同時進行で進める。

# ゴール15：陸の豊かさを守ろう

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

## Co2削減に貢献する植物由来材料を利用した複合樹脂のご紹介 セルロースナノファイバー(CNF)やペーパーミックスを利用した複合樹脂



|              |   |             |       |
|--------------|---|-------------|-------|
| <b>企業名</b>   | 株式会社吉川国工業所  |             |       |
| <b>所在地</b>   | 奈良県葛城市  | <b>資本金</b>  | 20百万円 |
| <b>設立</b>    | 1959年4月   | <b>従業員数</b> | 110名  |
| <b>企業URL</b> | <a href="http://www.yoshikawakuni.co.jp/company/index.html">http://www.yoshikawakuni.co.jp/company/index.html</a> |             |       |
| <b>事業内容</b>  | プラスチック日用品雑貨の企画・製造・販売  |             |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

「海洋ゴミ削減など社会課題解決に向けた取り組み強化」を会社事業目標に掲げビジネス展開、2018年関西SDGsプラットホームにも参画済

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 脱炭素社会に向けて2018年度のサポイン事業採択を受け、環境に優しい植物由来の材料を用いた「複合樹脂」を開発。
  - 開発商品
    - ① Nacel（PP + CNF40%）・・・植物を解繊して作るセルロースナノファイバーを独自の技術で合成樹脂に混練した強化プラスチック  
→CNF添加40%を実現、MBペレットとして供給できる数少ないメーカーである。
    - ② Nacel light（PP + ペーパーミックス30%）
- ※使用用途は住設・建材、OA・事務機器、家電関連等が想定される。

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

バイオマスプラの導入が進むと市場での認知が進み用途も拡大し、あらゆる産業界に用途開発研究が推進され、環境配慮型市場が一気に加速される。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性

Nacel（CNF複合樹脂）やNacel light（PP + ペーパーミックス複合樹脂）の実装化を推進、社内ではCNF5%含有の製品を近々に販売予定、今後、オールバイオ複合樹脂の開発を進めていきます。弊社既存製品の収納用品や中・大型日用品をオールバイオで量産化し、まずは環境意識が高い欧州、欧米をターゲットにした世界展開を図っていきます。

## 人に愛され環境に優しいプラスチック技術を



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | 株式会社プラステコ  |      |       |
| 所在地   | 大阪府池田市   | 資本金  | 10百万円 |
| 設立    | 2007年9月3日  | 従業員数 | 10名   |
| 企業URL | <a href="http://www.plastecocorp.com">www.plastecocorp.com</a> |      |       |
| 事業内容  | 超臨界不活性ガス発泡成形事業、生分解性樹脂製品事業 他                                    |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

現代社会ではプラスチックの恩恵なしには、成り立つことができません。しかし一方では資源問題やゴミ問題、海洋プラスチックゴミなど地球環境の脅威であることも事実です。プラステコは「人と地球にやさしいプラスチックの利用を理念に掲げ、プラスチックを取り巻く地球環境が改善され、世界中の人々のより便利で豊かな生活に貢献できるよう、環境調和型の技術革新を進めています。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- PLA（ポリ乳酸）などの生分解性プラスチックを当社独自の二酸化炭素や窒素を発泡剤としてプラスチックを微細に発泡させる技術を用いて、発泡シートや発泡ビーズ、発泡ストランドなどを生産。
- 当社独自の超臨界発泡押出技術は、従来困難とされた生分解性樹脂PLA（ポリ乳酸）等バイオプラスチックの発泡をコントロールし、気泡径や数密度、独泡率などを調整することが可能であり、創業以来の環境に特化したプラスチック発泡技術を有する当社ならではの経験と知見によって、製品ごとに要望される物性の発泡素材に適した製品づくりが可能である。
- それぞれのニーズに応じて、二次加工し、食品トレーやビーズ成形品、緩衝材など用途に応じた二次加工製品を企業とタッグを組んで開発販売する。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

使い捨てプラスチックゴミ問題の解決。生分解性プラスチックの発泡製品は完全生分解性でリサイクルも可能。温暖化ガスや有害なガスを使用せず、当社オリジナルの二酸化炭素や窒素を発泡剤として発泡させているため、非石油由来でカーボンニュートラル。地球温暖化防止や海洋プラスチックなどの環境問題にも効果のあることが近年の研究で明らかとなってきている。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

商談を希望している企業様からのコンタクト等があり、個別の商談、実際の面談などの機会を持つことができ、大変有意義であった。弊社の技術を使って新たな商品の開発や研究などの話もすることができた。また、参加企業様のプレゼンを視聴することで、新しい技術や産業などを知るきっかけとなり、とても勉強になりました。

バイオマス率65%ポリプロピレン、既存のCNF同等以上の引張強度・曲げ強度を実現。  
安価で高機能な環境対応型オリジナルブレンド材料の提案・提供。



|       |   |      |          |
|-------|---|------|----------|
| 企業名   | 吉川化成株式会社  |      |          |
| 所在地   | 大阪市鶴見区  | 資本金  | 1億8000万円 |
| 設立    | 1950年2月   | 従業員数 | 291名     |
| 企業URL | <a href="http://www.ypc-g.com">http://www.ypc-g.com</a> |      |          |
| 事業内容  | プラスチック射出成形業（OA機器関連、医療分野他）                               |      |          |

#### SDGsビジネスを始めたきっかけ

プラスチック材料の再生や機能材添加による高機能化を目的に「ものづくり補助金」（2015年）を活用し二軸混練機を導入。自社プラスチック製品への再生材料の使用、抗菌機能の付加等を実施、商品化。次世代の環境対応素材としてCNF（セルロースナノファイバー）を混練したプラスチック材料の検証を進めていく中で、バイオマスプラスチックに展開、SDGsにつながる活動となった。

#### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 同社では、バイオマス由来の材料をブレンドすることで、現在市場投入されているセルロースナノファイバー（CNF）と同等の機能性を有したポリプロピレン樹脂を開発した。開発品のバイオマス率は65%に及びプラスチックに分類されないレベルに達している。
- PP（ポリプロピレン）をベースとしたバイオマスプラスチック材料でCNF含有のPPと同等以上の特性をもったオリジナルブレンド材料である。

#### 《開発品のポイント》

- ①バイオマス由来であること（バイオマスプラスチック） ②低価格であること（対CNF） ③環境負荷が少ないこと（バイオマス率65%）

#### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

近年、CNFは有用な材料として紹介されてきたが、未だコストが見合わない。こうした状況の中、環境負荷が少なく、低コストの材料を提供することは社会ニーズに合致、将来的なCNFの社会実装までのつなぎとなり得る。また環境負荷の少ないプラスチック製品を企画・検討している企業においては新しい材料の選択肢として有用になると考えられる。

#### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

プラスチック材料のコンパウンドによる高機能化は今後も継続して進める。バイオマスベースの新規材料が次々と上市されているので特性確認とともにそうした新規材料の活用を考える企業との連携も模索する。

## 大豆ミートをはじめとした植物由来食品製造押出機の製造販売 (開発装置、生産装置)



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | 株式会社テクノベル   |      |       |
| 所在地   | 大阪市城東区  | 資本金  | 30百万円 |
| 設立    | 1991年4月   | 従業員数 | 21名   |
| 企業URL | <a href="https://www.technovel.co.jp/">https://www.technovel.co.jp/</a> |      |       |
| 事業内容  | 押出機並びに押出機付帯設備の製造・販売   |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

-押出機業界において(特に欧州)、食品向けの装置開発がトレンドになっているため

### SDGsビジネスの概要とポイント (特徴、ビジネスモデル含む)

■プラスチック成形機的一种である押出機の専門メーカーであり、豊富なコンパウンドノウハウを有する同社が、植物由来製品(大豆ミート等)を製造するための押出機を製造販売する。

≪同社製品のポイント≫

- ① 市場には出回っていないサイズの開発用押出機もラインナップ
- ② プラスチック向け押出機製造で培ったノウハウを生かした装置設計

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

#### 【社会】

-CO2排出量や生産時の水消費量といった観点から、植物由来食品は環境に優しい

-世界的な食糧問題に対して、効率的な蛋白質摂取を可能に

#### 【消費者】

-大豆ミートを始めとした植物由来食品の研究が盛んになることにより、より美味しい食品製品を購入することが可能に

### OSAKA SDGビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

大豆以外の他植物由来製品に対応可能な装置設計を推進中。

競合他社が製造販売できない小型製造機分野に注力し、食品加工会社の代替肉研究開発に貢献したい。



## エンドウミートを軸としたプラントベースフードの開発

プラントベースフード・・・植物由来の原材料を使用した食品



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | リンクフード株式会社  |      |       |
| 所在地   | 大阪府豊中市  | 資本金  | 750万円 |
| 設立    | 2018年8月   | 従業員数 | 3名    |
| 企業URL | <a href="https://www.link-food.com/">https://www.link-food.com/</a> |      |       |
| 事業内容  | 食品原料と飼料原料の輸入販売、食品の企画・開発・販売・輸出、食品事業の受託・コンサルタント                       |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

海外と接点を持ち、食品事業に20年以上携わる中で、世界の食品需給状況を実感として体験、環境調和型へ「食」も産業構造が移り変わる転換期に入ってきた中でいかにして食料の安定供給に寄与するかという視点で、「動物性から植物性」という事業に取り組んでいます。「動物性から植物性」という事業が、結果としてSDGsビジネスに繋がっていました。

人口増加と経済成長による食生活の変化により、タンパク質の需要が増加する一方、必要なタンパク質の供給が追いつかなくなる「タンパククライシス」が懸念されており、昆虫由来や藻由来のタンパク源の開発や細胞培養による培養肉技術の開発が行われている中、既存の肉製品や水産品に近い食品原料を植物性で再現できれば、地球環境、貧困、健康といった社会課題の解決の一助になると捉えています。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■ 差別化できる植物肉として、エンドウミートを軸としたプラントベースフードの開発と供給を行う。

◀ ビジネスモデル・製品のポイント ▶

① 自社で原料となる植物性原料の輸入（原料の調達）から最終製品まで携わることで、顧客の要望に柔軟に対応。

② 大豆由来の食品（大豆ミート等）では実現できないアレルギー対応食が実現。

※現に欧米では、アレルギーや遺伝子組み換えの観点でソイフリー（大豆製品を含まない食品）がグルテンフリー（小麦等に含まれる「グルテン」を摂取しない）と同列で広まっている。



## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- ・タンパク源の安定供給により良質なタンパク質の高騰を防ぐ。
- ・効率がよく、良質なたんぱく源を供給することで世界中の人々の栄養不足の解消と健康維持へ。
- ・海洋水産資源の乱獲防止

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性

- ・プレゼンター同士での交流ができ、新しいビジネスの可能性が芽生えました。（同テーマのプレゼンターはビジネスの相関性が高いです）
- ・共創パートナーとの交流の中で、ビジネスとしての拡大性について共通認識を持って、方向性として間違いないという確信が持てました。同時に、事業を勧めていく上での課題も認識できました。
- ・消費者に直接届く商品の具現化を進めます。

## “多目的電動アシスト3輪自転車”で、みんなが明るく生きられる社会を



|       |  |      |              |
|-------|--|------|--------------|
| 企業名   | ケイズ技研株式会社  |      |              |
| 所在地   | 大阪市北区西天満5-12-14                                  | 資本金  | 500万円        |
| 設立    | 2015年5月1日  | 従業員数 | 0（社外協力技術者3名） |
| 企業URL | <a href="http://www.kslabo.jp">www.kslabo.jp</a> |      |              |
| 事業内容  | 各種乗物・移動装置の企画、開発、設計、製造、販売                         |      |              |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

特に後期高齢者や移動制約者向けの「転倒しにくい電動アシスト自転車」の事業を進める過程で、コロナ禍の今日、多くの人が生活（働く）手段に困窮されていることが分かった。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

下記のような用途に活用できる“多目的電動アシスト3輪自転車”を、一般には通常リース。求職者には適した職業の紹介も併せてリース。誰もが安心して暮らせて、誰でも移動できる共生社会の実現に貢献する。

- ・乗客2名のタクシー、特に要介護者送迎用。（許認可不要。但し、所轄警察に事前届け出がベター）
- ・様々なイベント、観光地、遊園地、テーマパーク、大規模施設などの移動、周遊、物品運搬用、等々。
- ・荷物の運搬／配送／宅配。（顧客から直接料金を受領する場合、税務署へ個人事業届が必要）
- ・移動キッチン／弁当販売。（食品衛生責任者講習の1日受講／営業地保健所への届出等が必要）
- ・各種商品／サービスの移動販売。（行商扱いのため許認可等不要）

・・・etc.



試作車(タクシー仕様)



試作車(カーゴ仕様)

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- ・レッサー(提携リース企業等) / レッシー (リース利用者) 共に、SDGsビジネスを具体的に体現しながら、収入が得られる。
- ・特にレッシーに、対面する顧客の笑顔と、自主自立で働いて生きる喜びを感じてもらう。
- ・社会的には、失業者とCO2の減少に貢献できる。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

- ・OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果：  
現在JETRO様に、弊社が基本技術特許を保有している国々の内、特に欧米地域から、ビジネスを具体的に展開していく方策を相談中。（現地企業とのコラボも検討）
- ・今後の方向性：  
コラボを含めた製造／販売を、希望される企業様と、国内外同時進行で進める。

## “ヴィーガンレザー” ～植物性皮革という選択肢～



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | PEEL Lab (ピールラボ)  |      |       |
| 所在地   | 大阪府大阪市  | 資本金  | 200万円 |
| 設立    | 2021年8月   | 従業員数 | 5     |
| 企業URL | <a href="https://www.peel-lab.com">https://www.peel-lab.com</a> |      |       |
| 事業内容  | 食品ロスのアップサイクリング、動物虐待の防止、地球温暖化の防止に関する事業                           |      |       |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

私たちは、ファッション業界と環境をテーマに、主に動物・合成皮革が環境に与える影響に着目しました。既存のレザーの製造過程で排出される温室効果ガスは、なんと毎年全体の10%をも占めています。それに加え、約5,000万頭以上もの動物が犠牲になり、830億ガロンにも及ぶ量の水が無駄になっているのが現状です。これらの問題の解決するため、消費者に植物由来性のヴィーガンレザーという選択肢を与える活動をしています。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- サステナブル（持続可能性）・エシカル（論理的なアプローチ）・デザイン・トランスペアレンシー（生産過程における透明性）という4つのバリューを念頭に、様々なブランドとのコラボレーションを通じて環境保護を目標に日々活動。
- 植物（主に廃棄ロスのパイナップル、りんご、竹など）を原料にしたヴィーガンレザーを用いた製品の開発・販売（B2B）。  
販売事例：ハンドバッグ、ペット用首輪、コースター、ヨガマットなど

#### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

現在、レザー製品には主に動物・合成皮革が使われています。どちらも環境と動物愛護観点において非常に有害であり、早急な解決策が必要と考えています。そのため、植物性レザーを普及させることで、消費者への「第3の選択肢」の提供を実現します。これにより、ヴィーガンレザー商品の開発、制作はもちろん、既存のファッション製品製造がもたらす環境問題やエシカル消費の重要性などの社会的認識を高めることも期待できます。そして、2030年までに動物性・合成皮革製品市場の約5%を植物由来のレザーに置き換えることを目標としています。

#### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

東京・大阪に拠点を置くPEEL Lab (ピールラボ) 株式会社は、植物由来レザーを筆頭に、廃棄ロスの植物や果物をアップサイクルした素材の活用を推進するビジネスプラットフォームであり、バイオテックベンチャーです。地球環境への配慮を大切に、日本でのビジネス展開だけでなく東南アジアでの農業廃棄物の課題や、廃棄コナッツを活用して新しい素材の研究開発にも取り組んでいます。URL: [www.peel-lab.com](http://www.peel-lab.com)  
PEEL Lab (ピールラボ) は大きな3つのテーマ 1) 地球温暖化の抑止、2) 食品廃棄ロスの抑制、3) 動物への虐待回避を目的として活動を行い、持続可能で革新的な素材でプロダクトを生み出していくという戦略的な考えを持っています。動物愛護の精神から生み出された植物由来レザーはPeTA（全米最大の動物愛護団体）によって公式認定されており、その素材は従来のいわゆるレザーの感触や質感によく似ています。私たちは植物由来レザー＝ネクストレザーと位置付け、ますます拡大する代替素材への需要に対応してまいります。またPEEL Lab：NEXT FOODS（ネクストフード）のプロジェクトを開始しました。スーパーフードとして、昨今注目を浴びるスピルリナを主原料としたパスタを2022年4月下旬を目処に販売を開始いたします。同時に、スピルリナパウダーも販売を予定しております。

# ゴール16：平和と公正をすべての人に

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

18歳以上の軽度発達障がい者を対象とした、就労目的の多機能型4年制カレッジを設立し彼らを納税者にする。



|       |  |      |       |
|-------|--|------|-------|
| 企業名   | マコム・プランニング株式会社   |      |       |
| 所在地   | 大阪市北区  | 資本金  | 1000万 |
| 設立    | 1970年  | 従業員数 | 80名   |
| 企業URL | <a href="http://Konokono.com">Konokono.com</a> toronco-academy.com |      |       |
| 事業内容  | 広告制作物企画作成、放課後等デイサービスの運営等   |      |       |

#### SDGsビジネスを始めたきっかけ

弊社既存の放課後等デイサービスを運営していくうえで、すべての障がい者の個性をいかし、心豊かな生活をおくるためのビジネスを考えるようになった。

#### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

多機能型福祉施設「ウィックカレッジ」開校  
 弊社の支援理念：“その人が生きていくことの糧になることを見つけ、その活力、エネルギーが削がれないようにサポートする”に基づき、障がい者、特に軽度発達障がい者の「働きたい権利、思い」「その人なりの生活感、自立心」「チャレンジ精神」を育み、サポートする。自立するための学びの場を創設する。

#### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

すべての障がい者及びマイノリティの人たちの差別をなくし、雇用を生み出す。  
 Win-Winな社会の在り方が必要に

#### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

障害雇用に取り組んでいるが、まだまだ障がいのことを知りたい、そして良い職場づくりを目指したい企業と情報共有して取り組みたいと考えております。弊社ウィックカレッジ利用者の個人ファイルによる障がい者の理解を行いトラブルのない職場づくりのお手伝いを行っていきたくております。  
 4月9日（土）入学式、4月11日（月）授業開始

生きる基盤の睡眠をよくして全ての人が健康や働きがいを実感し、安心して暮らせる社会をつくる。



|       |   |      |   |  |
|-------|---|------|---|--|
| 企業名   | 一般社団法人ライフシフト睡眠メンタリーヘルス協会  |      |   |  |
| 所在地   | 奈良県奈良市  | 資本金  | — |  |
| 設立    | 2021年12月  | 従業員数 | 1 |  |
| 企業URL | <a href="https://lifeshift-suimin.com/">https://lifeshift-suimin.com/</a> |      |   |  |
| 事業内容  | 睡眠研修、睡眠コンサル、監修、睡眠の専門家育成   |      |   |  |

SDGsビジネスを始めたきっかけ

52歳で睡眠不足が原因でガンになったことがきっかけで、睡眠を良して健康で心豊かな社会をつくるために睡眠の大切さを伝える活動をしています。

SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- ・事業内容：睡眠研修、睡眠改善コンサル、睡眠関連製品・サービスの監修、睡眠の専門家の育成
- ・目的：日本人成人の9割以上が睡眠に不満を感じて、20歳代の4割以上が日中の眠けでパフォーマンスの低下を感じている。しかし日本では睡眠について学ぶ機会があまりなく、その結果日本は世界で一番寝ていない国、睡眠後進国ともいわれている。
- ・同じ睡眠時間でも睡眠の質をよくすれば日中のパフォーマンスが上がり仕事や家事、学習効率がアップし、健康で人間関係も良好になる。
- ・企業は社員の睡眠をよくし健康的に仕事の質と効率を高めると労働時間が短縮でき「社員から喜ばれる働き方改革」が推進できる。
- ・研修、セミナー実績：奈良県警察本部、奈良商工会議所、兵庫県高等学校教職員組合、学校法人、電鉄、製造メーカー、カード会社他

|   |  |
|---|--|
| SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果   | OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について  |
| 睡眠の質を高めて<br>目標 3：心と身体の健康の基礎ができ、事故ケガを防ぐ。<br>目標 4：思考と運動の記憶を定着させて学力、スキルアップ。<br>目標 8：仕事の効率が上がり働く意欲が高まる。<br>目標 9：発想力が豊かになり新たな技術革新につながる。<br>目標 1 1：警察官、消防士、医療従事者の集中力維持。<br>目標 1 6：人間関係が良好になり争いが減る。<br>目標 1 7：人間関係と判断力が高まり助け合って目標達成。 | 今後の方向性：「睡眠で日本を活性する」<br>SGDの取組みにおいて生きる基盤である睡眠は多くの目標の達成に繋がります。健康、働き甲斐、パートナーシップ、働き方改革の推進による産業発展への寄与など。今後はより多くの人々が睡眠への意識を持ち睡眠の質をよくすることで健康になるだけでなく、日中のパフォーマンスを高め仕事や家事の効率を上げて、人間関係が円満な社会を築くための活動を拡大推進していきます。<br>そのために睡眠セミナーや企業研修の実施を拡大し、さらに睡眠の大切さを広く伝えるために睡眠の専門家の育成への取組みを強化していきます。 |

# ゴール17：パートナーシップで目標を達成しよう

令和3年度  
大阪府SDGsビジネス創出支援事業  
SDGsビジネスマップ

## 米配合バイオマスプラスチックゴミ袋の普及拡大により、CO2排出削減ならびに米の消費拡大で農業従事者の支援と地方経済活性化の起爆剤へ



|   |  |             |       |
|---|--|-------------|-------|
| <b>企業名</b>  | 株式会社西村機械製作所  |             |       |
| <b>所在地</b>  | 大阪府八尾市   | <b>資本金</b>  | 40百万円 |
| <b>設立</b>   | 1934年8月1日  | <b>従業員数</b> | 60名   |
| <b>企業URL</b>  | <a href="http://www.econmw.co.jp">http://www.econmw.co.jp</a> 、 <a href="http://www.rice-flour.jp">http://www.rice-flour.jp</a>                                |             |       |
| <b>事業内容</b>   | 食品、化学、薬品、リサイクル等の粉粒体機械製作販売及びそのプラント設備設計施工、輸出入販売  |             |       |
| <b>SDGsビジネスを始めたきっかけ</b>   |  |             |       |
| <p>国内自給率100%のお米作りを今後も続けていくためには高齢化する稲作農家従事者の所得を安定させ、後継者問題を解決し、耕作放棄地の増加を抑える必要がある。これらの問題を解決するためには米の消費拡大が喫緊の課題であるが、人口減少する国内の状況では“食べる消費”が増えることは想像しがたい。よって、“食べない消費拡大”を考えていなければならない。</p> <p>一方、プラスチックのバイオマス化でCO2 排出量削減を目指すにあたり、当社の米の製粉技術で米粉比率の高いバイオマスプラスチックの製造技術の革新が可能ではないかと考える。</p> |  |             |       |
| <b>SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）</b>   |  |             |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ お米の製粉装置ではシェアトップである当社がバイオマスプラスチックの開発にあたり、飼料米や古古米などの廃棄するお米とプラスチックを混ぜる技術を開発。</li> <li>■ 弊社設備を納入した各地域の米粉からバイオマスゴミ袋の製造を行い、地方自治体向けの地産地消の指定ゴミ袋としての普及を目指している。</li> </ul>   |  |             |       |
| <b>SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果</b>  | <b>OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について</b>   |             |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 消費者はCO2排出量の少ないゴミ袋が使い、環境問題への参加意識が高まる。</li> <li>■ お米が有効活用できるので、域内のお米生産者や精米業者、米粉製粉業者の仕事が増える。売上（収入）が増える。</li> <li>■ 域内バイオマスゴミ袋製造メーカーの起業とその雇用促進。</li> <li>■ ゴミ袋を焼却する際のCO2排出量を減らすことができる。</li> </ul>  | <p>具体的な成果はまだないものの、現在開発中の当該商品を量産化するために、実需に繋がるようサプライチェーン作りや製造委託先を検討している。その上で、地産地消の仕組みと当該商品を実際に知ってもらうことで潜在取引先へ訴求していく。</p> <p>2022年の前半にはこの方向性を示せるように現在取り組んでいる。</p> |             |       |



## オフィス用品からSDGsを広げる脱プラ クリアペーパーファイルの開発



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | 都インキ株式会社  |      |       |
| 所在地   | 大阪市鶴見区  | 資本金  | 30百万円 |
| 設立    | 1965年9月   | 従業員数 | 45人   |
| 企業URL | <a href="https://www.miyakoink.co.jp">https://www.miyakoink.co.jp</a> |      |       |
| 事業内容  | 印刷用インキ及び印刷用資材の製造・販売・輸出、印刷周辺機器の販売                                      |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

1948年にインク製造業として大阪で創業して以来、小ロットカスタマイズインクの中堅メーカーとしてモノづくりに携わっている。環境に配慮した製品をご提供することは企業の責務であると考え、当社の理念を社会貢献に生かすために、持続可能な製品開発に注力している。SDGsは大企業だけでなく、中小企業こそ積極的に取り組むべきと考え、当社がその先頭に立ちたいと思っている。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 同社にて開発した「用紙に含浸させると透明度が出るインク」を紙に含浸させ、透明度・価格において、PPクリアファイルの代替となるような紙ファイルを製造・販売。  
→プラスチックのPPクリアファイルの代替となる環境負荷の軽減に貢献
- 「用紙に含浸させると透明度が出るインク」は同社の独自開発技術である。
- クリアペーパーファイル及びインクと用紙透明化装置をセットで販売する。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 日常的に多くの人々が使用しているクリアファイルを紙製にすることで、脱プラ意識をより広域に啓蒙。
- 当該製品とは別に抗菌、防カビ、抗ウイルス機能を付加するインクも開発しており、その技術を「用紙に含浸させると透明度が出るインク」にも適用し、社会に対して安全と安心を付加することができる。

## OSAKA SDGsマッチングの成果や今後の方向性について

- ・いくつか見て頂いた方からのお声がけを頂いておりまして継続進展中です。
- ・今回の実績も含めて多方面に展開中です。
  - 1) E x p o 2025大阪関西万博の協創パートナーと協賛パートナーにエントリー中。
  - 2) 大阪産業創造館のビジネスマッチングに参加・展開中。
  - 3) その他も展開中。

## 救缶鳥プロジェクト



|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 企業名   | 株式会社パン・アキモト 関西営業所   |      |       |
| 所在地   | 大阪市中央区  | 資本金  | 35百万円 |
| 設立    | 昭和22年12月  | 従業員数 | 60名   |
| 企業URL | <a href="http://www.panakimoto.com">http://www.panakimoto.com</a> |      |       |
| 事業内容  | ベーカリーの運営、防災備蓄用缶詰パンの製造・販売、救缶鳥プロジェクト                                |      |       |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

国内のある自治体から賞味期限が切れる備蓄品を廃棄して欲しいと依頼がありました。そんな中、海外の飢餓国に賞味期限が残り少なくなったパンの缶詰を義援物資として贈り届ける事で大変喜ばれる事が判り、プロジェクトを開始しました。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

■ **パンの缶詰を自分（自社）の為に備蓄しながら同時に社会貢献が出来る「救缶鳥プロジェクト」**を提供。

◀ プロジェクトの流れ ▶

- ① 防災備蓄用として缶詰パンを購入希望者（企業・自治体・個人）に販売
- ② 缶詰の賞味期限が切れる6か月前に購入者へ案内し、賛同を頂いたところから同社が缶詰を回収
- ③ 回収した缶詰を民間の企業や団体を通じて海外の飢餓国や被災地へ義援物資として贈呈。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

今まで国内外合わせて累計40万缶以上の缶詰が届けられました。本当に必要としている国や地域に責任を持って届けて、更に現地に届けたレポートを賛同者へ通知して、「義援の見える化」を行っています。世界では、1分間に17人が飢餓で命を失い、その内5秒に1人が5歳の誕生日を迎えることなく亡くなっています。当プロジェクトは、日本人のやさしさ、大阪からのやさしさを困っている人たちに届けます。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

普段接点の無い団体との面談機会を持てた事で、新しい可能性が広がりました。今後も救缶鳥プロジェクトに参画する事によって、SDGsゴール達成に繋がる事を認知していただき、更なる普及に努めたいと思います。

## レンタルでオモイを叶える



|       |  |      |          |
|-------|--|------|----------|
| 企業名   | コーユレンタリア株式会社   |      |          |
| 所在地   | 東京都港区  | 資本金  | 8億7896万円 |
| 設立    | 1970年10月   | 従業員数 | 373名     |
| 企業URL | <a href="https://www.koyou.co.jp/">https://www.koyou.co.jp/</a>  |      |          |
| 事業内容  | F F & E レンタル業。建設業界・不動産業界・イベント業界をはじめ、国内外の企業向けに* F F & E をレンタル。<br>*furniture, fixtures and equipment (家具、什器、備品) |      |          |

## SDGsビジネスを始めたきっかけ

1960年代後半、建設工事現場の事務所内で利用する机・椅子などを貸し出すことで、現場事務所の職場環境を担保するサービスを発見し、レンタルビジネスをスタート。現在は、イベント会場、住宅販売センター、各プロジェクト室、業種・地域に限定せず、納入先を増やしている。

## SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 利用したい期間だけ、オフィス家具・家電・PC・タブレットなどを貸出（レンタル）し、貴社の業務活動の運営を物品企画・提供でサポートします。
- レンタル資産は北海道から沖縄までの11の物流センターで整備・補完し、利用される場所まで配送・設置をします。
- 建設現場では50年以上、イベント会場では20年以上の実績があり、案件及び会場の企画提案も可能です。
- 近年の保有商品数は100万点超え、在庫が不足した場合は同業企業との協力での対応をしています。購入一択の業界（教育）を中心にレンタルの選択を提供することで、限りある資源を有効活用、経済的視点でも成長性が期待できます。

## SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

顧客が事業を運営するにあたって、必要な備品をシェア（レンタル）することで、資源の有効活用につながり、環境負荷を低減できる。シェアすることで、廃棄物の発生を抑制でき、低炭素社会へ繋げることが可能。

## OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

ゴール8 VUCA時代に合わせたオフィス空間をレンタルサービスで、働きやすい職場環境をつくれます。  
 ゴール11 日本中の建築工事現場をレンタルサービスでサポートし、まちづくりのお手伝いをします。  
 ゴール12 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を進化させ、ゼロエミッション。つかう責任を全うします。  
 ゴール17 レンタルサービスは、1社では成り立ちません。仕入・搬入・搬出・整備・管理・メンテナンスといった協業の幅を増やして、サービス利用層を拡大します。

生きる基盤の睡眠をよくして全ての人が健康や働きがいを実感し、安心して暮らせる社会をつくる。



|       |   |      |   |  |
|-------|---|------|---|--|
| 企業名   | 一般社団法人ライフシフト睡眠メンタリーヘルス協会  |      |   |  |
| 所在地   | 奈良県奈良市  | 資本金  | — |  |
| 設立    | 2021年12月  | 従業員数 | 1 |  |
| 企業URL | <a href="https://lifeshift-suimin.com/">https://lifeshift-suimin.com/</a> |      |   |  |
| 事業内容  | 睡眠研修、睡眠コンサル、監修、睡眠の専門家育成   |      |   |  |

### SDGsビジネスを始めたきっかけ

52歳で睡眠不足が原因でガンになったことがきっかけで、睡眠を良して健康で心豊かな社会をつくるために睡眠の大切さを伝える活動をしています。

### SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- ・事業内容：睡眠研修、睡眠改善コンサル、睡眠関連製品・サービスの監修、睡眠の専門家の育成
- ・目的：日本人成人の9割以上が睡眠に不満を感じて、20歳代の4割以上が日中の眠けでパフォーマンスの低下を感じている。  
しかし日本では睡眠について学ぶ機会があまりなく、その結果日本は世界で一番寝ていない国、睡眠後進国ともいわれている。
- ・同じ睡眠時間でも睡眠の質をよくすれば日中のパフォーマンスが上がり仕事や家事、学習効率がアップし、健康で人間関係も良好になる。
- ・企業は社員の睡眠をよくし健康的に仕事の質と効率を高めると労働時間が短縮でき「社員から喜ばれる働き方改革」が推進できる。
- ・研修、セミナー実績：奈良県警察本部、奈良商工会議所、兵庫県高等学校教職員組合、学校法人、電鉄、製造メーカー、カード会社他

### SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

睡眠の質を高めて  
 目標 3：心と身体の健康の基礎ができ、事故ケガを防ぐ。  
 目標 4：思考と運動の記憶を定着させて学力、スキルアップ。  
 目標 8：仕事の効率が上がり働く意欲が高まる。  
 目標 9：発想力が豊かになり新たな技術革新につながる。  
 目標 1 1：警察官、消防士、医療従事者の集中力維持。  
 目標 1 6：人間関係が良好になり争いが減る。  
 目標 1 7：人間関係と判断力が高まり助け合って目標達成。

### OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今後の方向性：「睡眠で日本を活性する」  
 SGDの取組みにおいて生きる基盤である睡眠は多くの目標の達成に繋がります。  
 健康、働き甲斐、パートナーシップ、働き方改革の推進による産業発展への寄与など。  
 今後はより多くの人々が睡眠への意識を持ち睡眠の質をよくすることで健康になるだけでなく、日中のパフォーマンスを高め仕事や家事の効率を上げて、人間関係が円満な社会を築くための活動を拡大推進していきます。  
 そのために睡眠セミナーや企業研修の実施を拡大し、さらに睡眠の大切さを広く伝えるために睡眠の専門家の育成への取組みを強化していきます。